

令和4年度 事業報告書



(共生の里津福 花まつり)

社会福祉法人 恵伸会

- ・特別養護老人ホームオレンジヒル小岱
- ・ユニット型地域密着型特別養護老人ホーム共生の里津福
- ・ユニット型地域密着型特別養護老人ホーム共生の里荒木
- ・ユニット型特別養護老人ホームオレンジヒル小岱
- ・ショートステイサービス共生の里津福
- ・ショートステイサービス共生の里荒木
- ・オレンジヒル短期入所生活介護事業所
- ・デイサービスセンター共生の里津福
- ・デイサービスセンター共生の里荒木
- ・ユニット型オレンジヒル短期入所生活介護事業所
- ・ケアプランセンター共生の里
- ・看護小規模多機能型居宅介護事業所共生の里荒木
- ・オレンジヒル通所介護事業所
- ・小規模多機能型居宅介護事業所共生の里津福
- ・訪問看護ステーション共生の里
- ・オレンジヒル居宅介護支援事業所
- ・荒尾市老人介護支援センター

目 次

令和4年度事業報告

特別養護老人ホームオレンジヒル小岱 事業報告	1
特別養護老人ホームオレンジヒル小岱 添付資料	2
特別養護老人ホームオレンジヒル小岱 行事報告	3
ユニット型特別養護老人ホームオレンジヒル小岱 事業報告	4
ユニット型特別養護老人ホームオレンジヒル小岱 各ユニット行事報告	5
ユニット型特別養護老人ホームオレンジヒル小岱 添付資料	8
オレンジヒル短期入所生活介護事業所 事業報告	9
オレンジヒル短期入所生活介護事業所 利用者数	10
ユニット型オレンジヒル短期入所生活介護事業所 事業報告	11
ユニット型オレンジヒル短期入所生活介護事業所 利用者数	12
オレンジヒル通所介護事業所 事業報告	13
オレンジヒル通所介護事業所 利用者数	15
オレンジヒル居宅介護支援事業所 事業報告	16
オレンジヒル居宅介護支援事業所 利用者数	17
荒尾市老人介護支援センター 事業報告	18
特別養護老人ホームオレンジヒル小岱・ユニット型特別養護老人 ホームオレンジヒル小岱 給食事業報告	19
(特別養護老人ホームオレンジヒル小岱 委員会報告)	
施設運営委員会活動報告	21
広報委員会活動報告	22
防災・環境美化委員会活動報告	23
給食・行事实行委員会活動報告	24
研修・福利厚生委員会活動報告	25
入退所検討委員会活動報告	27
褥瘡・感染症予防委員会活動報告	29
リスクマネジメント委員会活動報告	31
身体拘束廃止及び虐待防止委員会活動報告	32
衛生委員会活動報告	33
喀たん吸引等安全対策委員会活動報告	34

特別養護老人ホームオレンジヒル小岱 研修・会議状況	35
ユニット型地域密着型特別養護老人ホーム共生の里津福 事業報告	39
ユニット型地域密着型特別養護老人ホーム共生の里津福 各ユニット行事報告	42
ユニット型地域密着型特別養護老人ホーム共生の里津福 添付資料	44
ユニット型地域密着型特別養護老人ホーム共生の里津福 実習生受け入れ状況報告	45
ショートステイサービス共生の里津福 事業報告	46
ショートステイサービス共生の里津福 行事報告	48
ショートステイサービス共生の里津福 利用者数	49
デイサービスセンター共生の里津福 事業報告	51
デイサービスセンター共生の里津福 利用者数	55
ケアプランセンター共生の里 事業報告	57
ケアプランセンター共生の里 利用者数	60
事業所単位の加算・紹介率及び紹介件数・実習生受け入れ状況報告	61
小規模多機能型居宅介護事業所共生の里津福 事業報告	62
小規模多機能型居宅介護事業所共生の里津福 利用者数	64
ユニット型地域密着型特別養護老人ホーム共生の里津福 栄養課事業報告	66
ユニット型地域密着型特別養護老人ホーム共生の里津福 栄養課行事報告	68
(特別養護老人ホーム共生の里津福 委員会報告)		
広報委員会活動報告	70
非常災害対策委員会活動報告	71
食事委員会活動報告	72
研修委員会活動報告	73
接遇・介護業務改善委員会活動報告	74
リスクマネジメント委員会活動報告	75
感染症対策委員会活動報告	76
褥瘡委員会活動報告	77
入所判定委員会活動報告	78
身体拘束廃止及び虐待防止委員会活動報告	79

衛生委員会活動報告	80
特別養護老人ホーム共生の里津福 研修・会議状況	81
ユニット型地域密着型特別養護老人ホーム共生の里荒木 事業報告	85
ユニット型地域密着型特別養護老人ホーム共生の里荒木 各ユニット行事報告	88
ユニット型地域密着型特別養護老人ホーム共生の里荒木 添付資料	91
ユニット型地域密着型特別養護老人ホーム共生の里荒木 実習生受け入れ状況報告	93
ショートステイサービス共生の里荒木 事業報告	94
ショートステイサービス共生の里荒木 行事報告	95
ショートステイサービス共生の里荒木 利用者数	96
デイサービスセンター共生の里荒木 事業報告	97
デイサービスセンター共生の里荒木 利用者数	100
訪問看護ステーション共生の里荒木 事業報告	102
訪問看護ステーション共生の里荒木 活動実績	104
看護小規模多機能型居宅介護事業所共生の里荒木 事業報告	105
看護小規模多機能型居宅介護事業所共生の里荒木 活動実績	107
ユニット型地域密着型特別養護老人ホーム共生の里荒木 栄養課事業報告	109
(特別養護老人ホーム共生の里荒木 委員会報告)	
広報委員会活動報告	113
非常対策委員会活動報告	114
食事委員会活動報告	115
研修委員会活動報告	116
接遇・業務改善委員会活動報告	117
リスクマネジメント委員会活動報告	118
感染症対策委員会活動報告	119
褥瘡委員会活動報告	121
入所判定委員会活動報告	122
身体拘束廃止及び人権・虐待防止委員会活動報告	123
衛生(総務)委員会活動報告	124
特別養護老人ホーム共生の里荒木 研修・会議状況	125

特別養護老人ホームオレンジヒル小岱事業報告

1 総括

令和4年度も新型コロナウイルス感染対策を行いました。感染拡大により3度のクラスターが発生し、ご利用者のADLの低下、予後不良と影響が出てしまいました。その様な状況下、感染防止対策を講じた上で、室内で出来る多様なレクリエーションを実施し、さらに桜の花見やふじ棚の花見外出を行い、大変喜んでいただきました。

本年5月には新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが5類となりますが、引き続き感染対策を行い、安心・安全な生活を提供出来るように努めてまいります。

2 活動実績

- (1) コロナ禍の中、前年度に引き続き、面会は保健所管内の感染状況に見合った制限を行って参りました。オンラインやパーティション越しの面会ではありますが、ご本人、ご家族共に安心された笑顔を見る事が出来た一方、ご家族より面会のありかた、外出の要望等のご指摘を受け今後の検討課題となりました。
 - (2) 感染防止対策に努めましたが、コロナが発生し、何も分からず手探りの対応から経験を生かした対応が出来るようになり職員の成長が見えました。
 - (3) ヒヤリハットの提出数が減少しましたが、事故件数は減少には至りませんでした。次年度は、より一層の事故防止への意識づけを行ってまいります。
- 車椅子やベッド等の備品の安全チェックは定期的に行い、皮下出血等のご利用者の身体的変化は経過を記録し、発生状況、原因の把握が出来ました。

特別養護老人ホーム オレンジヒル小岱添付資料(令和4年度)

入居者要介護度状況(3月31日現在)

性別・年齢別状況(3月31日現在)

介護度		人数	平均介護度 3.74	年齢	60歳～	75歳～	80歳～	85歳～	90歳～	95歳～	100歳～	合計	
要介護	1	1			74歳	79歳	84歳	89歳	94歳	99歳			
要介護	2	2		性別									
要介護	3	18		男	0	2	1	3	0	0	0	6	
要介護	4	17		女	2	0	6	11	15	8	2	44	
要介護	5	12		合計	2	2	7	14	15	8	2	50	
合計		50		最高年齢		102	平均年齢		89				

入居状況(4.4.1～5.3.31)

月	入居者数	入居者延人数	稼働率
4月	50	1450	96.6%
5月	50	1514	97.6%
6月	50	1455	97%
7月	50	1499	96.7%
8月	48	1438	92.7%
9月	50	1360	90.6%
10月	49	1456	93.9%
11月	50	1470	98%
12月	49	1524	98.3%
1月	49	1455	93.8%
2月	50	1322	94.4%
3月	50	1514	97.6%
合計		17.458	
平均稼働率			95.3%

入退居状況(4.4.1～5.3.31)

月	入居者	退居者	退居理由			
			帰宅	入院	死亡	その他
4月	2	2	0	0	2	0
5月	0	0	0	0	0	0
6月	2	2	0	0	1	1
7月	1	1	0	0	1	0
8月	0	2	0	0	2	0
9月	3	1	0	0	1	0
10月	4	5	0	2	2	1
11月	1	0	0	0	0	0
12月	2	3	0	0	3	0
1月	3	3	0	0	3	0
2月	3	2	0	0	1	1
3月	2	1	0	0	1	0
合計	23	22	0	2	17	3

令和4年度 年間行事報告

	行事内容	場所	参加者
4月	お花見（桜、ふじ）	桜：荒尾市体育館 ふじ：山田神社	23 8
9月	敬老会	特養リビング	53
10月	秋のミニ運動会	特養リビング	40
11月	施設の秋祭り	施設内	53
12月	クリスマス会	特養リビング	54
2月	HAPPY バレンタイン （手作りホットケーキの提供）	特養リビング	40
3月	お花見（桜）	荒尾市体育館	18

ユニット型特別養護老人ホームオレンジヒル小岱事業報告

1 総括

令和4年度もコロナ禍のもとで、「高齢者施設における感染症対応マニュアル」や行政通達等に基づき、感染予防に努めました。ご利用者には外出中止や面会制限等、職員には検温、手指消毒、マスク着用等、職場だけでなく日常生活においても一人ひとりが感染対策に努めました。

しかしながら、施設内で新型コロナウイルス感染が発生してクラスターとなってしまい、ご利用者、職員ともに更なる制限が課せられることとなりました。

そうした中でも、ご利用者が少しでも笑顔で日常生活が送れるように取り組みました。また、眠りスキヤンの活用等により、ご利用者一人ひとりの睡眠の質の向上や危険防止に努めました。

2 活動実績

(1) 向日葵ユニット

コロナ禍により、外出や居室での面会など、実施出来なくなった事も多くありました。しかし、毎日のご利用者との関わりの中で、趣味・嗜好に合わせた料理教室やレクリエーションなどを計画、実施して喜びの声を聞くことができたと同時に、親睦も深めることが出来ました。また、季節の行事を積極的に行った事で季節を感じて頂けたと思います。

ご利用者一人ひとりに合ったケアが実践出来たと思います。

(2) 山茶花ユニット

日常生活において、ご利用者への気づきは早い対応を心がけ、体調管理や適切な支援を行うことで、ご利用者が安心した生活をおくる事が出来たと思います。また、ご利用者の情報収集により、職員の統一ケアが出来、ご利用者も個々の生活のリズムで過ごされていたと思います。しかし、コロナ禍の中楽しみである慰問団の見学や個別外出が出来なかったことは、ご利用者にとって大変残念でした。

(3) 明日葉ユニット

ご利用者一人ひとりの情報を共有、多職種連携を図り統一したケアを行うことで、ご利用者の安心した暮らしを継続できました。またレクリエーション等を行うことで、毎日の生活にメリハリが出来たと思います。また、日々の生活の中でご利用者の些細な体調の変化に気づき、ご家族へ連絡することで、早急な対応をすることが出来ました。コロナ禍でもあり、ご利用者の様子等を報告することで、ご家族も安心されたと思います。

山茶花ユニット行事報告(令和4年度)			
	行事内容	場 所	参加者
4月18日	散髪	向日葵ユニット	5人
4月18日	料理居室(ミニアメリカンドッグ)	山茶花ユニット	10人
5月16日	散髪	向日葵ユニット	4人
5月20日	料理教室(フレンチトースト)	山茶花ユニット	9人
6月17日	料理教室(台湾カステラ)	山茶花ユニット	10人
6月20日	散髪	向日葵ユニット	4人
7月3日	七夕飾り作り	山茶花ユニット	5人
7月18日	散髪	明日葉ユニット	3人
7月22日	料理教室(手作りバニラアイス)	山茶花ユニット	10人
8月15日	散髪	向日葵ユニット	5人
9月16日	敬老会(コロナのため延期、プレゼントのみお渡し済)	山茶花ユニット	10人
10月13日	散髪	向日葵ユニット	4人
10月14日	敬老会	山茶花ユニット	9人
10月17日	散髪	向日葵ユニット	5人
10月21日	料理教室(ヨーグルトのチーズケーキ)	山茶花ユニット	9人
11月9日	施設の秋祭り	施設内	9人
11月18日	料理教室(鬼饅頭)	山茶花ユニット	10人
11月21日	散髪	向日葵ユニット	1人
12月19日	散髪	向日葵ユニット	5人
12月19日	クリスマス会	山茶花ユニット	10人
1月16日	散髪(コロナのため中止)	山茶花ユニット	4人
1月20日	料理教室(白玉ぜんざい)コロナのため中	山茶花ユニット	9人
2月9日	散髪	向日葵ユニット	10人
2月17日	料理教室(白玉ぜんざい)コロナのため	山茶花ユニット	10人
3月3日	ひな祭り	山茶花ユニット	10人
3月17日	料理教室(スフレ)	山茶花ユニット	10人
3月20日	散髪	向日葵ユニット	1人

ひまわりユニット行事報告(令和4年度)			
月 日	行 事 内 容	場 所	参 加 者
4月18日	散髪	明日葉ユニット	2名
4月25日	料理教室(クレープ)	向日葵ユニット	10名
5月12日	料理教室(ミニゼリーと牛乳寒天)	向日葵ユニット	9名
5月16日	散髪	向日葵ユニット	4名
6月12日	料理教室(フローズンヨーグルト)	向日葵ユニット	10名
6月20日	散髪	向日葵ユニット	6名
7月15日	料理教室(ミルクティープリンパフェ)	向日葵ユニット	9名
7月18日	散髪	明日葉ユニット	3名
8月15日	散髪	明日葉ユニット	5名
8月24日	料理教室(羊羹ゼリー)	向日葵ユニット	9名
8月30日	料理教室(サンドウィッチ)	向日葵ユニット	9名
10月13日	散髪	向日葵ユニット	7名
10月16日	敬老会	向日葵ユニット	10名
10月17日	散髪	向日葵ユニット	3名
10月24日	料理教室(アイスボールケーキ)	向日葵ユニット	10名
11月9日	秋祭り	施設内	8名
11月24日	料理教室(ミートソーススパゲティ)	向日葵ユニット	9名
12月19日	散髪	向日葵ユニット	5名
12月22日	クリスマス会	向日葵ユニット	10名
1月24日	料理教室(八つ橋)	向日葵ユニット	9名
2月9日	散髪	向日葵ユニット	8名
2月15日	料理教室(クレープ)	向日葵ユニット	9名
2月22日	料理教室(ブッシュドノエル)	向日葵ユニット	9名
2月25日	料理教室(フレンチトースト)	向日葵ユニット	9名
3月3日	ひな祭り	向日葵ユニット	10名
3月20日	散髪	向日葵ユニット	3名
3月20日	料理教室(桜餅風パンケーキ)	向日葵ユニット	10名
3月23日	料理教室(煮込みハンバーグ)	向日葵ユニット	10名

明日葉ユニット行事報告(令和4年度)			
月 日	行 事 内 容	場 所	参加者
4月11日	料理教室(モンブラン)	明日葉ユニット	10名
5月23日	料理教室(どら焼き)	明日葉ユニット	10名
6月13日	料理教室(チーズケーキタルト)	明日葉ユニット	10名
6月27日	ワンピースパン	明日葉ユニット	10名
7月7日	七夕祭り	明日葉ユニット	10名
7月20日	散髪	明日葉ユニット	6名
7月21日	料理教室(バナナスムージー)	明日葉ユニット	10名
8月21日	料理教室(イチゴヨーグルトアイス)	明日葉ユニット	10名
9月16日	秋祭り	施設内	9名
9月23日	敬老会	明日葉ユニット	9名
10月12日	料理教室(小倉トースト)	明日葉ユニット	9名
10月31日	料理教室(揚げたこ焼き)	明日葉ユニット	9名
11月10日	料理教室(うなぎ)	明日葉ユニット	9名
12月23日	クリスマス会	明日葉ユニット	10名
1月20日	料理教室(うまかつちゃん)	明日葉ユニット	10名
2月3日	節分	明日葉ユニット	10名
2月24日	料理教室(焼肉)	明日葉ユニット	10名
3月15日	散髪	明日葉ユニット	6名
3月27日	料理教室(餃子)	明日葉ユニット	10名
3月29日	ドライブ(花見)	運動公園など	6名

ユニット型特別養護老人ホーム オレンジヒル小岱添付資料(令和4年度)

入居者要介護度状況(3月31日現在)

性別・年齢別状況(3月31日現在)

介護度		人数	平均介護度 3.59	年齢 性別	60歳～	75歳～	80歳～	85歳～	90歳～	95歳～	100歳以上	合計
要介護	1	2			74歳	79歳	84歳	89歳	94歳	99歳		
要介護	2	1		男	1	0	1	2	3	0	0	7
要介護	3	6		女	1	0	2	7	6	6	0	22
要介護	4	18		合計	2	0	3	9	9	6	0	29
要介護	5	2										
合計		29										

最高年齢	99	平均年齢	88.9
------	----	------	------

入居状況(4.4.1～5.3.31)

月	入居者数	入居者延人数	稼働率
4月	30	867	96.3%
5月	29	902	96.9%
6月	30	884	98.2%
7月	29	902	96.9%
8月	29	882	94.8%
9月	29	842	93.5%
10月	30	890	95.6%
11月	28	862	95.7%
12月	30	895	96.2%
1月	30	884	95%
2月	30	791	94.1%
3月	29	922	99.1%
合計		10,523	
平均稼働率			95.8%

入退居状況(3.4.1～4.3.31)

月	入居者	退居者	退居理由			
			帰宅	入院	死亡	その他
4月	0	0	0	0	0	0
5月	2	3	0	0	3	0
6月	1	0	0	0	0	0
7月	0	1	0	0	1	0
8月	0	0	0	0	0	0
9月	0	0	0	0	0	0
10月	3	2	0	0	2	0
11月	1	3	0	0	2	1
12月	3	1	0	0	1	0
1月	1	1	0	0	1	0
2月	2	1	0	0	1	0
3月	0	1	0	0	1	0
合計	13	13	0	0	12	1

オレンジヒル短期入所生活介護事業所事業報告

1 総括

デイサービス利用からショートステイ利用、そして入所へと繋がる連携はスムーズにとれました。

しかし、令和4年度中に新型コロナウイルス感染拡大によるクラスターが3度発生した影響で、新規ご利用者や他事業所からの受け入れが制限され、稼働率においては伸び悩みました。

今後も、ご利用者の日常生活上の個別支援、健康管理を行い、ケア体制の充実を図ることで、ご利用者・ご家族に安心して頂けるような生活の場を作り上げるよう努めます。

2 活動実績

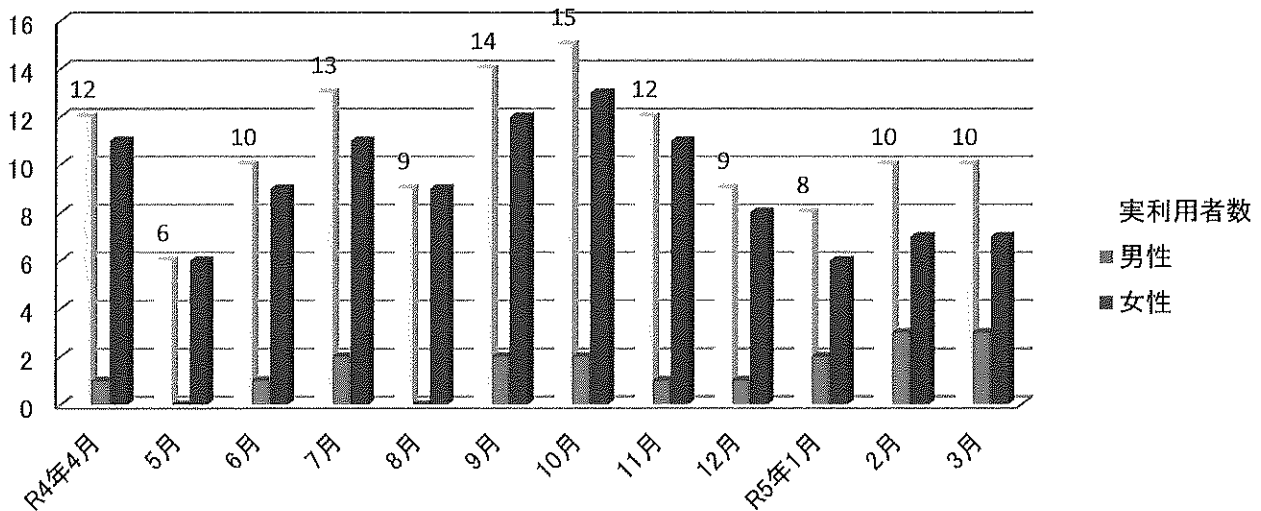
- (1) 入所前調査により入所希望者一人ひとりの生活状況、身体的状況、生活歴の把握に努めて参りましたが、コロナ禍の影響で思うような入所前調査が出来ないことがありました。
- (2) 居宅介護支援事業所とは密に連携を取り、情報の収集、提供、共有化を図る事が出来ました。
- (3) 入所を希望される方が当施設のデイサービスを利用されている場合には、デイサービス及びショートステイでの生活の様子についての情報交換を行ったことで、入所後にスムーズなサービス提供が出来ました。
- (4) 感染防止対策を行いながら、他事業所の訪問を積極的に行いました。
- (5) サービス担当者会議は、各事業所が感染対策を重視したことで書面でのやりとりもありましたが、出来る限り参加し、情報の共有を図りました。
- (6) ご利用者の個々の情報を共有し、事故防止に心掛けることで、安心安全に過ごして頂く事が出来ました。

(令和4度)オレンジヒル短期入所生活介護事業所 添付資料

実績 年間利用人数

年/月	実利用者数(人)	延利用者数(人)	男性	女性	月間稼働率(%)
R4年4月	12	142	1	11	78.8%
5月	6	123	0	6	66.1%
6月	10	129	1	9	71.6%
7月	13	163	2	11	87.6%
8月	9	100	0	9	53.7%
9月	14	138	2	12	76.6%
10月	15	153	2	13	82.2%
11月	12	88	1	11	48.8%
12月	9	117	1	8	62.9%
R5年1月	8	109	2	6	58.6%
2月	10	136	3	7	80.9%
3月	10	114	3	7	61.2%
合計	128	1,512	18	110	
			年間平均稼働率		69%

年間利用男女比



年間介護度別 延べ利用者数一覧表

年月	介1	介2	介3	介4	介5	支1	支2
R4/4	46	10	47	39	0	0	0
5	56	5	31	31	0	0	0
6	42	9	45	33	0	0	0
7	60	13	56	34	0	0	0
8	60	3	37	0	0	0	0
9	62	6	31	39	0	0	0
10	54	13	26	60	0	0	0
11	42	9	27	10	0	0	0
12	18	49	38	12	0	0	0
R5/1	0	52	51	6	0	0	0
2	0	18	93	25	0	0	0
3	0	17	55	42	0	0	0

ユニット型オレンジヒル短期入所生活介護事業所事業報告

1 総括

令和4年度は、空床利用による短期入所を1名の方が利用されました。

ご利用者の情報共有に努めると共に、コロナ禍における感染対策を十分に行い、ご利用者に安心して過ごして頂けるように職員一同努めました。

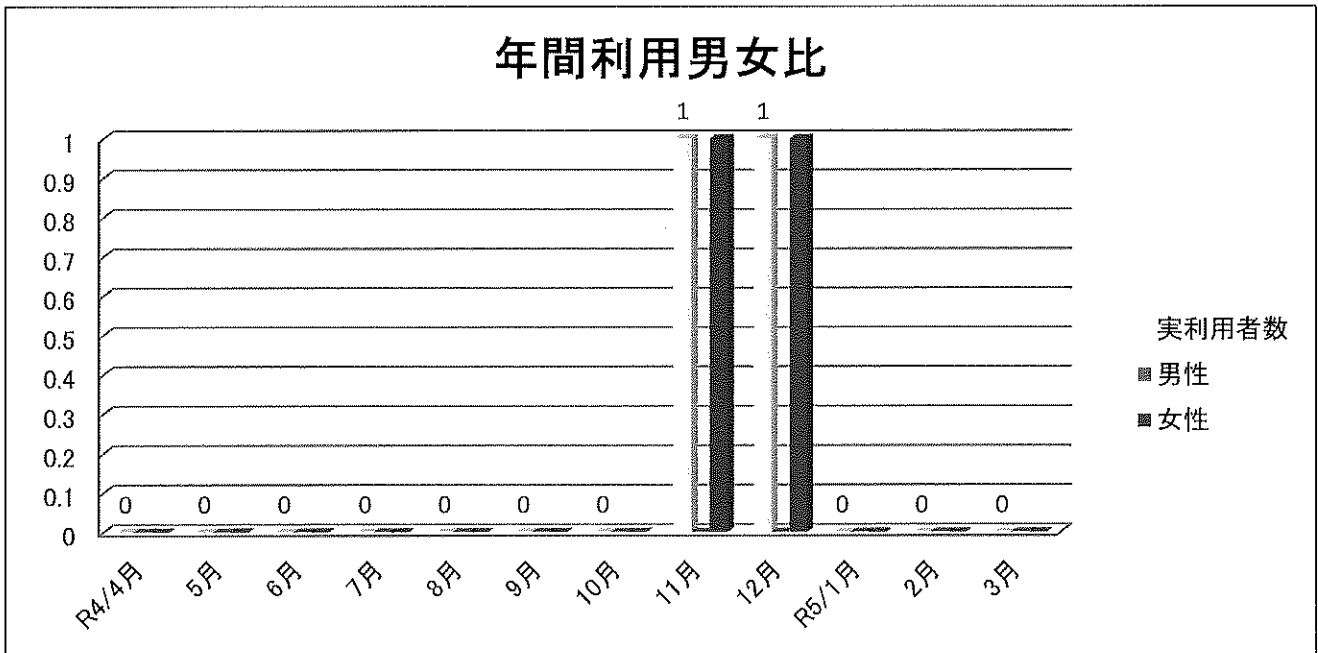
2 活動実績

- (1) 受け入れたご利用者はオレンジヒル短期入所サービスをご利用されていたため、事前に家庭訪問し、生活状況や身体的状況等の情報を収集・共有することができました。このため、スムーズなサービスの提供ができました。
- (2) 感染防止対策の中、事故防止に心がけ、安全に過ごして頂くことが出来ました。
- (3) ユニット型特別養護老人ホームオレンジヒル小岱への入所につながりました。

ユニット型オレンジヒル短期入所生活介護事業所 添付資料(令和4年度)

実績 年間利用人数

年/月	実利用者数(人)	延利用者数(人)	男性	女性	月間稼働率(%)
R4/4月	0	0	0	0	0
5月	0	0	0	0	0
6月	0	0	0	0	0
7月	0	0	0	0	0
8月	0	0	0	0	0
9月	0	0	0	0	0
10月	0	0	0	0	0
11月	1	9	0	1	23
12月	1	4	0	1	100
R5/1月	0	0	0	0	0
2月	0	0	0	0	0
3月	0	0	0	0	0
合計	0	13	0	0	0
	2	13	年間平均稼働率		0



年間介護度別 延べ利用者数一覧表

年月	介1	介2	介3	介4	介5	支1	支2
R4/4	0	0	0	0	0	0	0
4	0	0	0	0	0	0	0
6	0	0	0	0	0	0	0
7	0	0	0	0	0	0	0
8	0	0	0	0	0	0	0
9	0	0	0	0	0	0	0
10	0	0	0	0	0	0	0
11	0	0	0	9	0	0	0
12	0	0	0	4	0	0	0
R5/1	0	0	0	0	0	0	0
2	0	0	0	0	0	0	0
3	0	0	0	0	0	0	0

オレンジヒル通所介護事業所事業報告

1 総括

令和4年度に入って間もなく、5月に新型コロナウイルスクラスターが発生し、5日間の営業停止となりました。その後も職員、ご利用者に発症者が出たものの、感染拡大する事はなく営業は継続できましたが、新型コロナウイルス感染予防の為、デイサービス利用を休止されるご利用者が少なくありませんでした。

9月には、台風の為に2日間営業を中止し、ご利用者・ご家族の方々には、大変なご迷惑をお掛けし、自然の恐ろしさを改めて痛感した一年でした。

デイサービスの利用者は月を追うごとに低迷し、12月には一日の平均利用者数は12.9人、月間稼働率は51.6%となりました。

この事態に対処するため、施設全体でご利用者増に必要な情報を共有しました。その結果、原因は自分達の足元にある事を理解し、オレンジヒルデイサービス新聞を再開し、各事業所を訪問するなど、自分達のデイを選んでもらえるPRをスタートしました。「あるがままのあなたを、笑顔で受け容れます」をモットーに、今後も中重度者の方を迷う事なく受け入れていくと同時に、スタッフのスキルアップと他事業所との連携を図っていきます。

2 活動実績

- (1) サービスCで提供するからだ元気教室は人材の確保が出来ず、実施出来ませんでした。サービスCの制度も変更になり、令和5年4月からは荒尾地域包括支援センターが主催するようになりました。
- (2) コロナ禍で実施された研修には、オンラインにて積極的に参加しました。
- (3) 新型コロナウイルス感染予防の為、バスハイク・外出行事は自粛しました。前期はコロナ感染にてほとんど活動できませんでしたが、ADLと認知機能の低下が心配される為、リハビリ体操、貼り絵、習字、脳トレ等を実施しました。後期より十分な感染対策の基に、季節の行事やバイキング料理を催しました。また、3年ぶりに秋祭りが開催され、ご利用者もスタッフも楽しむことが出来ました。
- (4) ①看護師が中心となり残存機能の維持向上を目的としたプログラムを作成実施し、3月からは理学療法士が仲間入りしたことで、心身両面の健康増進に努めることができるようになりました。1月からは科学的介護の推進のためにLIFEを導入し、科学的根拠のあるリハビリを提供しています。

- ②歯科医師による週1回の口腔チェックも好評で、1月より口腔機能向上加算を導入し、歯科医を中心として食の重要性を指導しています。
- (5) コロナ禍ではありましたが、毎月、府本地区、樺地区でのいきいきサロンに参加し、地域の方にも大変喜んで頂き、同時に地域との交流の広がりを感じています。

3 年間行事

4月	春野菜の苗植え・いきいきサロン参加
5月	いきいきサロン参加
6月	ふれあい書道展出・いきいきサロン参加
7月	親睦会（ご利用者のみ）バイキング料理・いきいきサロン参加
8月	ソーメン流し・いきいきサロン参加
9月	敬老会（職員余興）・いきいきサロン参加
10月	いきいきサロン参加
11月	オレンジヒル秋まつり・いきいきサロン参加
12月	クリスマス会・お鏡餅作り・いきいきサロン参加
1月	ふれあい書道展作品出展・おやつ作り（どら焼き）・いきいきサロン参加
2月	節分・おやつ作り（梅が枝餅）・いきいきサロン参加
3月	桜の花見（ふるさと公園、花見弁当）・握り寿司&スイーツ祭り・おやつ作り（パフェ）・いきいきサロン参加

※ 毎月、対象者は誕生会を実施。

※ 慰問については全面中止。

(デイサービス) 令和4年度利用状況

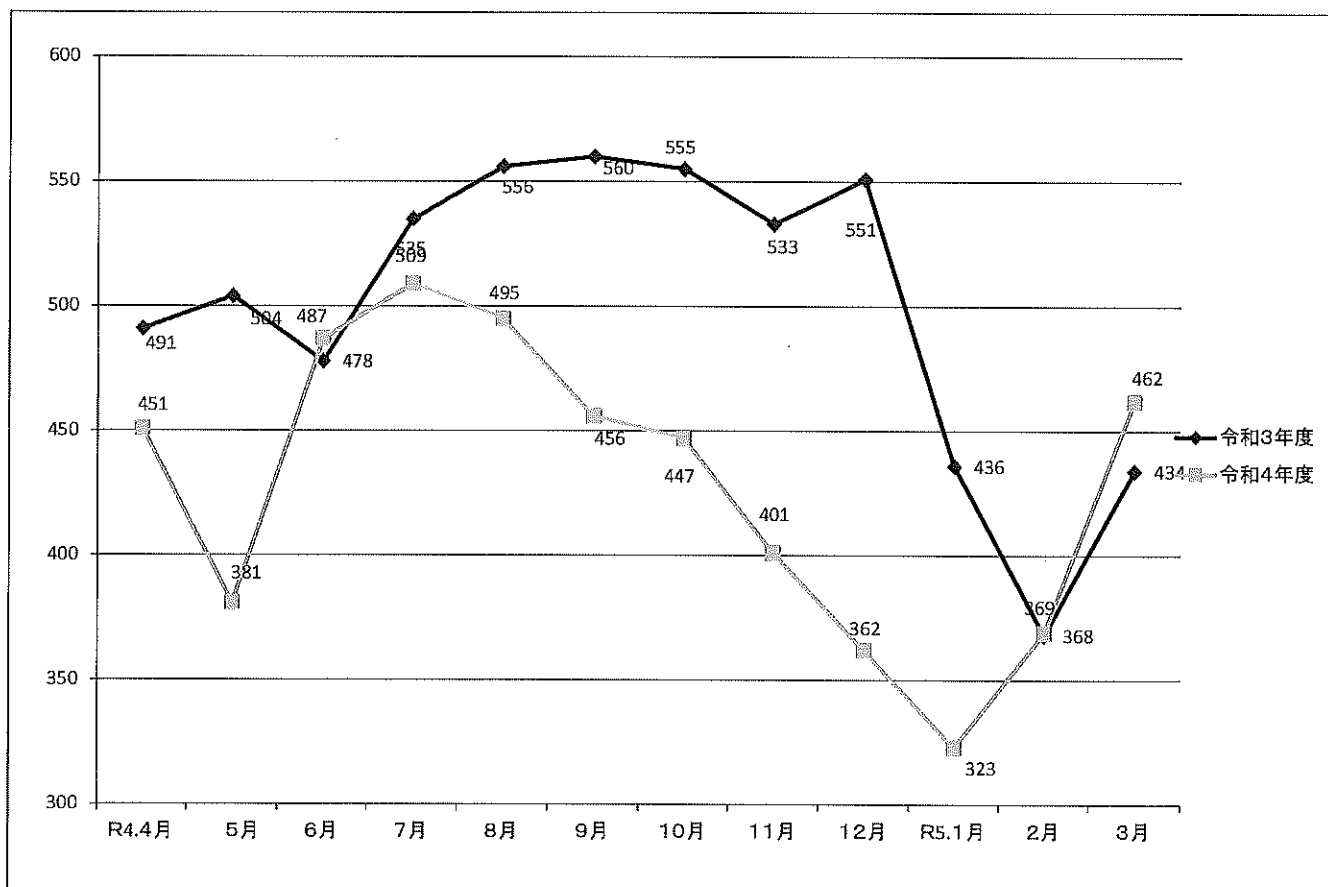
(表1) 令和4年度4月1日～令和5年3月31日 定員25名

年月	営業日数	介護(人)	総合事業(人)	合計利用者数	一日平均数(人)	稼働率100%の場合(人)	月間稼働率
R4.4	26	433	18	451	17.3	650	69.3%
5	21	369	12	381	18.1	525	72.5%
6	26	470	17	487	18.7	650	74.9%
7	26	490	19	509	19.5	650	78.3%
8	26	469	26	495	19	650	76.1%
9	24	417	39	456	19	600	70.0%
10	26	436	11	447	17.1	650	68.7%
11	26	391	10	401	15.4	650	61.6%
12	27	346	16	362	13.4	675	53.6%
R5.1	25	315	8	323	12.9	625	51.6%
2	24	355	14	369	15.3	600	61.5%
3	27	445	17	462	17.1	675	68.4%
合計	304	4936	207	5143	202.8	7600	812.5%
平均	25.3	411.3	17.2	428.5	16.9	633.3	67.7%

(表2) 前年対比

年度	営業日数	介護(人)	総合事業(人)	合計(人)	1日平均利用者数	1ヵ月平均定員数	年間稼働率
令和3年度	312	5704	299	6001	19.1	650	76.8%
令和4年度	304	4936	207	5143	16.9	633.3	67.7%
増減	-8	-768	-92	-858	-2.2	-16.7	-9.1%

令和4年4月1日～令和5年3月31日まで利用者数推移及び令和3年度比較表



オレンジヒル居宅介護支援事業所事業報告

1 総括

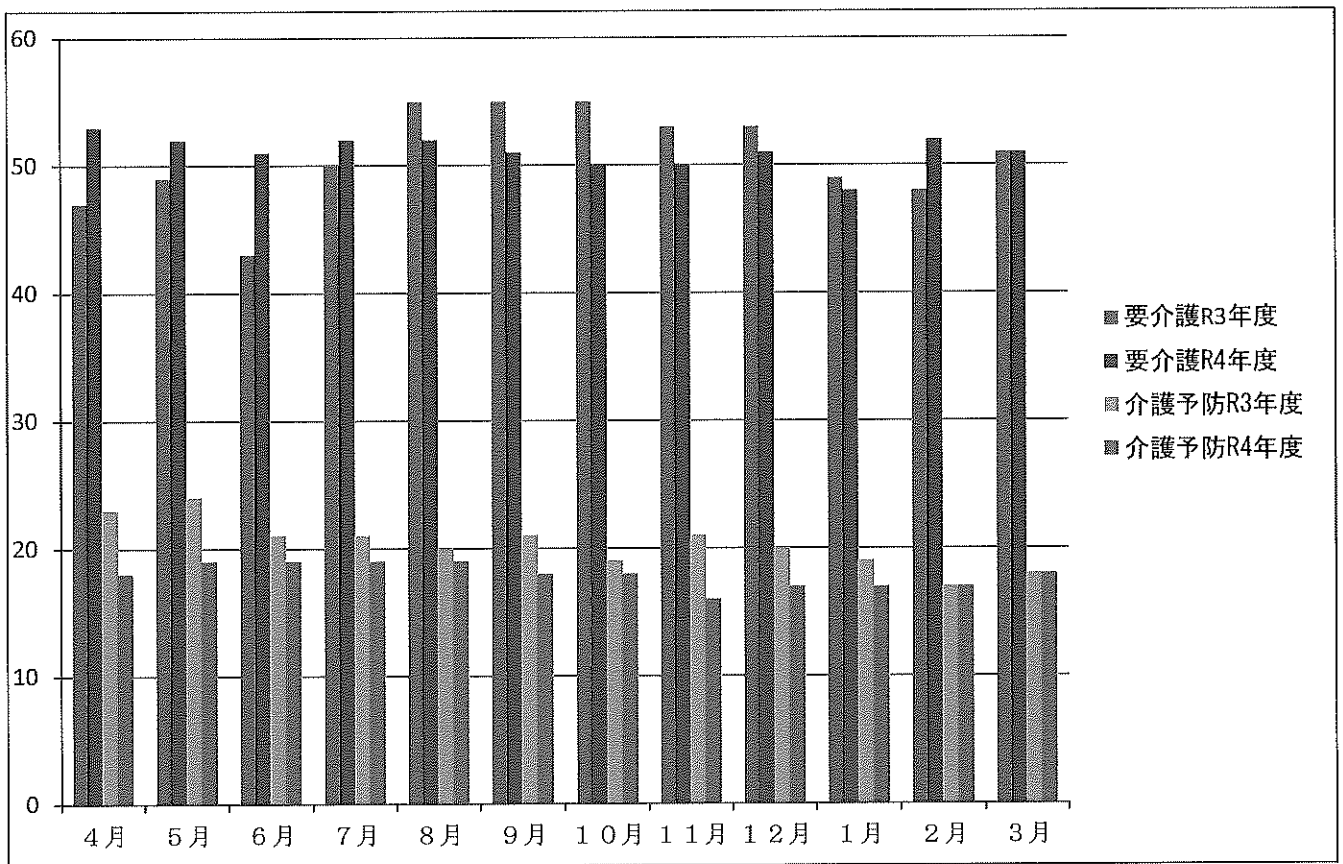
ご利用者、ご家族との信頼関係の構築に努め、ご利用者の意思を尊重し、その方らしい生活ができる様に取り組みました。また、介護するご家族の不安を傾聴して、介護負担軽減の為に何をすべきか一緒に考え、適切な対応を心掛けました。サービス事業所等、多職種との連携に努めたことにより、件数維持に繋がりました。個人情報については、慎重な取扱いに努めました。今後も、ご家族、サービス事業者等との連携を深め、情報交換を密に行い、支援してまいります。

2 活動実績

要介護度の認定は、年間 613 件、前年度比では 5 件増となりました。要支援の認定については、総合事業を含め 215 件で、前年度比 29 件減となりました。

要介護者は、オレンジヒル小袋のロングショート利用から入所された方が 7 名いました。居宅介護支援事業所としての新規利用者は 25 名で、施設内の事業所間で移られた方は、居宅介護支援事業所としての実績に反映されませんでした。しかし、オレンジヒル入所者数確保に貢献できたのではないかと考えます。また、負担が大きくなり困っている家族にとっては、施設入所がスムーズにできたことで、家族の日常生活を取り戻すことができたのではないかと考えます。これからも、施設併設の居宅を強みとして、地域の方に貢献していきたいと考えます。

令和3・令和4年度
利用実績状況比較表



(表1) 給付管理件数

(表2) 給付管理件数前年度対比

(件)

月	要介護			介護予防			合計
	男性	女性	計	男性	女性	計	
4月	15	38	53	6	12	18	71
5月	16	36	52	8	11	19	71
6月	15	36	51	7	12	19	70
7月	16	36	52	7	12	19	71
8月	16	36	52	8	11	19	71
9月	14	37	51	7	11	18	69
10月	14	36	50	7	11	18	68
11月	11	39	50	7	9	16	66
12月	10	41	51	8	9	17	68
1月	12	36	48	8	9	17	65
2月	13	39	52	8	9	17	69
3月	14	37	51	7	11	18	69
計	166	447	613	92	127	215	828

月	要介護			介護予防		
	3年度	4年度	対比増減	3年度	4年度	対比増減
4月	47	53	6増	23	18	5減
5月	49	52	3増	24	19	5減
6月	43	51	8増	21	19	2減
7月	50	52	2増	21	19	2減
8月	55	52	3減	20	19	1減
9月	55	51	4減	21	18	3減
10月	55	50	5減	19	18	1減
11月	53	50	3減	21	16	5減
12月	53	51	2減	20	17	3減
1月	49	48	1減	19	17	2減
2月	48	52	4増	17	17	0減
3月	51	51	0減	18	18	0減
計	608	613	5増	244	215	29減

荒尾市老人介護支援センター事業報告

1 総括

荒尾市のランチとしての役割としては、令和4年4月に1件相談があったのみでした。以後は新型コロナウイルス感染症の全国的な流行に伴い、相談事業等がありませんでした。

また、外部へ向けての普及活動は、いきいきサロン等への参加を行う事が出来ました。また、荒尾市主催の会議に参加したことを契機に、今後の普及活動を進めます。

2 活動実績

- (1) 介護保険関係や申請方法の対応はありませんでした。
- (2) 普及活動として、府本地区、樺地区のいきいきサロンに参加しました。

特別養護老人ホームオレンジヒル小岱
ユニット型特別養護老人ホームオレンジヒル小岱
給食事業報告

1 総括

行事食やイベント食には、季節の変化を感じられるように、季節の食材を多く取り入れるよう心がけました。献立がマンネリ化しているので、変化を取り入れるようにしました。

衛生管理では、食中毒を発生させないように、換気にも注意しながら室内を適温適湿に保ち、調理従事者のみならず、職員の手洗い、消毒にも十分配慮し、清潔に作業を行うことができました。

2 活動実績

(1) 栄養ケアマネジメント

毎月の体重測定による体重の増減、朝（昼）礼や食事時ミールラウンドにより、日々の体調・食事摂取状況を把握し、低栄養状態になる危険性を判定し、食事形態の変更や栄養補助食品を付ける等の栄養ケアを実施しました。また、ご入居者全員を対象として、ライフを活用しながら、3ヶ月に1回モニタリングを実施し、ケアの見直しを行いました。

〈リスクの判定〉

令和5年3月31日現在

	低リスク	中リスク	高リスク	入院	合計
従 来	27	17	6	0	50
ユニット	13	10	6	0	29

(2) 食事形態

令和5年3月31日現在

主 食	従 来	ユニット	副 食	従 来	ユニット
ごはん	10	12	普 通	11	9
煮炊き	24	11	一口大	7	2
全 粥	12	2	粗キザミ	1	1
ソフト	3	4	キザミ	24	12
経管栄養	1	0	ソフト	6	5
入 院	0	0	経管栄養	1	0
食止め	0	0	入 院	0	0
			食止め	0	0
合計	50	29	合計	50	29

(3) 行事食・イベント食

開催日	行事・イベント内容	開催日	行事・イベント内容
令和4年 4月 1日	花見弁当 (ユニット)	12月 22日	冬至
4月 5日	春の松花堂弁当 (デイ)	12月 24日	クリスマス
4月 11日	春の松花堂弁当 (デイ・従来)	12月 27日	お鏡作り (従来)
4月 日	春の松花堂弁当 (デイ)	12月 28日	お鏡作り (デイ・ユニット)
4月 29日	デイ料理教室	12月 31日	年越しそば
5月 5日	端午の節句	令和5年 1月 1日	お節
6月 25日	九州の郷土料理	1月 7日	七草粥
7月 7日	七夕	1月 11日	鏡開き
7月 18日	デイ親睦会	2月 3日	節分
8月 4日	土用の丑の日	2月 14日	バレンタインデー
8月 15日	お盆	3月 3日	ひまなつり
9月 10日	お月見	3月 18日	春のお彼岸
9月 19日	敬老の日	3月 20日	デイ寿司&スイーツ
9月 23日	秋のお彼岸	3月 25日	デイ寿司&スイーツ
10月 31日	ハロウィン	3月 27日 ~3月 31日	デイ花見弁当
11月 9日	秋祭り		

* 毎月1日は赤飯 12日は昼食パン 15日はちらし寿司を提供

施設運営委員会活動報告

1 総括

昨年度に続き、各事業所の責任者等で、感染症対策や自然災害をはじめ物価高騰など様々な問題や課題について協議しました。しかし、今年度は、新型コロナウイルス感染症のクラスターが発生し、委員会にも支障をきたし、2回にわたり中止せざるを得ない状況でした。そのような中でも、臨時に委員会メンバーを招集し、施設運営が円滑にできるように努めました。また、法人に関わる課題につきましては、法人会議を受けて情報の共有を行い、課題の解決に取り組みました。

2 活動実績

月	内 容	月	内 容
4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 対外的に円滑な連絡ができる環境づくりの件 ・ 職員の働きやすい環境づくりのための相談箱設置の件 ・ 令和4年度事業報告提出の件 	10	<ul style="list-style-type: none"> ・ 物価高騰等による施設運営の取り組みの件 ・ 秋祭りの件
5	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナクラスター発生にて中止 	11	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施設運営への取り組みの件 ・ 入所者の胸部X-P検査実施 ・ 冬季賞与の件
6	<ul style="list-style-type: none"> ・ 職員が辞めない環境づくりについて ・ BCP作成の件・夏季賞与の件 	12	<ul style="list-style-type: none"> ・ 収支改善の取り組みの件 ・ 来年度の事業計画等の件
7	<ul style="list-style-type: none"> ・ 求人募集の件 	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和5年度予算の件 ・ 収支改善の取り組みについて ・ LED設置の件
8	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナクラスター発生にて中止 	2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 職員健康診断の件 ・ 面会緩和の件
9	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人事考課の件 ・ 処遇改善手当の件 ・ 緊急時の連絡体制の件 	3	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人事考課の件 ・ 収支改善の取り組みについての経過報告

* 各月に共通する内容：前月の収入、各事業所報告及び法人会議の情報報告、新型コロナウイルス感染症対策

広報委員会活動報告

1 総括

年3回広報紙を発行し、ご利用者の日常生活や行事等を楽しまれている様子を多くの方々に見て頂く事ができました。ご利用者も広報紙が発行されるのを楽しみにされ、ご自身の写真が掲載されているのを見て大変喜ばれました。ホームページにつきましては、毎月行事・イベント写真を更新し、面会制限等ご利用者の様子が不透明な今日、ご利用者の日常の様子を知らせる意味でも役立てることができました。フォトコンテストにつきましては、コロナ禍により実施することが出来ませんでした。来年度は実施できるように取り組んでいきます。

2 活動実績

月	活動内容	月	活動内容
4	委員会 ホームページ更新	10	委員会 ホームページ更新
5	委員会 ホームページ更新	11	委員会 ホームページ更新 広報紙発行（秋号）
6	委員会 ホームページ更新	12	委員会 ホームページ更新
7	委員会 ホームページ更新 広報誌発行（夏号）	1	委員会 ホームページ更新
8	委員会 ホームページ更新	2	委員会 ホームページ更新
9	委員会 ホームページ更新	3	委員会 広報誌発行（春号） ホームページの更新

防災・環境美化委員会活動報告

1 総括

令和4年度中は、ご利用者や職員が安心安全に過ごせるように、防災・防火の計画を立て、避難訓練・消火訓練を実施し、防災の意識を高める事が出来ました。また、暴雨水害の施設内研修も行いました。施設内や施設周りの環境を整える為、日頃からの清掃に心がけ、清潔保持に努める事が出来ました。

2 活動実績

月	防災項目	環境美化項目
4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 緊急連絡網と自衛消防組織の更新と配布、掲示 ・ 消防防災設備の自主点検 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 害虫駆除 ・ 施設周り清掃
5	<ul style="list-style-type: none"> ・ 消防防災設備の点検（業者への依頼） ・ 電源周りチェック 	<ul style="list-style-type: none"> ・ エアコンフィルター清掃 ・ 府本小学校通学路清掃
6	<ul style="list-style-type: none"> ・ 防災訓練の実施（避難訓練、消火訓練） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 排水溝清掃
7	<ul style="list-style-type: none"> ・ 消防防災設備の自主点検 ・ 風水災害訓練の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 害虫駆除 ・ 施設周り草取り ・ 府本小学校通学路清掃
8	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施設周りの自然災害の確認及び台風対策 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 窓清掃 ・ ベランダ清掃
9	<ul style="list-style-type: none"> ・ 避難経路の清掃 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 排水溝清掃 ・ 府本小学校通学路清掃
10	<ul style="list-style-type: none"> ・ 消防防災設備の自主点検 ・ 防災訓練の実施（夜間）（避難訓練・消火訓練・通報訓練） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ エアコンフィルター清掃 ・ 施設周り清掃
11	<ul style="list-style-type: none"> ・ 消防防災設備の点検（業者への依頼） ・ 電源周りチェック 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施設周りの草取り ・ ワックス掛け（～12月） ・ 府本小学校通学路清掃
12	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施設周りの火元の確認 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 粗大ゴミ清掃 ・ 窓清掃 ・ 排水溝清掃
1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 消防防災設備の自主点検 ・ 避難経路の清掃 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 加湿器点検 ・ 府本小学校通学路清掃
2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 防災訓練の実施（避難訓練・消火訓練・通報訓練） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ベランダ清掃 ・ リサイクル清掃
3	<ul style="list-style-type: none"> ・ 防災用備蓄品確認 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 排水溝清掃 ・ 加湿器清掃 ・ 府本小学校通学路清掃

※更衣室1回/週・ポリバケツ1回/2週・玄関1回/2か月で清掃を行った。

給食・行事実行委員会活動報告

1 総括

給食部門では、利用者の要望や検食を通して意見や感想を出し合い、厨房とも意見を交換しながら改善に取り組みました。行事実行部門では、外出行事がほとんどできませんでしたが、少人数での車窓からのお花見ドライブや、施設内でできる料理教室（おやつ作り）、レクリエーションを多く取り入れました。例年全体で行う餅つきは、部署毎に行いました。コロナ感染により、クリスマス会等が出来ない部署もありましたが、全体での秋祭りが出来て、良かったと思います。

2 活動実績

月	給食部門	月	行事実行部門
4	委員会：行事食（花見弁当）	4	委員会：料理教室・野菜苗植え・花見
5	委員会：行事食（端午の節句）	5	委員会：料理教室
6	委員会：行事食（郷土料理）	6	委員会：料理教室・野菜収穫
7	委員会：行事食（七夕）	7	委員会：料理教室・七夕 そうめん流し
8	委員会：行事食（お盆）	8	委員会：料理教室・西瓜割り
9	委員会：行事食（敬老の日）	9	委員会：料理教室・敬老会 秋祭り
10	委員会：行事食（お月見）	10	委員会：料理教室・秋祭り
11	委員会：行事食（秋の献立）	11	委員会：料理教室
12	委員会：行事食（クリスマス ・年越しそば）	12	委員会：料理教室・ クリスマス会（従来は、 コロナ感染の為中止） お鏡作り
1	委員会：行事食（おせち料理）	1	委員会：料理教室・新年会
2	委員会：行事食（節分）	2	委員会：料理教室・豆まき
3	委員会：行事食（ひな祭り） 反省会	3	委員会：料理教室・ひな祭り 花見・反省会

研修・福利厚生委員会活動

1 総括

令和4年度も新型コロナウイルス流行の影響により、一部研修を実施できなかった。そのため、資料を配布し、アンケートを実施しました。

また、法人の合同研究発表会も延期となり次年度に持ち越しとなりました。

福利厚生についても、新型コロナウイルス感染拡大のため、旅行や新年会は中止となっていました。その代わりに、11月に「お弁当の日」設けて昼食を提供し、3月には「コロナに負けるか抽選会」を行いました。抽選会の商品の多くは、寄付によるものです。

2 活動実績

月	内 容
4	(全体研修) 事故防止について1 講師：江崎相談員 身体拘束について1 講師：江崎相談員 常備薬点検
5	(施設内研修) 食中毒について 講師：馬場副主任、資料配布 職員旅行企画
6	(施設内研修) 防災について 講師：山内係長 職員旅行企画
7	(施設内研修) 看取りについて 講師：楠原係長 暑気払いは、新型コロナウイルス感染にて中止
8	(施設内研修) 事故防止について 講師：事故防止委員会 全体研修 新型コロナウイルス感染症対応にて中止
9	(施設内研修) ハラスメントについて 講師：事務長、資料配布 職員旅行中止のため、積立金は返金
10	(施設内研修) 褥瘡について 講師：褥瘡・感染症委員会、 DVD鑑賞 常備薬点検
11	(全体研修) 感染症・新型コロナウイルス感染症について 講師：荒尾市民病院 船原様 (施設内研修) 認知症について 講師 荒牧部長
12	(全体研修) 口腔ケアについて 講師：川副医師 身体拘束について2 講師：江崎相談員 (施設内研修) 研修報告 12月20日 江崎、北原、百原、安達 12月23日 境、新村、荒牧部長、福屋

1	(施設内研修) 救急救命について 新年会中止 抽選会準備開始	講師：米岡部長 資料配布
2	(施設内研修) 苦情処理について 2月8日 公開抽選会	講師：江崎相談員 資料配布
3	(施設内研修) メンタルヘルスについて 互助会費の収支報告	講師：米岡部長

入退所検討委員会活動報告

1 総括

令和4年度の稼働率は、従来型 95.3%、ユニット型 95.8%で終わりました。

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、入所調整に支障が出ました。退居から次期入居までの期間を 3~7 日以内とする目標を設定しましたが、調査先やご家族等にも新型コロナウイルス感染症の影響が出ていたため、調査の遅れや受け入れ体制に問題が生じていました。また、入所待機者の減少により、特にユニット型の入所には苦慮した状況です。そのため、入所受け入れ期間の平均は、従来型では 10.7 日、ユニット型は 18.0 日かかってしまいました。

ロングショートステイ者を多く受け入れ、空床が発生した場合、ロングショートステイ者を入居に移行するようになってきましたが、新型コロナウイルス感染症によりショートステイの受け入れが出来ない期間があったことで、稼働率も低迷しました。

入院者は、全体では 739 日と増加してしまいました。次年度は入院空床減少を図るため、施設内で行える加療等についても検討が必要です。

昨年同様、ユニット型への入居についても課題を抱えました。申し込み時は了承されているにもかかわらず、入所案内時に料金面の問題で入居を断られることが多く、次期入居者の決定に時間を要してしまいました。申し込み時に再度、料金面の説明を十分に行い、理解を得た上でユニット型への申込を受理するようにします。また、入居前調査の日程調整等をスムーズに行い、平等で迅速な入居に努めます。

委員会は毎月開催していますが、入退居の報告以外にもショートステイ利用者に係わる検討、さらに困難事例として依頼された内容についても検討を重ねて行きます。

2 活動実績

(入退所者数)

月	内 容	従来型		ユニット型	
		入所者	退所者	入所者	退所者
4	委員会	2	2	0	0
5	委員会	0	0	2	3
6	委員会	2	2	1	0
7	委員会	1	1	0	1
8	委員会	0	2	0	0
9	委員会	3	1	0	0
10	委員会	4	5	3	2
11	委員会	1	0	1	3

1 2	委員会	2	3	3	1
1	委員会	3	3	1	2
2	委員会	3	2	2	1
3	委員会	2	2	0	1
合計		23	23	13	13

褥瘡・感染症予防委員会活動報告

1 総括 褥瘡

ご利用者の褥瘡発生リスクに応じてエアーマットの使用や体位変換をし、除圧を実施しました。褥瘡発生時は囑託医に報告し、指示を仰ぎました。1～3ヵ月単位で褥瘡計画書を作成し、キーパーソンに報告しました。また、ブレーデンスケールの評価も実施しました。

感染症

新型コロナウイルス感染症について、平常時からの準備と発生時の対応についてマニュアル作成し、感染管理認定看護師からのアドバイスも頂きました。新型コロナウイルス感染発生時は、囑託医の指示を仰いで対応するとともに、マニュアルに沿った感染対策を実施しました。

全職員の抗原検査も毎週行い令和4年度末時点でも継続中です。

コロナ感染時は毎月の委員会が開催できず、資料配布や臨時感染症予防委員会を実施しました。

私達は、これからも感染対策の徹底に取り組んで参ります。

2 活動実績

月	内 容
4	褥瘡の部：ブレーデンスケール評価 褥瘡対策に対するケア計画書の作成 (1～3ヶ月単位) 感染の部：消毒用アルコール設置 (各事業所)
5	褥瘡の部：褥瘡対策に対するケア計画書の作成 (1～3ヶ月単位) 感染の部：消毒用アルコール設置 (各事業所) 新型コロナウイルスワクチン第1回目予防接種の実施 (ご利用者・職員) 臨時感染症予防委員会 市民病院医師による従来型特養利用者 PCR 検査施行
6	褥瘡の部：褥瘡対策に対するケア計画書の作成 (1～3ヶ月単位) 感染の部：消毒用アルコール設置 (各事業所) 食中毒について・・・資料配布のみ
7	褥瘡の部：褥瘡対策に対するケア計画書の作成 (1～3ヶ月単位) 感染の部：消毒用アルコール設置 (各事業所) 第4回新型コロナウイルスワクチン接種 (ご利用者・職員)

8	褥瘡の部：褥瘡対策に対するケア計画書の作成（1～3ヶ月単位） 感染の部：消毒用アルコール設置（各事業所）
9	褥瘡の部：褥瘡対策に対するケア計画書の作成（1～3ヶ月単位） 感染の部：消毒用アルコール設置（各事業所）
10	褥瘡の部：ブレーデンスケール評価 褥瘡対策に対するケア計画書の作成（1～3ヶ月単位） 褥瘡についての研修（動画視聴） 感染の部：消毒用アルコール設置（各事業所） インフルエンザワクチン予防接種（ご利用者・職員）
11	褥瘡の部：褥瘡対策に対するケア計画書の作成（1～3ヶ月単位） 感染の部：消毒用アルコール設置（各事業所）
12	褥瘡の部：褥瘡対策に対するケア計画書の作成（1～3ヶ月単位） 感染の部：消毒用アルコール設置（各事業所） 感染管理認定看護師による研修 第5回新型コロナワクチン予防接種（ご利用者・職員）
1	褥瘡の部：褥瘡対策に対するケア計画書の作成（1～3ヶ月単位） 感染の部：消毒用アルコール設置（各事業所）
2	褥瘡の部：褥瘡対策に対するケア計画書の作成（1～3ヶ月単位） 感染の部：消毒用アルコール設置（各事業所）
3	褥瘡の部：褥瘡対策に対するケア計画書の作成（1～3ヶ月単位） 感染の部：消毒用アルコール設置（各事業所）

リスクマネジメント委員会活動報告

1 総括

令和4年度のヒヤリハット報告は1673件で、前年度より411件減少しました。また、事故報告件数は121件で、前年度より29件増加しました。コロナ禍で職員同士の連携が取りにくかったことや、業務が多忙でヒヤリハットの報告件数が減少したこと、感染対策のための隔離のため素早い対応できず転倒に繋がってしまったことなどが、事故報告が増加した要因と考えられると思います。行政報告は、年間10件と前年度より8件減となり、大きな事故は減少しました。誤薬については前年度8件から今年度は0件に減少し、ダブルチェックの徹底で改善出来ていると評価されています。

委員会では、これらの情報を周知徹底し、ご利用者の行動や言動の観察を行い、少しの変化でも情報共有し、スタッフ内で注意しあいながらご入居者との関わりを持ち、一つでも事故を未然に防げるように努めます。

2 活動実績

(1) 施設内研修会

8月 リスクマネジメント防災について 資料配布

(2) 年間の各部署の事故報告書、ヒヤリハット件数

部 署	事故報告	ヒヤリハット報告	行政報告
デ イ	4 件	261 件	0 件
従 来	73 件	756 件	6 件
ユ ニ ッ ト	44 件	645 件	4 件
事務所・居宅	0 件	11 件	0 件
合 計	121 件	1673 件	10 件

身体拘束廃止及び虐待防止委員会活動報告

1 総括

令和4年度の活動では、虐待の芽アンケート調査をもとに、不適切なケアについて考え、虐待や身体拘束になりえる危険性が高い事例においては委員会でまとめた意見を全職員に周知しました。

また、前年度課題となっていたアンケートの修正行い、アンケート結果をグラフ化することで見える化し、分かりやすくなりました。

2 活動実績

- (1) 毎月委員会を予定していましたがコロナ禍により実施出来ない月もありました。
- (2) 2か月に1回の虐待の芽、身体拘束アンケートを実施しました。
アンケートの結果について、各部署へのフィードバックを徹底しました。
- (3) 虐待の芽アンケートと身体拘束アンケートを見直しました。

- | | |
|-----|---|
| 4月 | 虐待の芽アンケート調査
全体ミーティング（研修：身体拘束について※江崎） |
| 5月 | アンケート集計、各部署への結果フィードバック |
| 6月 | 虐待の芽アンケート調査 |
| 7月 | アンケート集計、各部署への結果フィードバック |
| 8月 | 虐待の芽アンケート調査 |
| 9月 | アンケート集計、各部署への結果フィードバック |
| 10月 | 虐待の芽アンケート調査 |
| 11月 | アンケート集計、各部署への結果フィードバック |
| 12月 | 全体ミーティング（研修：身体拘束について※米岡部長）
虐待の芽アンケート調査 |
| 1月 | アンケート集計、各部署への結果フィードバック |
| 2月 | 虐待の芽アンケート調査 |
| 3月 | 令和4年度中の活動と今後の活動課題についてのまとめ |

衛生委員会活動報告

1 総括

職員の心身の健康保持増進、日々安全で健康的に働くことの出来る職場環境の実現を目指し、以下の活動を実施しました。

- ① 新型コロナウイルス感染症対策 — 基本的な感染予防対策の呼びかけ及び嘱託医の監督のもと新型コロナワクチン接種を実施しました。しかしながら年度内にクラスターが複数回発生してしまいました。
- ② 職員健康診断・腰痛検査の実施 — 定期健康診断後は、産業医の助言を該当職員に伝達し、その後の健康状態や受診状況の確認を行いました。
- ③ メンタルヘルスケア — 令和4年度も業者へ委託し、ストレスチェックを実施しました。その結果、4名の高ストレスの職員がいましたが、産業医の面談を受けた職員はいませんでした。
- ④ インフルエンザ予防接種 — 嘱託医の監督のもと希望する職員に実施し、罹患者はいませんでした。
- ⑤ 腰痛予防 — 令和4年度中は実施しませんでした。
- ⑥ 職場巡回 — 職場の安全・衛生に関する危険やリスクを把握し、働きやすい環境の構築と労働災害未然防止のために、毎月1回職場内の巡視を実施しました。

2 活動実績

月	内 容
4	委員会
5	新型コロナクラスター発生にて中止
6	委員会、健康診断結果について産業医からの助言 (6/17)
7	委員会
8	委員会
9	新型コロナクラスター発生にて中止
10	職員健康診断・腰痛検査 インフルエンザ予防接種
11	委員会、職員健康診断・腰痛検査 ストレスチェック (11/1~11/15)
12	健康診断結果について産業医からの助言 (12/20) ストレスチェック調査結果の個人配布
1	
2	委員会、ストレスチェックについて委託機関による報告会 (2/6) 職員健康診断・腰痛検査
3	委員会、職員健康診断・腰痛検査 メンタルヘルス対策施設内研修(資料配布)

喀たん吸引等安全対策委員会活動報告

1 総括

介護職員が喀痰吸引等を安全に行うための体制整備に努めました。新規入所者様や新規ショートステイご利用者に対しては、嘱託医より指示書、ご家族より同意書を頂き、喀たん吸引等業務計画書を作成しました。すでに入所されている方については、書類の見直しを行いました。

また、喀たん吸引の際は、新型コロナウイルス感染対策に努めました。介護職員が吸引を行った入所者様については、実施状況報告書を嘱託医へ提出しました。その際、ヒヤリハットや事故につながる事例はありませんでした。

口腔内吸引研修1回目と救急蘇生法の施設内研修は、コロナ禍につき、密を避ける為に動画視聴と資料配布になりました。口腔内吸引研修2回目は嘱託医助言のもと、各事業所で個別にデモンストレーションを実施しました。

2 活動実績

月	内 容
4	委員会
5	委員会(嘱託医参加) 施設内研修 口腔内吸引について(動画視聴)
6	新型コロナクラスター発生にて中止
7	委員会
8	委員会
9	新型コロナクラスター発生にて中止
10	新型コロナクラスター発生にて中止
11	委員会(嘱託医参加)
12	施設内研修 口腔内吸引について(デモンストレーション)
1	施設内研修 救急蘇生法について(資料配布)
2	委員会、次年度活動検討
3	委員会

令和4年度 研修会・会議(特養)

研修・会議名	日時	場所	参加者
地域医療連携の会	5月13日	オンライン研修	2名
令和5年3月新規学校卒業者対象求人説明会	5月23日	玉名市	1名
新型コロナウイルス感染症有明地域会議	6月6日	オンライン研修	2名
令和4年度福祉職員キャリアパス対応生涯研修 初任者コース	6月6～7日	オンライン研修	1名
実務者研修スクーリング	6月7、15、22、29日	オンライン研修	1名
抄録の書き方	6月25日	オンライン研修	1名
集団指導(特養・短期)	6月27日	オンライン研修	3名
介護施設における安全対策担当者養成研修	7月12日	オンライン研修	1名
令和4年度社会福祉法人役員向け研修会	7月12日	熊本市	1名
介護施設における安全対策担当者養成研修	7月15日	オンライン研修	1名
高齢者施設等における感染防止対策オンライン研修	7月25日	オンライン研修	1名
令和4年度 社会福祉法人労務研修会	7月26日	オンライン研修	1名
高齢者施設等における感染防止対策オンライン研修	7月30日	オンライン研修	1名
九州老人福祉施設職員研修大会Web沖縄大会「看護・介護・栄養・地域 多職種連携による施設ケア」	8月2日	オンライン研修	1名
令和4年度福祉職員キャリアパス対応生涯研修 管理職員コースコース	8月3・4日	オンライン研修	1名
介護施設における安全対策担当者養成研修	8月6日	オンライン研修	1名
九州老人福祉施設職員研修大会Web沖縄大会「科学的介護の実現(認知症ケア・看取り介護)」	8月7日	オンライン研修	1名
九州老人福祉施設職員研修大会Web沖縄大会「高品質の施設サービスをめざして(ADL・QOL向上)」	8月8日	オンライン研修	1名
タイムマネジメント研修会	8月16・17日	オンライン研修	1名
熊本高齢者の排泄を支える会研修会	8月27日	オンライン研修	1名
九州老人福祉施設職員研修大会Web沖縄大会「人材確保・育成・介護の魅力発信等への取り組み」	8月28日	オンライン研修	1名
スーパーバイザー養成研修会	8月30・31日	オンライン研修	1名
令和4年度介護サービス事業者支援研修会	10月18日	オンライン研修	1名
令和4年度 広報担当職員研修会～「伝える」から「伝わる」広報へ～	10月19日	オンライン研修	1名
令和4年度介護サービス事業者支援研修会 リスクマネジメントとコンプライアンスの基本とは?	10月25日	オンライン研修	1名
令和4年度介護サービス事業者支援研修会	10月28日	オンライン研修	1名
施設入所・退所時の事務手続等対応研修 介護施設における法律事務一成年後見人、身元引受人等を中心に	11月2日	オンライン研修	1名
九州ブロック地域包括・在宅介護支援センター協議会セミナー	11月10日	オンライン研修	1名
令和4年度 福祉職員のための記録研修会	11月8日	オンライン研修	1名

介護事故の賠償トラブル・訴訟への対応策	11月12日	オンライン研修	1名
介護事故の賠償トラブル・訴訟への対応策	11月15日	オンライン研修	1名
荒尾市虐待防止等対策地域協議会代表者会議	11月15日	オンライン研修	1名
介護事故の賠償トラブル・訴訟への対応策	11月17日	オンライン研修	1名
雇用管理責任者講習 現場力アップのためのコミュニケーション	11月17日	熊本市	1名
介護事故の賠償トラブル・訴訟への対応策	11月22日	オンライン研修	3名
ユニットリーダー研修(実地研修)	11月15~17日	福岡市	1名
介護事故の賠償トラブル・訴訟への対応策	11月24日	オンライン研修	1名
令和4年度(2022年度)認知症介護実践者フォローアップ研修	11月26日	熊本市	1名
スーパーバイザー養成研修会	11月29・30日	オンライン研修	1名
令和4年度 自立支援騒動研修 介護現場における口腔ケアについて ー誤嚥性肺炎をゼロへー	12月4日	オンライン研修	1名
3センター合同研究成果報告会	12月7日	オンライン研修	1名
ユニットリーダー研修(プレゼンテーション)	12月9日	オンライン研修	1名
要配慮者利用施設における防災対策及び防災気象情報等の収集に係る研修会	12月9日	オンライン研修	1名
福祉人材採用直向上セミナー2022	12月19日	オンライン研修	1名
令和4年度の理事会・評議員会の開催スケジュールセミナー	1月26日・27日	オンライン研修	1名
ユニットリーダー研修(講義)	1月26日・27日	オンライン研修	1名
社会福祉法人会計基礎実践的基礎講習	2月3日	オンライン研修	1名
令和4年度 社会福祉法人労務研修会「社会福祉法人における人事評価実践研修」	2月7日	オンライン研修	1名
ケアプランデータ連携システム説明会	2月8日	オンライン研修	1名
ケアプランデータ連携システム説明会	2月13日	オンライン研修	1名
介護の認識を変える1週間	2月21日	オンライン研修	1名
令和5年度 福祉サービス苦情解決事業 第三者委員研修会	2月23日	オンライン研修	1名
BCP策定ワークショップ	2月24日	オンライン研修	1名
令和4年度 福祉サービス苦情解決事業 第三者委員研修会	2月27日	オンライン研修	1名
生産性向上の取組に関する介護事業所向けセミナー実践報告会	2月28日	オンライン研修	1名
障害者雇用納付金制度事務説明会	3月2日	熊本市	1名

令和4年度 研修会・会議(ユニット)

研修・会議名	日時	場所	参加者
介護事業所におけるクレーム対応セミナー	4月26日	オンライン研修	1名
「高齢者施設等における感染防止対策」研修	5月17日	オンライン研修	1名
集団指導(特養・短期)	6月27日	オンライン研修	2名

高齢者施設等における感染防止対策オンライン研修	7月4日	オンライン研修	2名
介護施設における安全対策担当者養成研修	7月22日	オンライン研修	1名
令和4・5年度モチベーションアップ研修会	7月26・27日	オンライン研修	1名
介護施設における安全対策担当者養成研修	7月28日	オンライン研修	1名
モチベーションアップ研修会（初任者編）	8月3日	オンライン研修	1名
九州老人福祉施設職員研修大会Web大会（沖縄大会） 「科学的介護の実現（認知症ケア・看取り介護）」	8月5日	オンライン研修	1名
九州老人福祉施設職員研修大会Web大会（沖縄大会） 「高品質の施設サービスをめざして（ADL・QOL向上）」	8月12日	オンライン研修	1名
応急手当普及員（再講習）	8月19日	荒尾市	1名
九州老人福祉施設職員研修大会Web大会（沖縄大会） 「社会福祉法人・施設の更なる取り組み」	8月19日	オンライン研修	1名
九州老人福祉施設職員研修大会Web大会（沖縄大会） 「人材確保・育成・介護の魅力発信等への取り組み」	8月27日	オンライン研修	1名
熊本高齢者の排泄を支える会研修会	8月27日	オンライン研修	1名
スーパーバイザー養成研修会	8月30・31日	オンライン研修	1名
令和4年度福祉職員キャリアパス対応生涯研修 中堅職員コース	9月12・13日	オンライン研修	1名
令和4年度介護サービス事業者支援研修会	10月13日	オンライン研修	1名
令和4年度福祉職員キャリアパス対応生涯研修 中堅職員コース	9月12・13日	オンライン研修	1名
令和4年度 広報担当職員研修会～「伝える」から「伝わる」広報へ～	10月19日	オンライン研修	1名
令和4年度 福祉職員のための記録研修会	11月8日	オンライン研修	1名
モチベーションアップ研修会（リーダー編）	11月16日	オンライン研修	1名
介護事故の賠償トラブル・訴訟への対応策	11月18日	オンライン研修	2名
介護事故の賠償トラブル・訴訟への対応策	11月21日	オンライン研修	2名
介護事故の賠償トラブル・訴訟への対応策	11月24日	オンライン研修	1名
令和4年度 自立支援騒動研修 介護現場における口腔ケアについて 一誤嚥性肺炎をゼロへ	11月28日	オンライン研修	1名
スーパーバイザー養成研修会	11月29・30日	オンライン研修	1名
認定看護師講座 「看取りの看護」	1月20日	オンライン研修	1名
令和4年度 アンガーマネジメント研修会	2月1日	オンライン研修	1名
令和4年度 社会福祉法人労務研修会「社会福祉法人における人事評価実践研修」	2月7日	オンライン研修	1名
認定看護師講座 「DESIGN-R2020について」	3月10日	オンライン研修	1名
高齢者の身体拘束・虐待を考える介護施設における安全対策担当者養成研修	3月10日	熊本市	1名

令和4年度 研修会・会議(居宅)

研修・会議名	日時	場所	参加者
令和4年度 荒尾市指定地域密着型サービス事業所集団指導	7月22日	荒尾市	1名
第1回荒尾市ケアマネジャー研修会	7月14日	オンライン研修	2名
ケアプランデータ連携システム説明会	2月10日	オンライン研修	2名
令和4年度 主任介護支援専門員の集い	2月17日	オンライン研修	2名

令和4年度 研修会・会議(デイ)

研修・会議名	日時	場所	参加者
第4回 ビジネスマナー研修会	5月20日	熊本市	1名
安全運転管理者講習	7月6日	荒尾市	1名
集団指導(デイ)	6月24日	オンライン研修	1名
九州老人福祉施設職員研修大会Web大会(沖縄大会)「在宅サービスの実践と課題」	8月29日	オンライン研修	1名
令和4年度 通所介護部Webセミナー「通所介護事業所における業務継続計画(BCP)作成ポイント」	9月20・22日	オンライン研修	1名
令和4年度 ハラスメント防止研修～福祉の職場での利用者・家族等との人間関係リスク～	9月26日	オンライン研修	1名
令和4年度 通所介護部Webセミナー「通所介護事業所における業務継続計画(BCP)作成ポイント」	10月3日	オンライン研修	1名
福祉サービス苦情解決研修会	11月10日	オンライン研修	1名
災害派遣福祉チーム(熊本DWAT)研修会	11月15日	熊本市	1名
介護事故の賠償トラブル・訴訟への対応策	11月23・24日	オンライン研修	2名
介護事故の賠償トラブル・訴訟への対応策	11月28日	オンライン研修	1名
令和4年度 介護者歯科実技研修会 オンライン研修Ⅰ・Ⅱ	1月20日	オンライン研修	1名
実務者研修スクーリング	1月20・27日、 2月3・10・17日	オンライン研修	1名
令和4年度 生年後見制度利用促進研修会	1月31日	オンライン研修	1名
令和4年度 アンガーマネジメント研修会	2月1日	オンライン研修	1名
ケアプランデータ連携システム説明会	2月8日	オンライン研修	1名
ケアプランデータ連携システム説明会	2月10日	オンライン研修	1名
高齢者ケアセンター 共生の里津福・荒木1日研修	2月14日～3月7日	久留米市	7名
本人の意向を尊重した意思決定のための相談員研修会	3月21日	オンライン研修	1名

特別養護老人ホーム共生の里津福 事業報告

1 総括

令和4年度も、介護人材の不足や十分な職員の補充ができない状況が続き、限られた人員でご利用者が安心して過ごしていただけるよう、併設ショートステイユニットを含めたユニット間の応援、協力体制を密にとりました。また、介護職を中心として多職種が連携を図り、ご利用者が住み慣れた環境（場所）で安心して暮らしていただけるようチームケアを実践しました。

特養において、12月に新型コロナウイルス感染症によるクラスターが発生し、特養ユニットで15名のご利用者が感染され、ご利用者、職員ともに感染が拡大してしまいました。嘱託医や多職種、保健所と連携を図り、マニュアルに沿った感染者の対応を行ったことは大きな学びとなりましたが、現在の職員体制で感染拡大を防止する取り組みや発生後の細かな対応については、今後の課題となりました。

令和4年度は施設内で7名の看取り介護を実施させていただきました。施設内クラスター期間中においても看取り介護を実施し、感染対策を図りながら、ご利用者、ご家族の意向に可能な限り寄り合い、その方らしい最期が迎えられるよう、ご利用者、ご家族との関わりを重視した個別ケアを行いました。

地域貢献活動としては、前年度同様新型コロナウイルス感染症の流行の影響で、久留米市や津福校区での地域行事等のほとんどが中止となり、十分な活動ができませんでした。次年度は地域行事等の再開も見込まれるため、地域連携室を中心に、地域の感染状況を踏まえて、可能な限り地域貢献活動への取り組みを積極的に行っていきます。

2 活動実績

(1) かすりユニット/みのうユニット（共通）

- ① 周辺地域の新型コロナウイルス感染症の状況に応じて、対面での面会方法の検討やLINEを使用したオンライン面会を推奨し、緩和時期には時間制限を設けた居室での面会が実現でき、ご利用者、ご家族の不安やストレスの軽減を図りました。

また、外出等が制限されるなか、施設周辺の外庭散歩や短時間のドライブ、施設内でできる行事等を企画し、施設での生活が楽しみのあるものとなるよう努めました。

- ② 限られた人員のなか、ご利用者のケアを継続していくにあたり、定期的またはご利用者の身体状況に変化がみられた際は、カンファレンスを開催し、ユニット間や多職種間との情報共有を図り、問題・課題の早期解決や統一した個別ケアを提供することができました。また、面会時や定期的な電話連絡、毎月の手紙を通して、ご家族ともご利用者の状態やケア方法について情報を共有することができました。

エビデンスに基づいた自立支援・重度化防止を実践するためLIFEを活用した科学的介護推進体制加算を算定し1年が経過しました。定期的にご利用者個々の心身の状態・ADL等の情報を提出しましたが、LIFEからのフィードバックデータの内容が不十分な所があり、科学的介護の実践やデータを踏まえた施設サービス計画書の見直し、ケアの改善には至らず、今後の課題となりました。

(2) 看護課

- ① 令和4年度は新型コロナウイルス感染症の第7波、第8波と感染拡大の波が起こり、12月には特養・ショートにおいて大クラスターが発生しました。生活の場であるこの施設で、いつ重症化し、死に至るかもわからない状態の入居者に対し嘱託医と連携を図り、抗ウイルス剤投与と状態観察を行い、無事に療養期間を終えることができました。
- ② 看取り期においては、日々状態が変化するご利用者に対し、家族の思いに寄り沿い、医療・ケアチームとして日常生活の延長線上の看取りであることを意識し、その方にとっての最善の過ごし方を考え、対応しました。

また、久留米大学医学部看護学科、筑水高等学校介護福祉科の実習期間中に看取り対応中の入居者が息を引き取られました。息を引き取るその日まで本人の意思を尊重し、ベッド上で散髪を行えたこと、息を引き取る前日に奥様の介助のもと入浴されたことなど、実際に見学することができました。「ご遺体がきれいで、穏やかで安らかな表情だったのは日頃からケアが丁寧に行われているからだ」と感じてもらうことができ、学生にとっても、私達職員にとっても貴重な経験となりました。

令和4年度
年間実績報告

月	内容
4	職員健診(腰痛検診)
6	入居者健診
7	入居者健診
	19日・22日新型コロナワクチン4回目施設内接種
	19日久留米大学医学部看護学科実習連絡会
	ストレスチェック
9	14日～16日久留米大学医学部医学科実習
10	インフルエンザワクチン接種
11	29日新型コロナワクチン5回目施設内接種
	職員健診(夜勤者従事者)
	1日～16日久留米大学医学部看護学科実習
12	2日新型コロナワクチン5回目施設内接種
	13日～新型コロナウイルス感染症クラスター2階隔離
1	3日コロナ収束隔離解除
	11日～26日久留米大学医学部看護学科実習
2	7日～22日久留米大学医学部看護学科実習

※随時特養入居時健診、肺炎球菌ワクチン接種、新型コロナワクチン接種実施

通院・入院状況

特養	令和3年度	令和4年度
嘱託医往診	101回	114回
その他往診	62回	46回
受診	81件	107件
救急搬送	3件	2件
入院	15件(219日)	15件(236日)

ショートステイ

	令和3年度	令和4年度
嘱託医往診	78回	92回
その他往診	11回	16回
訪問看護		18回
受診	55件	37件
救急搬送	7件	1件

みのうユニット行事報告			
月 日	行事内容	場 所	参加者
4月5日	お花見ドライブ(M様、Y様)	施設周辺	2名
4月6日	〃(N様)	〃	1名
4月11日	散髪	みのうリビング	全員
5月29日	おやつ作り(餃子)	かすりリビング	全員
6月13日	散髪(T様、K様、M様、T様)	みのうリビング	4名
6月22日	喫茶	かすりリビング	全員
6月26日	おやつ作り(スパゲッティ)	かすりリビング	全員
7月11日	散髪	みのうリビング	全員
7月21日	コロナワクチン接種	医務室	宮原様
7月25日	〃	〃	清松様
7月28日	ユニット合同夏祭り	リビング	全員
9月7日	合同誕生日会(H様、K様)	かすりリビング	2名
9月20日	敬老会	〃	全員
10月5日	誕生日会(I様)	居室	1名
10月31日	散髪	みのうリビング	9名
11月8日	ユニットレク(K様、T様、M様、K様)	かすりリビング	4名
11月9日	サンマ焼き	1階	全員
11月21日	ユニットレク(H様、Y様、I様、H様、T様)	リビング	5名
11月25日	避難訓練	リビング	全員
11月29日	力士ちゃんこ鍋	1階	全員
12月14日	誕生日会(T様)	居室	1名
12月25日	クリスマス会	かすりリビング	全員
R5年1月1日	元旦祝賀会(お屠蘇)	リビング	全員
1月3日	お年賀	リビング	全員
1月6日	誕生日会(M様、F様)	〃	2名
2月3日	節分豆まき	リビング、居室	全員
2月13日	散髪(K様、M様)	みのうリビング	2名
2月27日	散歩(K様、M様)	施設内外庭	2名
3月3日	ひな祭り	リビング	全員
3月13日	散髪(H様、Y様、F様)	みのうリビング	3名
3月22日	お彼岸おはぎ作り	リビング	全員

かすり ユニット行事報告			
月 日	行事内容	場 所	参加者
4月11日	散髪	みのうりビング	10名
5月28日	T様ドライブ	外出	1名
5月28日	手作りおやつ(餃子)	かすりリビング	10名
6月12日	ドライブ	外出	4名
6月10日	T様誕生日会	かすりリビング	1名
6月13日	散髪	みのうりビング	4名
6月26日	手作りおやつ(スパゲティ)	かすりリビング	10名
7月11日	散髪	みのうりビング	7名
7月19日	コロナワクチン接種	各居室	7名
7月28日	夏祭り	かすりリビング	10名
8月5日	筑後川花火大会鑑賞	かすりリビング	1名
9月7日	8月、9月生まれ合同誕生日会	かすりリビング	2名
9月14日	外庭散歩	外庭	3名
9月20日	敬老会	かすりリビング	10名
10月9日	手作りおやつ(ラーメン)	かすりリビング	10名
10月30日	手作りおやつ(りんごコンポート・みかん)	かすりリビング	10名
10月31日	散髪	みのうりビング	10名
11月8日	10、11月生まれ合同誕生日会	かすりリビング	10名
11月9日	さんま焼き	かすりリビング	10名
11月25日	避難訓練	かすりリビング	10名
11月29日	力士料理	かすりリビング	10名
1月3日	お屠蘇、お年賀配り	かすりリビング、居室	9名
1月16日	散髪	かすりリビング	9名
2月3日	節分会	かすりリビング	10名
2月12日	Y様、I様誕生日会	かすりリビング	10名
2月13日	散髪	みのうりビング	6名
3月5日	手作りおやつ(カステラケーキ)	かすりリビング	10名
3月12日	手作りおやつ(たこ焼き)	かすりリビング	10名
3月13日	散髪	みのうりビング	6名
3月19日	Y様誕生日会	かすりリビング	10名

特別養護老人ホーム 共生の里津福添付資料(令和4年度)

性別・年齢別状況(3月31日現在)

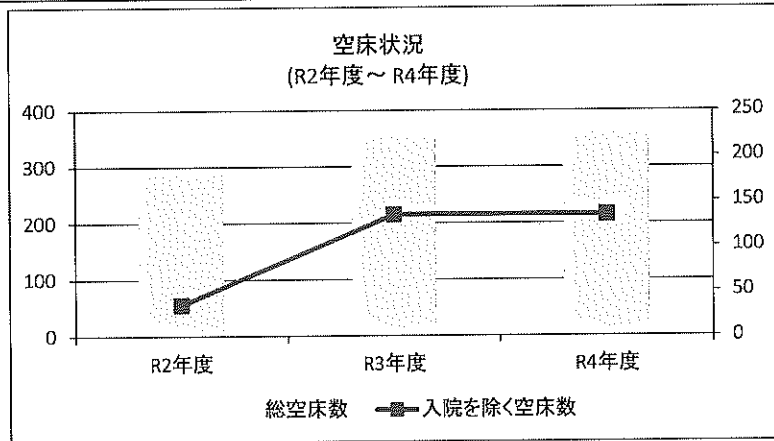
介護度	人数	平均介護度
要介護 1	0	4.1
要介護 2	0	
要介護 3	4	
要介護 4	10	
要介護 5	6	
合計	20	

年齢	65歳～	70歳～	75歳～	80歳～	85歳～	90歳～	95歳～	100歳以上	合計
性別	69歳	74歳	79歳	84歳	89歳	94歳	99歳		
女	0	1	0	1	1	8	6	1	18
男	0	0	0	1	1	0	0	0	2
合計	0	1	0	2	2	8	6	1	20

最高年齢	101歳	平均年齢	91.55歳
------	------	------	--------

入居状況(R4.4.1～R5.3.31)

月	入居者数	入居者延人数	稼働率
4月	20	600	#####
5月	20	620	#####
6月	20	575	95.8%
7月	20	568	91.6%
8月	20	589	95.0%
9月	20	559	93.2%
10月	20	598	96.5%
11月	20	575	95.8%
12月	20	543	87.6%
1月	20	561	90.5%
2月	20	537	95.9%
3月	20	614	99.0%
合計		6,939	
平均稼働率			95.1%



	R2年度	R3年度	R4年度
総空床数	286	352	361
入院を除く空床数	35	135	135

入退居状況(R4.4.1～R5.3.31)

月	入居者	退居者	退居理由		
			帰宅	死亡	その他
4月	0	0	0	0	0
5月	0	0	0	0	0
6月	2	2	0	2	0
7月	0	0	0	0	0
8月	0	0	0	0	0
9月	0	1	0	0	1
10月	1	0	0	0	0
11月	1	1	0	1	0
12月	2	3	0	3	0
1月	2	1	0	1	0
2月	1	2	0	2	0
3月	1	0	0	0	0
合計	10	10	0	9	1

入居者平均在籍期間(3月31日時点)	
令和3年度	令和4年度
50.2ヶ月	47.3ヶ月

令和4年度 共生の里津福 実習生受入れ状況報告

実習名	学校名	受入人数	受入期間
3年生 介護実習Ⅱ	久留米筑水高等学校 (3年生)	2	6月6日～7月8日
専攻科 介護実習Ⅰ	九州大谷短期大学	1	6月14日～6月16日
学外施設体験学習	久留米大学 医学部医学科第1学年	2	9月14日～9月16日
高齢者生活 支援実習(看護)	久留米大学 医学部看護学科	12	11月1日～11月16日 1月11日～1月26日 2月7日～2月22日
1年生 介護実習Ⅰ	久留米筑水高等学校 (1年生)	3	11月28日～12月9日
			実人員計 20名 延人員計 225名

ショートステイサービス共生の里津福 事業報告

1 総括

令和4年度も、介護人材の不足や十分な職員の補充ができない状況が続き、ご利用者が負担なく利用できる環境やケアを提供するため、併設特養ユニットとの応援、協力体制を密にとりました。また、多職種や他事業所との情報共有、連携を図りながら、在宅生活を意識したケアを行いました。

BCP（業務継続計画）の策定とマニュアルやガイドラインに沿った新型コロナウイルス感染予防に取り組み、施設内での感染・まん延防止に努めていましたが、12月に施設内クラスターが発生し、ロングショート利用者、定期利用者合わせて7名が感染され、ご利用者、職員ともに感染が拡大してしまいました。

定期利用の相談が増えたこともあり、新型コロナウイルス感染者が減少した時期より、特養入居待機のロングショート利用枠を9床⇒8床へ減らし、定期利用枠を増やしました。それに伴い新規利用者は23名を受け入れることができました。しかし、施設内クラスターの発生や周辺地域の感染者の増加に伴い、一時的にショートステイの受け入れを中止していた期間があり、年間稼働率としては90%を達成することができませんでした。

ロングショートご利用者においては、周辺地域の感染者の状況に応じて面会方法を検討し、ご利用者、ご家族双方の不安やストレス軽減、ご家族との関係性が薄れないよう努めました。

2 活動実績

(1) つつじユニット

- ① ご家族、ケアマネージャーとの情報交換や共有を行い、在宅生活を意識した情報収集やケアを実践しました。定期的、状態変化時に介護職を中心とした多職種協働でのカンファレンスを開催し、職員間の情報共有や連携、統一したケアを実践することができ、ご利用者、ご家族の身体的・精神的負担の軽減や在宅生活継続を支援することができました。
- ② 施設マニュアルに沿った感染対策や新型コロナウイルスの感染状況に合わせて、ご家族、ケアマネージャーと相談しながら受け入れの調整を行いました。また、ご利用前の検温・体調確認を行い、感染対策に努めましたが、施設内クラスターが発生し、在宅サービスとしての感染予防や感染症に対する対応について課題が残りました。

- ③ 周辺地域の新型コロナウイルス感染症の状況に応じて、対面での面会方法の検討や LINE を使用したオンライン面会を行い、緩和時期には時間制限を設けた居室での面会が実現でき、ご利用者、ご家族の不安を軽減することができ、関係性を保つことができました。

また、外出等が制限されるなか、施設内でできる行事等を企画し、ご利用中の生活が楽しみのあるものとなるよう努めました。

(2) 看護課

- ① 新規ご利用前の調査では調査票の項目に加え、ワクチン接種歴の確認、把握に努めました。ご利用中に発病や転倒などが起こった場合は、それぞれの主治医や家族と連携し対応しました。新型コロナウイルス感染症等に対し、拡大防止のための対策を講じてきましたが、12月に大クラスターが発生してしまいました。感染者には、嘱託医と連携を図り、抗ウイルス剤等の投与と状態観察を行い、無事に療養期間を終えることができましたが、コロナ感染が要因となり、状態が悪化したご利用者もいらっしゃいました。嘱託医の思いから、ご家族の意向に沿い、特別に面会していただくことで状態が良い方向へ変化し、家族の力、面会の大切さを感じる事が出来ました。

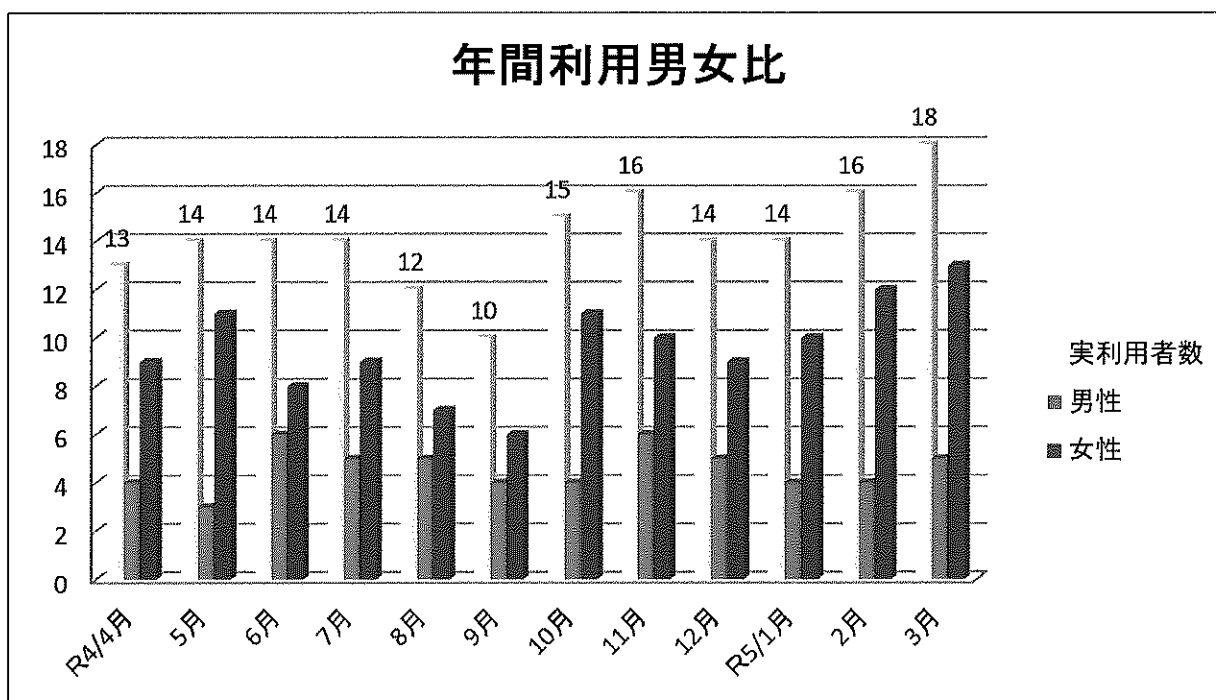
また、ショートステイにおいて、ガン末期のターミナル期で看取り介護に至ったケースでは、外部の在宅医、訪問看護事業所とも連携を図り、多職種協働で看取り介護を実践することができ、また一つ職員のスキルアップへと繋がりました。

令和4年度ショートステイ行事報告

月 日	行事内容	場 所	参 加 者
6月27日	誕生祝い	つつじリビング	1名
7月28日	夏祭り	みのうりリビング	10名
8月5日	花火大会鑑賞	つつじリビング	3名
8月6日	誕生祝い	居室	1名
9月20日	敬老のお祝い	つつじリビング	10名
9月27日	誕生祝い	つつじリビング	1名
11月9日	さんま焼き	つつじリビング	9名
11月21日	ぜんざい会	つつじリビング	10名
11月25日	避難訓練（夜間想定）		10名
11月29日	高田川部屋力士来所 （ちゃんこ鍋づくり）	つつじリビング	10名
12月25日	クリスマスケーキ	つつじリビング	8名
1月3日	お屠蘇配り	つつじリビング	8名
1月4日	書初め	つつじリビング	7名
2月3日	節分（豆まき）	つつじリビング	8名
2月5日	誕生祝い	つつじリビング	1名
3月13日	誕生祝い	つつじリビング	1名
			名
			名
			名
			名
			名
			名
			名
			名
			名
			名
			名

年間利用者数 一覧表

年/月	実利用者数 (人)	延利用者数(人)	男性	女性	月間稼働率(%)
R4/4月	13	266	4	9	88.7%
5月	14	259	3	11	83.6%
6月	14	258	6	8	86.0%
7月	14	287	5	9	92.6%
8月	12	293	5	7	94.5%
9月	10	277	4	6	92.3%
10月	15	261	4	11	84.2%
11月	16	269	6	10	89.7%
12月	14	268	5	9	86.5%
R5/1月	14	226	4	10	72.9%
2月	16	224	4	12	80.0%
3月	18	290	5	13	93.6%
合計	170	3,178	55	115	
			年間平均稼働率		87.03%



年間介護度別 一覧表

年月	介1	介2	介3	介4	介5	支1	支2
R4年4	1	2	6	4	0	0	0
5	3	1	6	4	0	0	0
6	2	1	7	4	0	0	0
7	3	1	8	2	0	0	0
8	2	1	7	2	0	0	0
9	0	1	7	2	0	0	0
10	3	1	9	2	0	0	0
11	4	0	8	3	0	0	1
12	3	0	7	4	0	0	0
R5年1	3	0	8	3	0	0	0
2	5	2	7	2	0	0	0
3	6	2	7	3	0	0	0

デイサービスセンター共生の里津福 事業報告

1 総括

令和4年度は、新型コロナウイルス感染予防に努めましたが、ご利用者、職員に新型コロナウイルス感染症に伴う陽性者が発生し、一時的に営業を中止せざるを得ない状況がありました。またコロナ感染、営業中止を引き金に、入院や施設入所等が続き、利用率が低下し、年間ご利用者数は前年比で、-4.4%（7075→6589）となり、収入維持、向上は引き続き次年度への課題となりました。

また、目標に掲げていた LIFE を活用した科学的介護推進体制加算、個別機能訓練加算の算定による介護保険収入の安定化についても、ほのぼのを活用した記録の電子化を図ることはできましたが、LIFE のデータ入力までには至らず、こちらも次年度への継続課題となりました。次年度は、感染対策の実施は引き続き、職員のスキルアップ、サービスの質向上に努め、介護保険収入アップを最重点課題とし、通所介護事業継続に向けた取り組みを実施していきます。

2 活動実績

(1) 新型コロナウイルス等の感染予防

BCP（業務継続計画）を策定し、業務体制の見直しや感染対策（職員、ご利用者への定時のバイタルチェック、手洗い、手指消毒、マスク着用の徹底、飛沫感染防止のためのアクリル板設置、各居宅介護支援事業所やご家族、ご利用者への感染予防喚起等の配布文、送迎車輛やデイサービスホールの消毒と清掃）を徹底しました。職員、ご利用者にコロナ陽性者は発生してしいましたが、インフルエンザやノロウイルスの発症者は0件でした。

(2) 地域連携強化と収入の安定化

LIFE を活用した加算算定を行うための取り組みとして、研修参加や情報収集を行いました。LIFE のデータ入力、算定には至りませんでした。毎月の行事やご利用者の要望を取り入れた食事やレクリエーション（移動販売、花見等）を実施することで、喜びの声が多く聞かれ、ご利用者、ご家族に満足して頂くことができました。広報・営業活動では、居宅介護支援事業所や地域包括支援センターに営業に出向き、事業所の特色や空き状況を知って頂くことで、体験利用や新規利用の問い合わせが増え、新規利用者の獲得には繋がりましたが、入院や施設入所されるご利用者が相次いだこともあり、年間延べご利用者数が減少する結果となりました。

(3) 生産性の向上と PDCA サイクルの推進

職員一人一人が業務内容を見直し、ケアパレットを導入することで、業務の効率化を図り、業務内での書類作成や書類整理を行いました。経費等を見直し、環境整備を行い、安全に過ごしてもらうことで、大きな事故等の発生はありませんでした。PDCA サイクルの推進については、ご利用者、ご家族の要望を把握し、他事業所との連携を図ることで、サービスの質の向上に繋がりました。

3 年間行事実績

月	4年/日	行事内容	場所	参加者
4	4～7	お花見	施設館内	希望者
	4～7	共生の里花植え(サルビア・千日紅)	デイホール	希望者
	9	集団レク(お釈迦様の日)	デイホール	全員
	11	おやつセレクト(ひよこ)	デイホール	全員
	13～23	工作 ピーナッツバード	デイホール	全員
	18	移動販売 とくし丸	デイホール	全員
	25	おやつレク(抹茶あんぱん)	デイホール	全員
5	9～13	ビューティーサロン	デイホール	希望者
	16	移動販売 とくし丸	デイホール	希望者
	18	食事レク(お好み焼き)	デイホール	全員
	20	春の大運動会	デイホール	全員
	21	おやつセレクト(ロールケーキ)	デイホール	全員
	26	お風呂を楽しもう(菖蒲風呂+浴後のラムネ)	お風呂場	全員
6	2	いい湯だな パラ風呂	お風呂場	希望者
	6～9	てるてる坊主作り	デイホール	希望者
	16～18	新聞紙エコバック作り	デイホール	希望者
	16	食事レク	デイホール	全員
	20	移動スーパー とくし丸	玄関	希望者
	22	久留米でグルメ お取り寄せ第1弾	玄関	希望者
	24	集団レク(雨の歌の会)	デイホール	全員
7	1～9	七夕飾り	デイホール	希望者
	9	おやつセレクト	デイホール	全員
	15	食事レク(ロコモコ丼)	デイホール	全員
	18	工作 金魚作り	デイホール	希望者
	18	移動販売 とくし丸	玄関	希望者
	21	復活!売店販売 パン販売	玄関	希望者
	25～27	美術	デイホール	希望者
	28	おやつレク(アイスパフェ)	デイホール	全員
8	8～11	ハンドビューティー	デイホール	希望者
	12	夏祭り	デイホール	全員
	15～19	工作(うちわ作り)	デイホール	希望者
	22	移動スーパー とくし丸	玄関	希望者
	25	おやつセレクト	デイホール	全員

9	9	風呂の日(菊湯)	お風呂場	希望者
	12	食事レク(秋の味覚御膳)	デイホール	希望者
	12	移動スーパー とくし丸	玄関	希望者
	19	敬老会	デイホール	全員
	24	おやつレク(おはぎ)	デイホール	全員
	29	久留米グルメ 第2弾	玄関	希望者
10	6	おやつセレクト(シャトレゼ)	デイホール	全員
	10~15	工作 小さなお花たち	デイホール	希望者
	12	秋の大運動会	デイホール	全員
	17	移動スーパー とくし丸	玄関	希望者
	18	昼食レク	デイホール	全員
	21	移動販売(パン販売)	玄関	希望者
11	7~12	工作	デイホール	希望者
	10	おやつセレクト(かりんとう饅頭)	デイホール	希望者
	14~19	ハンドビューティー	デイホール	全員
	21	移動スーパー とくし丸	玄関	全員
	24	パンの移動販売	玄関	希望者
	26	いい風呂の日	お風呂場	希望者
	30	おやつレク	デイホール	全員
12	8	移動販売	玄関	希望者
	15	食事レク	デイホール	全員
	19	移動販売 とくし丸	玄関	希望者
	21	レッゴー 黒棒	ロビー	希望者
	19~23	クリスマスツリー作り	デイホール	希望者
	24	クリスマス会(サンタクロースのプレゼント渡し)	デイホール	全員
	26	風呂の日(ショウガ風呂)	お風呂場	希望者
	30	集団レク(忘年会)	デイホール	全員
1	3	屠蘇会	デイホール	全員
	4~7	初詣	施設駐車場	希望者
	7	おやつセレクト(干支饅頭)	デイホール	全員
	16~19	工作 うさぎの置き物	デイホール	希望者
	9	〇回目の成人式	デイホール	全員
	16	移動スーパー とくし丸	デイホール	希望者
	20	昼食レク	デイホール	全員

2	3	節分(豆まき)	デイホール	全員
	6~10	ハンドビューティー	デイホール	希望者
	14	ヤクルト販売	デイホール	希望者
	14~17	工作	デイホール	希望者
	20	移動スーパー(とくし丸)	玄関入口	希望者
	24	おやつレク(パイ作り)	デイホール	全員
	27	お風呂の日(草津の湯)	お風呂場	全員
3	3	集団レク(おひな様ゲーム)	デイホール	全員
	10	ヤクルト販売	玄関	希望者
	15	カフェもとやま	デイホール	全員
	20	移動スーパー(とくし丸)	玄関入口	希望者
	25	おやつレク	デイホール	全員
	27	桜の湯	お風呂場	全員

※誕生会・映写会毎月実施

3 クラブ活動実績一覧

工作	園芸	美容	花札
リユース	〇×クイズ	手芸	テーブルゲーム
おやつ	書道	折り紙	映画
美術	トランプ	買い物	読書・紙芝居
脳トレ	おはじき	囲碁将棋	回想
食事	おやつセレクト	絵手紙	お散歩

デイサービス利用状況

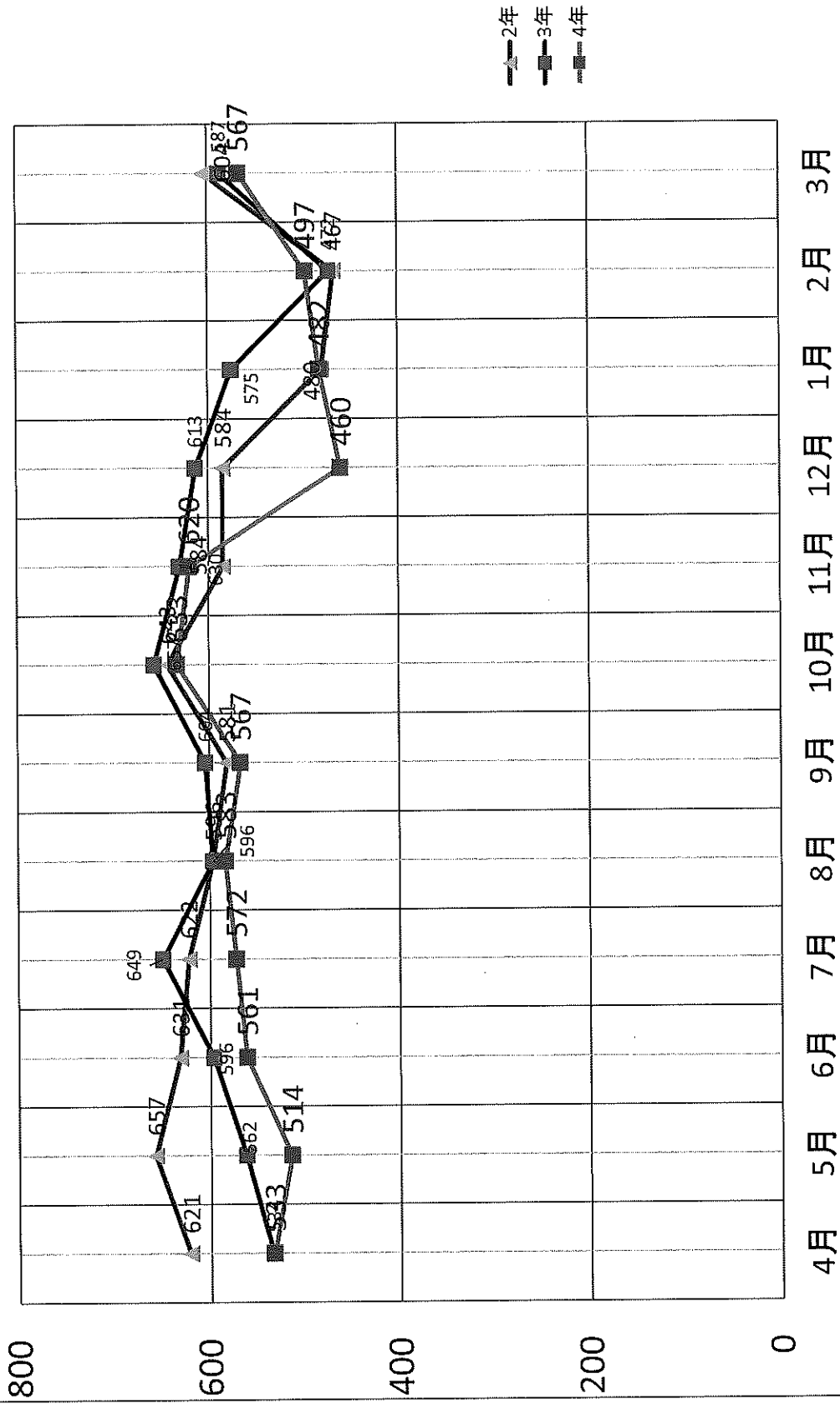
(表1) 令和4年4月1日～令和5年3月31日 定員35名

年月	営業日数	介護(人)	予防・事業対象者(人)	合計利用者数(人)	一日平均数(人)	月間利用率100%の場合(人)	月間利用率(人)
令和4年4月	26	465	68	533	21	840	63.4%
令和4年5月	26	454	60	514	20	910	56.4%
令和4年6月	26	498	63	561	22	910	61.6%
令和4年7月	26	518	54	572	22	945	60.5%
令和4年8月	27	534	49	583	22	910	64.0%
令和4年9月	25	503	64	567	23	910	62.3%
令和4年10月	26	579	54	633	24	910	69.5%
令和4年11月	26	569	51	620	24	910	68.1%
令和4年12月	22	409	51	460	21	910	50.5%
令和5年1月	25	423	59	482	19	875	55.0%
令和5年2月	24	429	68	497	21	735	67.6%
令和5年3月	27	497	70	567	21	945	60.0%
合計	306	5878	711	6589		10710	791.5
平均	25.5	489.8	59.3	549.1	22	892.5	61.5%

(表2) 前年対比

年度	営業日数	介護(人)	予防・事業対象者(人)	年間合計	1日平均数	1カ月平均数	月間稼働率
令和2年度	310	6207	863	7070	23人	589人	65.0%
令和3年度	306	6236	839	7075	23人	589.6人	65.9%
令和4年度	306	5878	711	6589	22人	549.1人	61.5%
前年比増減	0	-358	-128	-486	-1	-40.5	-4.4%

共生の里津福デザイナーサービス 令和2年度～令和4年度利用者推移表



ケアプランセンター共生の里 事業報告

1 総括

令和4年度も引き続き、新型コロナウイルス感染症によるケアマネ業務の改善及び効率化を迫られましたが、ケアマネジメントへの専門的な知識を基礎に、ご利用者、ご家族に適切なケアマネジメントを継続することができました。

事業所内会議、外部（オンライン）研修会への参加、久留米西圏域居宅介護支援事業所及び地域包括支援センターとの包括主催の事例検討会及び合同勉強会、自法人内のケアマネ、生活相談員及び久留米西圏域居宅介護支援事業所、地域包括支援センターとの共生の里主催の合同事例検討会、久留米市及び地域包括支援センター主催の自立支援地域ケア会議での情報共有を通して、ケアマネジメントへの理解を深めることができました。更に、多職種と連携を図る事により、病気、栄養面、薬、リハビリ等に関する情報交換を行い、専門的な知識の習得ができました。その結果、自立支援の要素を加えたご利用者の意欲を引き出す（楽しみ・喜び・役割）ケアプラン作成に繋がりました。

また、医療と介護の切れ目のない支援体制を構築する目的で策定された「久留米市における入退院時の連携ルール」に従い、医療機関との連絡・連携に努め、ご利用者が住み慣れた地域で安心して生活できるように支援しました。

令和4年は職員の入替わりはありましたが、3.5人体制を維持した上、特定事業所加算Ⅲの加算算定を継続しています。

24時間の連絡体制を継続する事により、ご利用者やご家族、各関係機関からの緊急を要する相談や連絡に対して、迅速に対応する事ができました。

介護支援専門員の体制を維持した上、ご家族からの相談、法人及び他法人、地域包括支援センター、医療機関の紹介による新規依頼を調整した結果、前年度に比べ収入は増加しました。今後も、ケアマネの質の向上、人員体制を整備した上、継続して相談者が連絡しやすい体制、気軽に相談できる窓口の開設、地域包括支援センター、法人、他法人、医療機関との連絡及び連携の継続、事業所内及び外部研修の参加をする事により、利用者確保による自法人への紹介、収入の安定に努めていきます。

2 活動実績

① ケアマネジメント及び相談援助技術の向上について

事業所内での会議や話し合いを通して、情報収集の仕方や課題についての整理や見立て、支援による期待できる効果考えたケアプラン作成等、一連のケアマネジメントについての理解を深めました。

また、地域包括支援センターが主催する自立支援地域ケア会議に出席し、事例の提供を行いました。事例をもとに、多職種の見解や助言を頂き、職員一人ひとりの専門的な知識の習得や、ケアマネジメント力の向上を図りました。

更に、久留米西圏域居宅介護支援事業所及び地域包括支援センターとの事例検討会及び合同勉強会、自法人、久留米西圏域居宅介護支援事業所及び地域包括支援センターとの共生の里主催合同事例検討会を開催する事により、職員一人ひとりの専門的な知識の習得、ケアマネジメント力の向上を図りました。

サービス調整の際は、ご利用者に複数のサービスを紹介し、ご利用者の選択のもと、サービスの調整を行いました。

その結果、ケアマネジメントの公正・中立の確保ができ、ご利用者に対する目標指向・自立支援型のケアプラン作成に繋がりました。

②地域包括支援センターや各関連機関との連携について

地域の関係機関や事業所との連携については、主任介護支援専門員が在籍する事業所として、久留米西圏域（荒木、安武、大善寺、城島、下田、青木、江上、浮島、犬塚、三瀨、西牟田校区）の地域包括支援センターが主催する自立支援地域ケア会議、久留米西圏域の居宅介護支援事業所及び地域包括支援センターとの令和3年11月の事例検討会及び、令和4年10月、令和5年2月主催の合同勉強会には参加し、ご利用者視点のケアプラン作成や難しい事例に対する支援方法等を一緒に考え、介護支援専門員としての専門性を高めることができ、互いに成長する機会となりました。

また、久留米西圏域の居宅介護支援事業所及び地域包括支援センターとの事例検討会及び合同勉強会に参加する事により、地域包括支援センター、久留米西圏域の主任介護支援専門員が在籍している居宅介護支援事業所と連携し、地域の社会資源についての課題や情報共有を行いました。

久留米中央、西、南、北圏域の地域包括支援センターからの予防、総合事業委託については、事業所内の介護支援専門員で調整しながら積極的に対応しました。

③事業所の体制について

ご利用者が住み慣れた地域でいつまでも安心して生活ができるよう、各職員が携帯電話を使用し、24時間連絡が取れる体制を整備しました。

台風、豪雨、豪雪の予報が出た際は、独居や高齢者世帯のご利用者に対して電話連絡や訪問を行い、安否確認、災害に関する情報提供、避難場所の確認を行いました。24時間連絡が取れる体制を継続したことで、ご利用者や同居のご家族、遠方に住んでいるご家族の安心感に繋がりました。また、地域包括支援センターや医療機関、法人等からの相談や連絡等に対して迅速に対応を行った結果、利用者の確保が保持できました。

令和4年度の聖マリア学院大学の看護実習については、新型コロナウイルス感染予防により前年度と同様、中止になりました。令和4年度の聖マリア学院大学の看護実習は引き続き、聖マリアケアプランサービスで対応することになりました。

④入退院時の医療機関との連携

医療機関との連携については、ご利用者に対して日頃より、介護保険証・健康保険証と一緒に担当介護支援専門員の名刺を挟んで頂くようお願いしました。

その結果、入院の際は、担当介護支援専門員と医療機関が早期に在宅時の情報提供や情報共有を出来、退院に向けて早い段階から疾病の状況やご利用者の意向、ご家族の介護・協力体制等の確認を取る事が可能となりました。

また、必要な際はカンファレンスに参加し、退院後の必要な介護保険サービスやその他のサービス調整を行い、ご利用者が安心して生活が出来るように支援しました。

⑤共生の里各部署の介護支援専門員との連携について

共生の里各部署の介護支援専門員及び生活相談員等との連携については、コロナ感染の拡大等もあり、令和4年4月、令和4年6月、令和5年1月の事例検討会を開催しました。共生の里各部署の介護支援専門員との事例検討会に参加する事により、各部署の介護支援専門員及び生活相談員等と連携し、ケアマネジメントについての課題や情報共有を行いました。

更に、令和4年4月、令和4年6月の事例検討会へ、久留米西圏域居宅介護支援事業所ケアマネ及び地域包括支援センター職員が参加する事により、久留米西圏域居宅介護支援事業所ケアマネ及び地域包括支援センター職員、共生の里内の介護支援専門員及び生活相談員等との連携、課題についての情報共有、ケアマネジメント力の向上を図りました。

給付管理票提出状況

【令和3年度】

	介護			予防			総合計
	男	女	合計	男	女	合計	
4月	31	53	84	5	34	39	123
5月	27	54	81	4	29	33	114
6月	21	38	59	4	27	31	90
7月	23	39	62	4	28	32	94
8月	22	41	63	5	26	31	94
9月	22	38	60	5	28	33	93
10月	24	38	62	6	26	32	94
11月	23	41	64	6	28	34	98
12月	22	41	63	7	29	36	99
1月	20	43	63	7	27	34	97
2月	16	44	60	6	27	33	93
3月	19	48	67	4	26	30	97
合計	270	518	788	63	335	398	1186

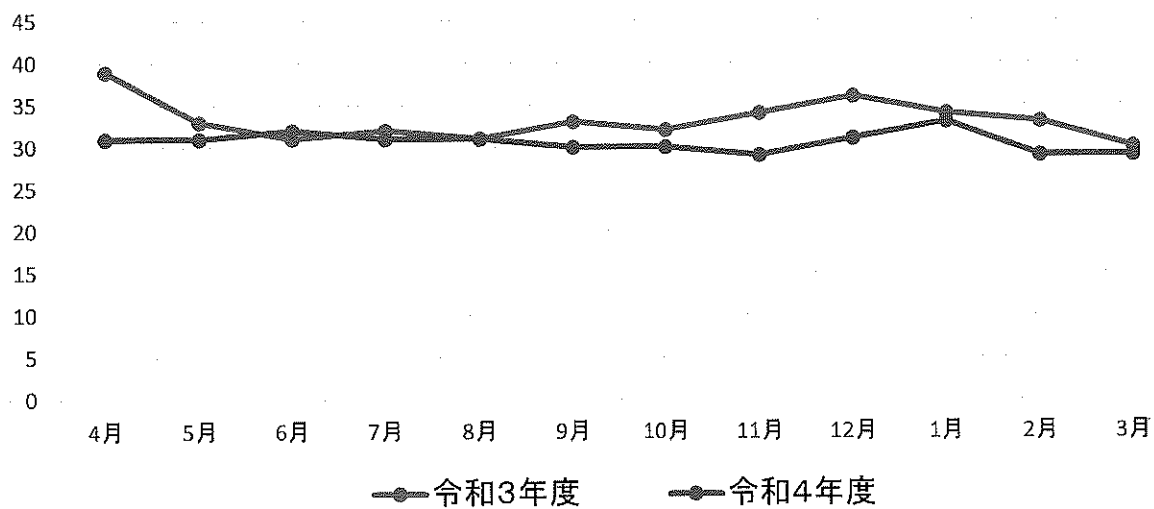
(件)

【令和4年度】

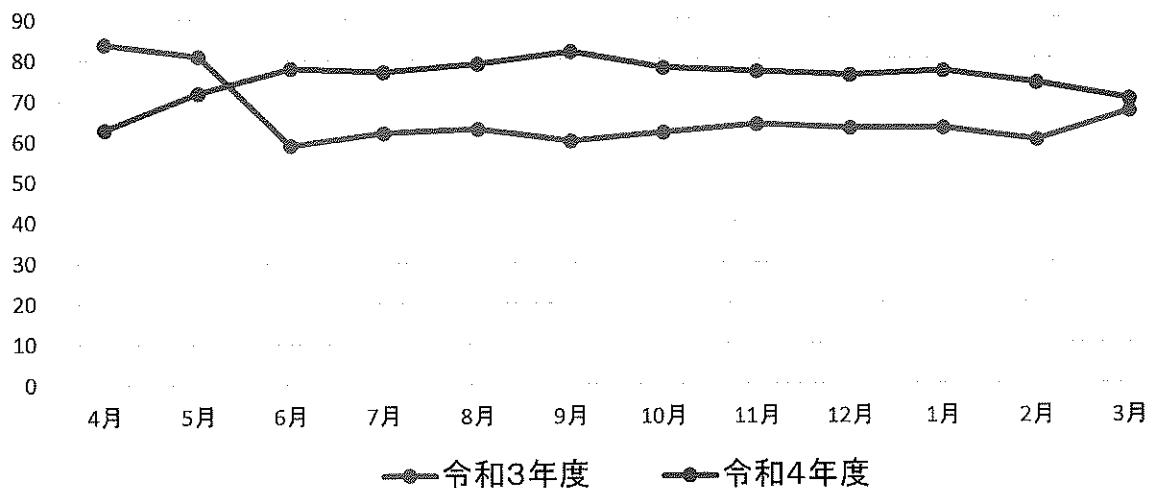
	介護			予防			総合計
	男	女	合計	男	女	合計	
4月	19	44	63	4	27	31	94
5月	22	50	72	4	27	31	103
6月	26	52	78	4	28	32	110
7月	26	51	77	4	27	31	108
8月	28	51	79	4	27	31	110
9月	28	54	82	3	27	30	112
10月	27	51	78	3	27	30	108
11月	25	52	77	4	25	29	106
12月	24	52	76	5	26	31	107
1月	24	53	77	6	27	33	110
2月	23	51	74	6	23	29	103
3月	21	49	70	6	23	29	99
合計	293	610	903	53	314	367	1270

(件)

予防



介護



【令和4年度 事業所単位の加算の内訳】

居宅介護支援事業所単位の加算（特定事業所加算Ⅱ：407単位・Ⅲ：309単位）									
	初回加算	退院・退所加算	入院時情報連携加算	緊急時等ケアプラン加算	運営基準減算	ターミナルケアマネジメント加算	通院時情報連携加算	特定事業所加算	
4月	3	1	2	0	0	0	0	Ⅲ	
5月	3	5	1	0	0	0	2	Ⅲ	
6月	1	4	2	0	0	0	0	Ⅲ	
7月	1	1	1	0	0	0	2	Ⅲ	
8月	5	0	0	0	0	0	1	Ⅲ	
9月	3	0	2	0	0	0	1	Ⅲ	
10月	2	0	8	0	0	0	0	Ⅲ	
11月	1	1	2	0	0	0	2	Ⅲ	
12月	0	0	1	0	0	0	1	Ⅲ	
1月	0	2	6	0	0	0	1	Ⅲ	
2月	2	1	4	0	0	0	0	Ⅲ	
3月	2	1	3	0	0	0	2	Ⅲ	
合計	23	16	32	0	0	0	12		

【令和4年度 紹介率及び紹介件数の内訳】

	デイサービス				ショートステイ				訪問看護		
	紹介総件数	津福（紹介件数）	荒木（紹介件数）	共生の里紹介率	紹介総件数	津福（紹介件数）	荒木（紹介件数）	共生の里紹介率	紹介総件数	訪問（紹介件数）	共生の里紹介率
4月	43	12	20	74%	7	3	2	71%	2	0	0%
5月	46	13	21	74%	11	5	3	73%	2	0	0%
6月	50	16	23	78%	14	8	4	86%	2	0	0%
7月	49	16	22	78%	17	8	4	71%	2	0	0%
8月	47	15	20	74%	16	7	4	69%	2	0	0%
9月	49	16	19	71%	17	7	4	65%	4	1	25%
10月	47	17	19	77%	17	8	5	76%	4	1	25%
11月	49	16	19	71%	16	6	4	63%	5	1	20%
12月	48	15	19	71%	13	6	4	77%	6	2	33%
1月	49	15	19	69%	12	7	3	83%	6	2	33%
2月	48	14	18	67%	16	6	5	69%	6	2	33%
3月	45	15	17	71%	18	8	4	67%	5	2	40%
合計	570	180	236	73%	174	79	46	72%	46	11	24%

【令和4年度 実習受入状況】

実習名	学校名	実習期間	受入人数
在宅看護実習	聖マリア学院大学	コロナにより受け入れ中止	0

小規模多機能型居宅介護事業所共生の里津福 事業報告

1 総括

事業所の理念でもある、私（ご利用者）・地域の方々が「また来たい」「また来てね」「また一緒に行こう」を念頭に、サービスの提供に努めました。

令和4年度は、ほのぼのソフトを使用した記録の電子化を図り、記録業務の効率化を行いました。また、看護小規模多機能共生の里荒木、共生の里訪問看護とも連携し、小規模内での看取り介護やご利用者の情報共有を行うことができました。

ご利用者が住み慣れた地域での生活が継続できるよう、心身の状況、生活環境を考慮すると共に、ご家族の介護負担が軽減できるよう、通所・宿泊・訪問サービスを組み合わせた小規模多機能ならではの介護支援が提供できました。

2 活動実績

(1) 地域交流と安定した利用者の確保

昨年に引き続き、新型コロナウイルスの影響にて、「津福守るっ隊」の活動をはじめ、地域との交流を図る機会が少ない年となりました。感染対策を実施していたにも関わらず、8月には、職員から利用者へ、利用者から職員への3次感染がおり、クラスター発生の事態となり、通り営業を停止し、陽陽介護を実施、その後収束に至りました。登録平均22名を継続して確保できるよう、地域包括支援センターや居宅介護支援事業所、病院のソーシャルワーカー等に空き状況を電話等にてお知らせする、リーフレットの配布などの広報活動を行いました。新型コロナウイルス感染症の影響もあり、利用者数に伸び悩んだ一年となりました。次年度も新規利用者の獲得と収入維持を継続課題として取り組みを行います。

(令和4年度の登録人員は、月平均19人)

(2) 介護記録の電子化

記録方式を紙ベースからの電子化への移行を行いました。それにより、他事業所との情報共有ができるようになり、業務効率化を図ることができました。

(3) 科学的介護推進体制加算

科学的介護推進体制加算の算定について、目標に掲げていた、介護記録を電子化へ移行することは実現しましたが、LIFEに必要な情報入力に至らず、データベースLIFEを活用した科学的介護推進体制加算の算定を行うことができませんでした。次年度の継続課題として取り組みを行います。

3 行事報告（令和4年度）

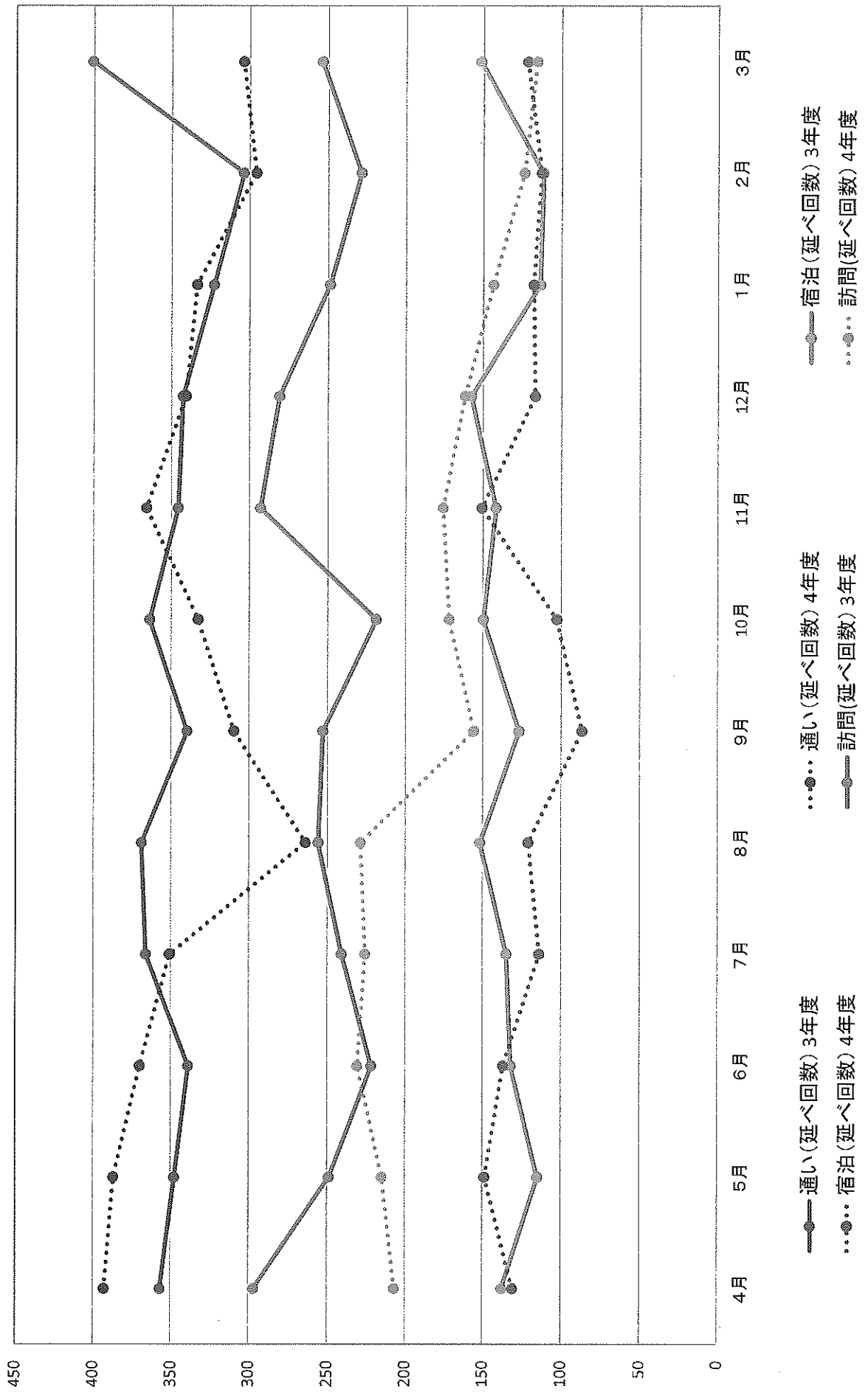
月	行 事	月	行 事
4	花見（さくら）、バスドライブ（つ つじ見学、回転焼き外注）	10	誕生日会、小規模レク（運動会、焼 き芋手作り）
5	小規模レク（お楽しみ会（ミニ運動 会）、ちらし寿司手作り、おやつ外 注） 誕生会（ウナギ外注）、	11	小規模レク（鍋、ちらし寿司 施設調理、 栗きんとん手作り）
6	誕生日外出、小規模レク（ファミレ ス テイクアウト セタ短冊作り）	12	小規模レク（クリスマス会、いなり 施設調理、クリスマスケーキデコレ ーションそれぞれで）
7	小規模レク（施設調理そうめん、鮎 塩焼き、かき氷パフェ）	1	誕生日会、小規模レク（新年会、華 よりテイクアウト、お汁粉てづく り）
8	小規模レク（たこやきづくり、夏祭 りヨーヨー、綿あめ、くじびき）	2	小規模レク（ビーフシチュー手作 り） ひな人形制作
9	小規模レク（うおまさテイクアウ ト、栗あんぱん手作り）	3	誕生日会、小規模レク（新玉かき揚 げ施設調理、駄菓子屋買い物レク）

※ 個別活動は随時実施

利用状況一覽表

年度	登録者数		男性		女性		平均介護度		通い(延べ回数)		宿泊(延べ回数)		訪問(延べ回数)	
	4年度	3年度	4年度	3年度	4年度	3年度	4年度	3年度	4年度	3年度	4年度	3年度	4年度	3年度
4月	20	23	5	6	15	17	2.97	2.23	393	357	131	138	207	297
5月	20	23	5	6	15	17	3.13	2.28	387	348	149	115	215	249
6月	19	21	5	6	14	15	3.13	2.3	370	339	137	132	231	222
7月	19	22	5	7	14	15	3.13	2.17	351	366	114	135	226	241
8月	18	22	5	7	13	15	2.7	2.3	264	369	121	152	229	256
9月	18	22	5	7	13	15	2.6	2.2	310	340	87	127	156	253
10月	19	22	6	7	13	15	2.9	2.2	333	364	103	150	172	219
11月	20	22	6	7	14	15	2.7	2.2	366	346	151	142	176	293
12月	20	21	6	6	14	15	2.5	1.9	341	343	117	158	162	281
1月	19	20	7	7	12	13	2.3	1.9	334	323	118	114	144	249
2月	18	19	7	6	11	13	2.3	2.3	296	304	113	112	124	229
3月	18	21	7	5	11	16	2.4	2.4	304	401	122	152	116	254
平均値	19.0	21.5	5.8	6.4	13.3	15.1	2.7	2.2	337.4	350.0	121.9	135.6	179.8	253.6

利用状況一覧表



高齢者総合ケアセンター共生の里津福 栄養課 事業報告

1 総括

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の蔓延に伴い、緊急時の食事提供を柔軟に対応した1年となりました。そして、ご利用者の高齢化、介護度の上昇に伴い、やわらか食やソフト食の必要性をさらに感じた年となりました。各事業所より、意見が上る度に調理師と共に調理方法の見直しを行いました。食材の高騰が続いている中、ご利用者にとって安全で美味しい食事の提供に取り組みました。今後も、共生の里荒木と情報共有や意見交換を行いながら、食事の質の底上げを行っていきます。

2 活動実績

(1) やわらか食・ソフト食の見直し

- ① 日々のミールラウンド時に出た意見を調理師と共有し、調理方法の見直し、改善を行いました。やわらか食の見直しは、継続中のため、今後更なる改善に努めます。
- ② 看取りのご利用者が食べたい物やご家族が持参した物を、ソフト食対応しました。その際に、麺のソフト食を提供しましたが、まだ通常献立での提供はできていないため、次年度の継続課題として取り組みを行います。

(2) ご利用者の楽しみを見出す

- ① コロナ禍ではありましたが、限られたご家族の面会時には、積極的にコミュニケーションを図りました。その成果、ご利用者の好きな物や今までの食事環境などを知ることでもでき、献立作成時にメニューに取り入れるように心掛けました。
- ② 季節を感じて頂く為に、旬の食材を献立に取り入れるように心掛けました。
- ③ 新型コロナウイルス感染症の蔓延に伴い、ご利用者の目の前で、調理師が実演する機会はありませんでした。しかし、調理師が考案したメニューやアイデアをレクリエーションで取り入れました。

(3) 厨房職員の教育

- ① 調理師全員のベストな味が、毎食提供できるよう、荒木と情報共有しながら、調理方法の統一を行いました。
- ② 新型コロナウイルス感染症の蔓延のため、両施設の厨房職員が交流する機会はありませんでしたが、両施設の管理栄養士が情報を共有し、厨房職員に伝達しました。
- ③ 調理師が考案したメニューを取り入れました。また、メニューのマンネリ化を防止する為に、調理師からアイデアを出してもらいました。

(4) 厨房職員のご利用者や職員との交流

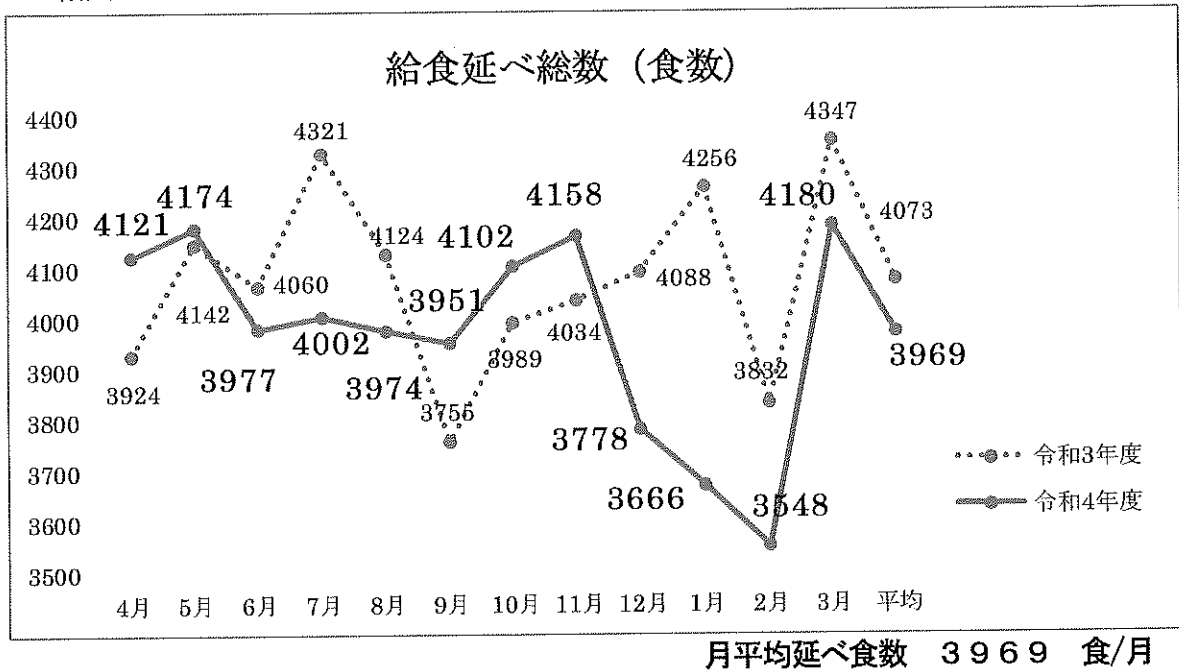
調理師が考えたアイデアを、食事レクリエーションに取り入れましたが、コロナ感染防止のため、厨房職員も一緒に参加し、ご利用者の目の前で実演することは叶わない1年でした。今後は、厨房職員がご利用者と交流する機会を増やします。

(5) 危機管理・感染対策の徹底

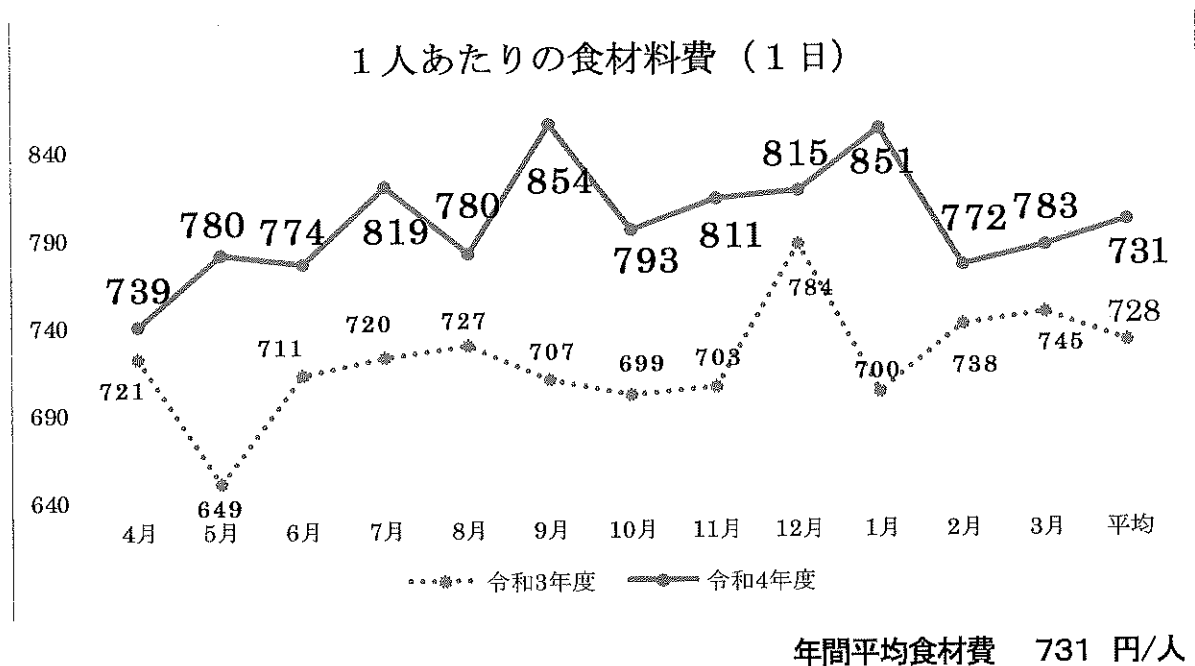
- ① 新型コロナウイルス感染者対応時の食事提供対応等は、状況に応じ厨房職員と共に速やかに対応することができました。
- ② 新人研修時等に非常食の保管場所を伝えています。また、全職員が分かるよう、厨房前を保管場所としています。

3 実施行事
～別紙～

4. 給食延べ総数



5. 1人当たりの食材料費



給食課事業報告

3. 実施行事

令和3年4月～12月

日付	行事など	日付	行事など
4月1日	開設記念弁当	8月27日	小規模：夏祭り
4月19日	食事レク	8月31日	野菜の日
4月21日	郷土食（熊本県）	9月1日	松花堂弁当
4月22日	ショートケーキの日	9月9日	重陽の節句（栗ご飯）
4月23日	おやつレク（桜あんぱん）	9月18日	デイ食事レク（秋のお弁当）
4月28日	お好み焼き・焼きそば	9月20日	敬老の日
5月1日	松花堂弁当	9月21日	十五夜
5月9日	母の日	9月23日	秋分の日
5月18日	デイ食事レク（茶そば）		デイおやつレク（さつま芋パン）
5月21日	郷土食（鹿児島）	9月29日	郷土食（山梨県）
5月22日	デイおやつレク （緑茶あんぱん）	10月1日	松花堂弁当
6月1日	松花堂弁当	10月8日	そばの日
6月9日	卵の日	10月12日	松茸
6月20日	父の日	10月16日	郷土食（高知）
6月23日	食事レク（ロコモコ）	10月18日	食事レク（かぼちゃ料理）
6月24日	ちらし寿司	10月25日	パスタの日
6月28日	おやつレク（カフェオレプリン）	11月1日	松花堂弁当
6月29日	郷土食（和歌山）	11月4日	さんまの炭火焼き
7月1日	松花堂弁当	11月11日	チーズの日
7月7日	七夕（そうめん）	11月16日	食事レク（さつま芋料理）
7月15日	つつじ：夏祭り	11月22日	キムチの日
7月19日	桃の日	11月27日	おやつレク（スイートポテト）
7月22日	デイ食事レク（うなぎ）	11月30日	郷土食（茨城県）
7月24日	郷土食（愛知県）	12月1日	松花堂弁当
7月27日	かすり：夏祭り	12月12日	明太子の日
7月28日	土用丑の日	12月15日	デイ食事レク（すき焼き）
8月1日	松花堂弁当	12月22日	冬至
8月9日	ハンバーグの日	12月24日	クリスマス
8月13日	盆団子	12月27日	郷土食（青森県）
8月20日	デイ食事レク（そうめん）	12月27日	デイおやつレク（どら焼き）
8月25日	デイおやつレク（フルーツポンチ）		

令和4年1月～3月

日付	行事など	日付	行事など
1月1日	おせち	3月1日	松花堂弁当
1月7日	七草粥	3月3日	ひなまつり
1月15日	いちごの日	3月13日	サンドイッチの日
1月20日	デイ食事レク（焼き鳥）	3月17日	郷土食（長野県）
1月20日	甘酒の日	3月20日	デイ食事レク（春メニュー）
1月21日	郷土食（大分県）	3月21日	春分の日
1月26日	デイおやつレク（うさぎまん）	3月25日	デイおやつレク （ウインナーパイ）
2月1日	松花堂弁当	3月28日	小規模食事レク （春野菜のかきあげ）
2月3日	節分	3月30日	味噌の日
2月14日	バレンタイン		
2月18日	デイ食事レク（吉野家風）		
2月20日	郷土食（北陸3県）		
2月22日	おでんの日		
2月24日	デイおやつレク（あんぱん）		

共生の里津福 広報委員会活動報告（案）

1 総括

令和4年度は、各部署の委員が協働し、定期的なホームページの更新を行うことができました。また、年度末には新しい試みとしてPR紙の発行を行い、「共生の里津福」をご家族、居宅介護支援事業所や地域に向けてアピールすることが出来た1年だったと思います。次年度も引き続き、「共生の里津福」をたくさんの方々に知っていただけるよう、施設のPR活動を実施していきます。

2 活動実績

月	内容
4月	定例委員会
8月	ホームページ更新
1月	ホームページ更新
2月	定例委員会・PR紙作成
3月	PR紙発行

共生の里津福 非常災害対策委員会活動報告

1 総括

令和4年度はBCP（業務継続計画）の策定を行い、人為的災害や自然災害（台風・地震等）を想定し、災害が発生した際には職員が迅速に行動できるよう、防災の知識と意識を高める研修と訓練を行いました。

火災時の避難訓練については日中・夜間を想定した訓練を行いました。地震訓練ではマグニチュード7を想定した訓練を実施し、安全に避難する方法や順序を確認する事ができました。

当施設は、非常災害時の地域の福祉避難所として重要な役割を担っており、職員一人一人が災害時に適切な行動が図れるよう、非常災害対策委員会を中心に今後も訓練・研修を行い意識向上に努めていきます。

2 活動実績

月	内 容
4月	非常災害対策委員会会議（活動目標設定）
8月	非常災害対策委員会会議
9月	非常災害対策委員会会議
10月	防火・火災訓練（日中想定）・地震避難訓練・消化訓練 業者委託点検（消防用設備・防災設備の器具点検） 終了後、業者より総評。スタッフの感想。
11月	防火・火災訓練（夜間想定） 業者委託点検（消防用設備・防災設備の器具点検） 終了後、業者より総評。スタッフの感想。
3月	非常災害対策委員会会議（年間反省）

共生の里津福 食事委員会活動報告

1 総括

委員会の開催頻度は、多くはありませんでしたが、日々の業務の中で食事に対する意見や要望を聞き取りする場面は多くありました。他部署からの意見を厨房職員と検討し、ご利用者により良い食事を提供できるよう努めました。

次年度は、可能な限り開催頻度を増やし、厨房と他部署が意見交換する場や食事に関する情報共有の場を多く持ちたいと思います。

2 活動実績

(1) 委員会の議事内容

開催日	参加人数	主な議題
4月	4名	ソフト食について
8月	6名	嗜好調査 各部署からの意見
1月	6名	嗜好調査の報告
3月	4名	朝食の業者変更について・年間反省

共生の里津福 研修委員会活動報告

1 総括

施設内研修の年間の研修スケジュールを作成し、令和4年度も、新型コロナウイルス感染症の感染状況を懸念し、集合での内部研修は極力避け、伝達講習やWEB研修にて必須研修を実施しました。昨年度より延期していた10回目となる法人内研修を実施予定でしたが、職員にコロナ陽性者が発生したこともあり、年度内の実施を再延期せざるを得ない状況となりました。今後も3施設が協働し、継続してより専門的な研究発表会を実施していけるよう活動します。

令和5年度も共生の里荒木と連携し、全職員が受講できるよう、WEB研修等を活用するとともに、感染対策を図りながら集合研修も開催していきます。

2 活動実績

期 日	内 容	実施形式
4月	リスクマネジメントについて(1) 新人研修	各部署伝達 各担当者
5月	手洗い・食中毒予防について(感染予防)	WEB研修
6月	口腔ケアについて	伝達講習
7月	介護現場における接遇マナー研修	WEB研修
8月	アンガーマネジメント研修	WEB研修
9月	褥瘡予防について	伝達講習
10月	避難訓練(火災・地震日中想定)	集合
11月	新型コロナウイルス・インフルエンザ・ノロウイルス予防について 避難訓練(夜間想定)	WEB研修 集合
12月	身体拘束廃止・高齢者虐待防止について(1)	WEB研修
1月	リスクマネジメントについて(2)	WEB研修
2月	身体拘束廃止について(2)	動画研修
3月	看取りについて	動画研修

社会福祉法人恵伸会 法人内研修会(3施設合同) ※令和5年4月以降へ延期

施設名	発表内容
共生の里津福	「コロナ禍における入所系サービス事業の継続と地域貢献活動」 ～地域連携室の取り組み～
共生の里荒木	「荒木厨房直営化の取り組み」
オレンジヒル	その人らしさを求めて ～すべての行動に理由がある～

共生の里津福 接遇・介護業務改善委員会活動報告

1 総括

ご利用者の求めるサービスやご利用者が望まれる生活を送るうえで、居心地の良い空間を提供するための取り組みを実施しました。良い接遇マナーが良いケアへの近道と位置づけ、ご利用者が笑顔で毎日を過ごして頂けるよう、接遇や施設内の環境整備・業務改善に取り組みました。環境整備においては、施設内外の清掃を各部署で手分けして行うことができました。接遇改善の取り組みとしては、全職員に挨拶、身だしなみのアンケート調査を実施し、啓発活動に努めました。

次年度は定期的に委員会を開催し、各部署の業務や接遇に関する課題を見出し、働きやすい職場環境づくりを行います。エコ活動は引き続き、施設内外の清掃を継続し、接遇教育に重点を置いた取り組みを実施します。委員会のメンバーだけでなく、全職員で行うことにより、ご利用者・職員が居心地の良い施設づくりに取り組みます。

2 活動実績

月	内 容
4月	一年間の取り組み内容の協議
6月	施設内外の清掃・草取り
8月	接遇チェック表の作成・身だしなみについて検討
10月	接遇チェック表の集計
3月	年間反省

共生の里津福 リスクマネジメント委員会活動報告

1 総括

リスクマネジメント委員会は、月1回委員会（毎月第3月曜日）を開催し、内部研修・統計データの集計を通して、職員の事故防止に対する意識の向上に努めました。

ヒヤリハット報告書については、大事故を未然に防ぐために、気付きとしてのヒヤリハット報告書が提出されるよう各部署の委員が働きかけを行い、職員の意識として浸透しています。

事故報告書については、各部署での対策をもとに委員会においても検討を重ね再発防止策を実行することで、前年度より事故件数が減少しました。また、報告書を行政へ速やかに提出しているか、報告漏れがないかについても確認しました。

事故件数については、前年度より減少していますが、薬に関する事故は多い結果となり、今後もリスクマネジメント委員会でヒューマンエラーをいかに少なくするか等の防止策を検討し、各部署へ周知していきます。

2 活動実績

月	内 容
4	1年間の取り組み協議・内部研修開催 ヒヤリハット・事故件数集計
5	委員会開催・事例検討会
6	委員会開催・事例検討会
7	委員会開催・事例検討会
8	委員会開催・事例検討会
9	委員会開催・事例検討会
10	委員会開催・事例検討会・内部研修開催 ヒヤリハット・事故件数集計
11	委員会開催・事例検討会
12	委員会開催・事例検討会
1	委員会開催・事例検討会
2	委員会開催・事例検討会
3	委員会開催・事例検討会・年間反省・来年度活動計画

共生の里津福 感染症対策委員会 活動報告

1. 総括

令和4年度は、施設内の各事業所で新型コロナウイルスによる感染拡大が数多く発生しました。BCP（業務継続計画）に沿って、柔軟な対応を実施しました。入所系サービス事業所では入所者、職員のほとんどが感染しました。入所者の命と生活を守るためには陽性者が陽性者を介護する「陽陽介護」を実施せざるを得ない状況となりました。いつ収束するのか、と隔離期間中は出口の見えないトンネルを歩いているようでした。感染後、重症化したご利用者、職員がいなかったことが救いでした。

令和5年5月8日から新型コロナウイルス感染症の分類が引き下げられます。ご利用者、職員が安心、安全な日常が送れるよう、手指衛生の実施、施設内での个人防护具（サージカルマスク）の着用、感染者の隔離、環境清掃の実施は継続し、対策を講じていきます。

2. 活動実績

月	内容
4月	定例会議 荒木・津福合同会議
5月	定例会議
7月	定例会議
8月	定例会議 小規模クラスター 防護具着脱方法の確認・ゾーニングの実施
9月	定例会議
10月	定例会議 特養コロナ 防護具着脱方法の確認・ゾーニングの実施
12月	定例会議 デイサービスコロナ 防護具着脱方法の確認・ゾーニングの実施
1月	定例会議 2階ユニットクラスター 防護具着脱方法の確認・ゾーニングの実施
2月	定例会議
3月	定例会議 年間反省

共生の里津福 褥瘡対策委員会活動報告

1 総括

特養入居者、ショートステイ（長期ご利用者）、小規模多機能、デイサービスのご利用者に対し、アセスメント及び評価を行いました。

毎月褥瘡危険要因の点数の高いご利用者を中心に危険因子の評価を行い、3ヶ月毎の委員会開催時に経過報告を行いました。

日々皮膚の観察に努め、圧迫による皮膚の発赤や、表皮剥離などの皮膚トラブルに対して素早く対応し、褥瘡発生ゼロに努めてきましたが、褥瘡発生は2件でした。

全身状態の変化で危険要因ランクが上がり、褥瘡発生リスクが高まった方に対しては、医師、介護職員、看護師、管理栄養士、セラピストらと連携し、エアマットの導入や食事内容の見直し（タンパク成分の補助）、保湿剤を使用した皮膚保護、ポジショニング（姿勢）の改善などの提案、助言を行いました。

次年度においても職員に対して内部研修等を通じ、褥瘡予防の知識やケアについてのスキルアップを図り、褥瘡発生ゼロを目指します。

2 活動実績

月	内容
4月	定例委員会・年間計画作成
5月	危険因子の評価
6月	危険因子の評価
7月	定例委員会・危険因子の評価
8月	危険因子の評価
9月	危険因子の評価・内部研修
10月	定例委員会・危険因子の評価
11月	危険因子の評価
12月	危険因子の評価
1月	定例委員会・危険因子の評価
2月	危険因子の評価
3月	定例委員会（年間反省、次年度への引継ぎ）・危険因子の評価

共生の里津福 入所判定委員会活動報告

1 総括

令和4年度は、退所に伴う入れ替わりが10名あり、状況に応じた会議開催となりました。空室状況に合わせて新規入所申込総数24件（前年度待機者と合わせて25件）の、入所判定委員会を開催しました。

また、久留米市入所評価基準に基づき、入所優先順位名簿を作成し、「入所検討委員会」を行いました。入所検討委員会開催前には申込をされている方の中で、実際に待機されている方の人数を明確に把握し、現在の待機者数を伝えることができるよう、申込者の見直しを定期的に行いました。

待機順位の問い合わせについては、入所評価基準点の高い方（緊急性の高い方）の順番を目安としてお伝えしています。

申込が重複されている方の現状を把握し、共生の里荒木とも情報共有を行いながら定期的な見直しを行い、空室状況をみこして、「入所判定会議」を開催することができました。

2 活動実績

(1) 入所判定会議

日付	内容	選出人数	入所 確定者	待機者	その他	会議参加 人数
5月24日	入所判定会議	4名	4名			8名
2月20日	入所判定会議	4名	4名			8名

(2) 入所検討委員会

日付	内 容	待機者（特例入所申込み者）
4月1日	入所優先順位名簿作成	26名（0名）
10月1日	入所優先順位名簿作成	25名（0名）

共生の里津福 身体拘束廃止及び虐待防止委員会活動報告

1 総括

3か月に1回の定期的な委員会の開催、各事業所職員への身体拘束廃止、高齢者虐待防止へ向けた取り組みを積極的に実施することができました。

身体拘束廃止委員会の取り組みでは、全事業所において身体拘束実施の事例はありませんでした。

虐待防止委員会の取り組みでは、職員向けに早期発見チェック、職員セルフチェックのアンケート調査を実施し、職場環境の現状を職員へ周知することができ、職場環境を見直す活動が実施できました。

2 活動実績

4月	委員会実施（活動目標設定）
7月	委員会実施
9月	令和4年度高齢者虐待防止・権利擁護研修（外部 ZOOM 研修参加）
10月	委員会実施 （早期発見チェック、職員セルフチェックアンケート作成）
11月	早期発見チェック、職員セルフチェックアンケート実施
1月	委員会実施（アンケート集計作業） 内部研修（身体拘束廃止・高齢者虐待について①）WEB研修実施
2月	内部研修（身体拘束廃止について②）WEB研修実施
3月	委員会実施（年間反省、次年度の引継ぎ） （早期発見チェック、職員セルフチェックアンケート報告）

共生の里津福 衛生委員会活動報告

1 総括

職員健康診断は、4月、11月（夜勤者）に実施し、結果において、要治療、精密検査となった職員に対して、受診及び検査を勧め、結果を確認するなど追跡を行いました。ストレスチェックは業者に委託し、高ストレス者には、産業医の面談を勧めましたが、面談を受けた職員はいませんでした。健康診断、ストレスチェックにより、職員の身体・精神の状態を的確に把握し、日々の勤務態度、振る舞い等を観察し、職員の「今の状態」を知ることや、相談しやすい体制づくりを心がけました。点検については、「安全・衛生面等に配慮し、働きやすい環境にするための点検表」「職場等自己点検表」を用いて実施しました。腰痛予防対策は、新人研修や、ケアカンファレンス時に、移乗用リフトの活用方法、積極的にリフトを活用することでの「抱えない介護」を推進しましたが、介助中による腰痛事案はまだ発生しており、次年度も引き続き、腰痛予防対策を講じる必要があります。

2 活動実績

月	活動内容
4月	職場巡視・会議 職員健康診断（腰痛検診） 新人研修
5月	職場巡視・会議
6月	職場巡視・会議
7月	職場巡視・会議 ストレスチェック
8月	職場巡視・会議
9月	職場巡視・会議
10月	職場巡視・会議
11月	職場巡視・会議 職員健診（夜勤者） 新人研修 ストレスチェック報告会（WEB）
12月	職場巡視・会議
1月	職場巡視・会議
2月	職場巡視・会議 組織分析会議
3月	職場巡視・会議

令和4年度 研修会・会議(特養)

研修・会議名	日時	場所	参加者
令和4年度 社会福祉施設役職員研修新任職員研修	5月17・19日	オンライン研修	1名
ユニット型施設介護施設義務化研修会	6月5日	オンライン研修	1名
令和4年度第1回特定給食施設等研修会	6月21日	オンライン研修	1名
介護福祉士実務者研修	7月24・31日・8月7・21・28日・ 9月4・11日	久留米市	1名
ユニット型施設安全対策体制加算対応研修	7月13日	オンライン研修	1名
令和4年度感染症予防研修・前期	7月16日	オンライン研修	1名
2022年度 臨地実習連絡会	7月19日	久留米市	1名
福岡県限定ITC補助金申請解説セミナー	7月25日	オンライン研修	1名
令和4年度九州老人福祉施設職員研究 Web大会(沖縄大会)	8月1日	オンライン研修	1名
令和4年度労務管理研修	8月23日	オンライン研修	1名
令和4年度新規創設 『ユニット型施設看護師研修』	8月3・10・17日	オンライン研修	1名
業務改善助成金説明会	8月31日	オンライン研修	1名
令和4年度甲種防火管理者(新規・再)講習	9月29・30日	久留米市	1名
令和4年度ライフレスキュー久留米連絡会 第2回定例会	9月22日	久留米市	1名
介護支援専門員証の更新にかかる研修	10月28日・11月4・11・18日・ 12月2日	オンライン研修	1名
介護福祉士実習指導者講習会	10月20・28日・11月10・17日	福岡市	1名
令和4年度会計担当者研修(実践者コース)	10月7日	オンライン研修	1名
令和4年度福岡県高齢者権利擁護等推進研修 看護実務者研修	10月24日・11月8日・ 12月21日	オンライン研修	1名
安全運転管理者講習	11月18日	久留米市	1名
令和4年度広報力強化研修	11月29日	オンライン研修	1名
栄養ケア・マネジメントの質の向上	12月10日	オンライン研修	1名
入社1年目社員向けフォローアップ研修	12月15日	久留米市	1名
令和4年度福祉サービス苦情解決従事者研修会	2月1日	オンライン研修	1名
「介護現場における生産性向上推進フォーラム (厚生労働省委託事業)」	2月14日	オンライン研修	1名
2022年度 合同研修会(防災)	2月22日	久留米市	1名
2022年度久留米地区企業内同和問題研修 推進委員会 第2回推進員研修会	3月2日	久留米市	1名
令和4年度 給食施設関係者等研修会	3月9日	オンライン研修	1名

令和4年度 研修会・会議(通所)

研修・会議名	日時	場所	参加者
令和4年度感染症予防研修・前期	7月16日	オンライン研修	1名
令和4年度ストレスマネジメント研修 管理職員コース	7月26日	オンライン研修	1名
「傾き」「ずり落ち」食事の不良姿勢に 有効なシーティング	8月2・6日	オンライン研修	1名
”口を開けない”認知症の方の 食支援アプローチ	8月12・16日	オンライン研修	1名
令和4年度 高齢者虐待防止・権利擁護研修	9月14日	オンライン研修	1名
”病院ではない”施設看護師の専門性と 具体的な動き方	9月15・16日	オンライン研修	1名
令和4年度合同部会研修《安心感を与えるご家族対応》 withコロナ時代の「接客マナーの見直し」	9月15日	オンライン研修	1名
令和4年度コーチング研修	9月27・28日	オンライン研修	1名
口腔ケア加算 算定対応定期研修 (通所サービス部会研修)	9月15日～9月30日	動画配信	7名
令和4年度リスクマネジメント研修 (指導者・管理職員コース)	10月19・20日	オンライン研修	1名
令和4年度研修のアンガーマネジメント研修	11月11日	オンライン研修	1名
令和4年度感染症予防研修・後期	12月10日	オンライン研修	1名
令和4年度短期専門講習 組織が育ち人が育つ! ～生き残るための介護現場づくり～	1月17日	オンライン研修	1名
TENAオンライン勉強会 感染対策	1月26日	オンライン研修	2名
令和4年度介護予防推進指導者養成研修 「地域リハビリテーション(歴史と福岡県の現状)」	1月28日	オンライン研修	1名
令和5年度短期専門講習 介護職のためのストレスコントロール	2月13日	オンライン研修	1名
「このデイなら安心だ」と感じる体験利用で押さえるべき ポイント～初回面談と〇〇〇〇で決まる!～	2月14日	オンライン研修	1名
今から始められるデイサービス加算所得セミナー	2月15日	オンライン研修	1名
利用者様が楽しみながら通い、 欠席率を下げることに成功した事例	2月20日	オンライン研修	1名
デイサービス経営強化セミナーin久留米 ～次期介護報酬改訂の方向性から事業戦略を考える～	2月22日	久留米市	1名
令和4年度第2回通所サービス部会研修 『口腔ケア 基礎と実際』	3月1日	オンライン研修	7名
業務目標の設定・管理・達成研修	3月8日	オンライン研修	1名
男性利用者さんが通いたくなるデイの作り方 ～男性利用者比率75%超え～	3月9日	オンライン研修	1名
身体機能の可視化で お客様の運動意欲向上を実現	3月15日	オンライン研修	1名
フィットネス型デイが実践する利用者の励みに 繋がるフィットバックの仕組み	3月22日	オンライン研修	1名
ハラスメント対策研修	3月27日	オンライン研修	1名

令和4年度 研修会・会議(小規模)

研修・会議名	日時	場所	参加者
新年度!「介護保険」ケアマネージャー・福祉用具関連何が変わる!?	4月28日	オンライン研修	1名
令和4年度社会福祉施設役職員研修 中堅職員研修	6月21・22日	オンライン研修	1名
令和4年度感染症予防研修・前期	7月6日	オンライン研修	1名
第48期ほのぼの塾	7月20日～8月19日	動画配信	1名
令和4年度福岡県高齢者権利擁護等推進研修 権利擁護推進員養成研修	7月28日・8月4・31日	オンライン研修	1名
令和4年度認知症介護研修 認知症対応型サービス事業管理者研修	8月23・30日	オンライン研修	1名
食機能を「メ」にする、 引き出すアプローチ”実技”セミナー	9月8・12日	オンライン研修	1名
福岡県介護職員管理能力向上事業 (明るい介護職場づくり塾)	9月22日・10月24日・11月28日・ 12月21日・1月24日・2月17日	八女市	1名
介護福祉士実務者研修	10月25日・11月1・8・15・22日・ 11月29日・12月6日	鳥栖市	1名
在宅医療介護市民公開講座	10月8日	久留米市	1名
令和4年度小規模多機能部会	11月29日	久留米市	1名
「むせ込み」・「口を開けない」 ”食形態”の選択・変更のタイミングと食事ケア	11月15・18日	オンライン研修	1名
ハラスメント対策研修	3月27日	オンライン研修	1名

令和4年度 研修会・会議(居宅)

研修・会議名	日時	場所	参加者
令和4年度西園域けあまね「よらん会」運営に関する検討会	4月12日	三瀧総合支所	1名
2022年度福岡県主任介護支援専門員更新研修(1日目/全8日看)	5月9日	久留米シティプラザ	1名
2022年度福岡県主任介護支援専門員更新研修(2・3・4日目/全8日)	6/6・13・27	久留米シティプラザ	1名
令和4年度介護支援専門員専門研修(課程Ⅰ)・更新研修(前期)(1・2・3・4日目/全8日)	6/9・16・23・30	オンライン研修	1名
2022(令和4)年度専門Ⅰ・更新前期研修(1・2日目/全8日)	6/14・24	オンライン研修	1名
2022年度福岡県主任介護支援専門員更新研修(5・6日目/全8日看)	7/4・26	久留米シティプラザ	1名
令和4年度介護支援専門員専門研修(課程Ⅰ)・更新研修(前期)(5・6・7・8日目/全8日)	7/7・14・21・28	オンライン研修	1名
2022(令和4)年度専門Ⅰ・更新前期研修(3・4・5・6日目/全8日)	7/8・9・18・28	オンライン研修	1名
令和4年度集団指導(居宅)	7月12日	資料研修	1名
2022年度福岡県主任介護支援専門員更新研修(7・8日目/全8日看)	8/9・23	久留米シティプラザ	1名
2022(令和4)年度専門Ⅰ・更新前期研修(7・8日目/全8日)	8/12・23	オンライン研修	1名
第48期ほのぼの塾	8月19日	オンライン研修	1名
2022年度福岡県介護支援専門員専門研修Ⅱ・更新研修後期(1、2日目/全5日)	10/5・24	クローバープラザ	1名
令和4年度第1回けあまね「よらん会」研修会	10月7日	三瀧総合支所	2名
2022年度福岡県介護支援専門員専門研修Ⅱ・更新研修後期(3、4、5日目/全5日)	11/8・17・28	クローバープラザ	1名
令和4年度 複数事業所事例検討会のご案内	11月15日	三瀧保健センター	2名
第3回ライフレスキュー久留米連絡会実行部会定例会	11月16日	久留米市総合福祉会館	1名
2022年度福岡県介護支援専門員専門研修Ⅱ・更新研修後期(1日目/全5日)	11月17日	博多市民センター	1名
2022年度福岡県介護支援専門員専門研修Ⅱ・更新研修後期(1日目/全5日)	11月17日	博多市民センター	1名
2022年度福岡県介護支援専門員専門研修Ⅱ・更新研修後期(2,3日目/全5日)	12/7・20	オンライン研修	1名
2022年度福岡県介護支援専門員専門研修Ⅱ・更新研修後期(2,3日目/全5日)	12/7・20	オンライン研修	1名
居宅介護支援事業所等初任者向け研修	12月8日	久留米リサーチパーク	1名
2022年度福岡県介護支援専門員専門研修Ⅱ・更新研修後期(4,5日目/全5日)	1/13・25	オンライン研修	1名
2022年度福岡県介護支援専門員専門研修Ⅱ・更新研修後期(4日目/全5日)	1/13・25	オンライン研修	1名
介護支援専門員に求められる虐待の対応について	1月20日	オンライン研修	1名
2022年度福岡県介護支援専門員専門研修Ⅱ・更新研修後期(5日目/全5日)	2月2日	オンライン研修	1名
令和4年度 第2回けあまね「よらん会」研修会	2月10日	三瀧保健センター2階	1名

特別養護老人ホーム共生の里荒木 事業報告書

1 総括

令和4年度は、新型コロナウイルスの感染症予防対策を継続し、チームマネジメントを実践した年度となりました。職員の罹患者が発生したことにより、ご利用者が3名罹患してしまいましたが、重症化することなく完治し、今までのように施設で生活を送られています。施設の感染予防対策が功を奏し、以降はご利用者に感染者は出ておりません。引き続き、感染予防対策を実施しながら、ウィズコロナへ向けた取り組みの実施を検討しています。

ご家族の面会制限や外出レク等については、コロナ感染が落ち着いている時期には、ビデオ通話と並行して制限下での面会も行う事ができ、ご利用者がご家族と過ごす時間を作ることができました。また、施設の中でも楽しんで頂ける行事等を行い、予防対策を行った上で少人数でのドライブ等を実施し、気分転換や季節の移り変わりを感じて頂きました。

地域との交流についても昨年度は殆どの行事が中止となりましたが、地域包括支援センターや周辺介護保険事業所と連携を取り、地域住民に向けて発行する介護予防通信を作成し、また、地域くらしの「なんでも相談センター共生の里」では地域住民の相談を受けました。

2 活動実績

【特養】つばき/けやき/あじさいユニット共通

- (1) ご利用者の知り得た情報を申し送りノート・NDソフト等を活用し、情報共有することで円滑なコミュニケーションが取れるようになってきましたが、外国人職員と申し送りの内容を共有することが今後の課題の一つです。
- (2) WEB研修になり、遠方での集合研修に参加できなかった職員も研修を受講できるようになり、職員のスキルアップ・質の高いケアに繋げることができました。
- (3) コロナ禍でもできることを考え、ユニット内で残存機能を活かした作業や体操を実施、夕方にはデイサービスフロアにてリハビリ職員の協力を得て個別リハビリを実施、居室でのマッサージ師によるマッサージも希望者には実施したことで、ご利用者にメリハリのある生活を提供することができました。
- (4) ご利用者の日々の状態確認行い、早期受診し入院を149日間と減少することができました。

- (5) 昨年の7月からミャンマーの技能実習生2名を受け入れ指導していますが、日本語の勉強から生活指導と介護以外の指導も必要で、職員も一緒に勉強したり、休日には外出・買い物など交流し、お互いの理解に努めました。
- (6) 感染対策委員会や看護師・ユニット間でも連携して情報の共有を行い、感染拡大の防止に努めました。
- (7) ご家族に対して、ご利用者とコミュニケーションの機会を増やすようにビデオ通話や窓越し面会、一部居室での面会ができるように調整を行い、ご家族との信頼関係の構築に努めました。

【看護】

- (1) コロナに関しては、久留米市で行われた無料の職員向けPCR検査を月に2回行い、更に有症状者には抗原定性検査キットを使用するなどして感染拡大防止に努めました。残念ながら、2階ユニットでご利用者3名、職員4名の陽性者が発生しましたが、重症化するご利用者がいなかったのは、日常の健康管理や食生活、運動等の効果によるものと考えます。
- (2) コロナ感染者を7名でとどめることができたのは、甘酒提供を継続してきたことによる免疫力の向上を示唆するものと考えます。
- (3) 看取り期に関しては、状態変化のご利用者を看て家族の思いに寄り添い「その方らしく、穏やかな最期」に重点をおき、嘱託医はじめ多職種連携で取り組むことができました。
- (4) 排便コントロールとして、トイレステップを活用しスムーズな自然排便を促すことができました。

3 通院、更新、入院状況

(1) 特養

	R3 年度	R4 年度
嘱託医往診	98 回	101 回
その他往診	14 件	28 件
受診	46 件	66 件
救急搬送	4 件	3 件
入院 件数 (日数)	6 件 (162 日)	6 件 (149 日)

(2) ショートステイ

	R3 年度	R4 年度
往診	10 件	17 件
受診	25 件	37 件
救急搬送	4 件	0 件

4 年間行事報告

月	内 容
5 月	職員健診
7 月	ストレスチェック コロナワクチン接種(4 回目)
8 月	コロナワクチン接種(4 回目)
9 月	久留米大学医学部第一学年 実習受け入れ
10 月	職員健診 (夜勤従事者) インフルエンザ予防接種 (利用者・職員)
11 月	インフルエンザ予防接種 (利用者・職員)
12 月	オミクロン対応コロナワクチン接種(利用者)
1 月	オミクロン対応コロナワクチン接種(職員)
2 月	入居者健診

※随時、入職時の職員健診、特養入居時の健診・肺炎球菌ワクチン接種
(希望者)

あじさい行事報告			
月 日	行 事 内 容	場 所	参加者
4月6日	花見外出	鶯塚公園	4名
4月18日	花見外出	鶯塚公園	4名
4月30日	誕生日お祝い	施設内	1名
5月19日	誕生日お祝い	施設内	1名
5月29日	ユニットレク (カード作り)	施設内	8名
6月10日	自宅外出	自宅	1名
6月23日	ユニットレク (焼きそば)	施設内	9名
7月8日	ケアピクス	施設内	8名
7月16日	ユニットレク (そうめん、天ぷら)	施設内	9名
7月21日	ビューティーヘルパー	施設内	9名
8月26日	ユニットレク (体操、アイス)	施設内	9名
8月31日	ケアピクス	施設内	8名
9月24日	ユニットレク (誕生会、ケーキ)	施設内	9名
10月17日	誕生日お祝い	施設内	1名
10月19日	ビューティーヘルパー	施設内	9名
10月20日	ドライブ	高良山	5名
11月10日	焼き芋会	施設内	9名
12月4日	茶話会	施設内	8名
12月15日	ビューティーヘルパー	施設内	希望者
12月25日	クリスマス会	施設内	9名
1月1日	お屠蘇会	施設内	9名
1月19日	ビューティーヘルパー	施設内	希望者
1月31日	お寿司レク	施設内	9名
2月3日	節分・豆まき	施設内	8名
2月14日	バレンタインレク	施設内	9名
2月16日	ビューティーヘルパー	施設内	希望者
3月16日	ビューティーヘルパー	施設内	希望者
3月19日	ユニットレク (餃子作り)	施設内	8名
3月29日	お花見ドライブ	南部浄化センター	3名

けやき行事報告			
月 日	行 事 内 容	場 所	参 加 者
4月3日	花見ドライブ	鷺塚公園	9名
4月6日	外気浴	施設内	4名
4月22日	おやつレク	施設内	10名
5月7日	ケアビクス	施設内	4名
5月27日	ユニットレク (うなぎ)	施設内	10名
6月25日	ビューティーヘルパー	施設内	8名
6月27日	紫蘇ジュース作り	施設内	10名
7月13日	ケアビクス	施設内	9名
7月17日	ゴーヤ収穫	施設内	3名
7月21日	ビューティーヘルパー	施設内	希望者
7月23日	ゴーヤ収穫	施設内	2名
8月15日	盆供養	施設内	10名
8月	感染対策実施期間	施設内	
9月19日	敬老の日	施設内	10名
9月20日	誕生日お祝い	施設内	1名
10月15日	中庭散歩	施設内	10名
10月16日	食事レク	施設内	3名
10月19日	ビューティーヘルパー	施設内	希望者
11月	感染対策実施期間	施設内	
12月15日	ビューティーヘルパー	施設内	希望者
12月25日	クリスマス会	施設内	10名
1月1日	お屠蘇会	施設内	10名
1月7日	七草がゆ	施設内	10名
1月19日	誕生日お祝い	施設内	1名
1月19日	ビューティーヘルパー	施設内	希望者
2月3日	節分・豆まき	施設内	10名
2月12日	誕生会	施設内	3名
3月13日	食事レク	施設内	10名
3月24・30・31日	桜花見ドライブ	南部浄化センター	10名

つばき行事報告			
月 日	行 事 内 容	場 所	参加者
4月2・3日	花見ドライブ	鷺塚公園	8名
4月17日	散歩	施設内	2名
4月22日	おやつレク	施設内	10名
5月7日	ケアビクス	施設内	5名
5月8日	オクラ苗植え	施設内	5名
5月27日	ユニットレク (うなぎ)	施設内	10名
6月25日	ビューティーヘルパー	施設内	希望者
6月27日	紫蘇ジュース作り	施設内	10名
7月13日	ケアビクス	施設内	3名
7月14日	漬物作り	施設内	1名
7月17日	ゴーヤ収穫	施設内	4名
7月21日	ビューティーヘルパー	施設内	8名
8月13日	自宅外出	自宅	1名
8月	感染対策実施期間	施設内	10名
9月19日	敬老の日	施設内	10名
10月15日	中庭散歩	施設内	10名
10月16日	食事レク	施設内	5名
10月19日	ビューティーヘルパー	施設内	希望者
11月	感染対策実施期間	施設内	
12月10日	誕生日お祝い	施設内	1名
12月15日	ビューティーヘルパー	施設内	4名
12月25日	クリスマス会	施設内	10名
1月1日	お屠蘇会	施設内	10名
1月7日	七草がゆ	施設内	9名
1月19日	ビューティーヘルパー	施設内	希望者
2月3日	節分・豆まき	施設内	9名
2月12日	誕生会	施設内	3名
3月24・30・31日	桜花見ドライブ	南部浄化センター	10名
3月25日	誕生日お祝い	施設内	1名

特別養護老人ホーム 共生の里 荒木添付資料(R4年度)

性別・年齢別状況(3月31日現在)

介護度		人数	平均介護度 4.07
要介護	1	0	
要介護	2	0	
要介護	3	7	
要介護	4	13	
要介護	5	9	
合計		29	

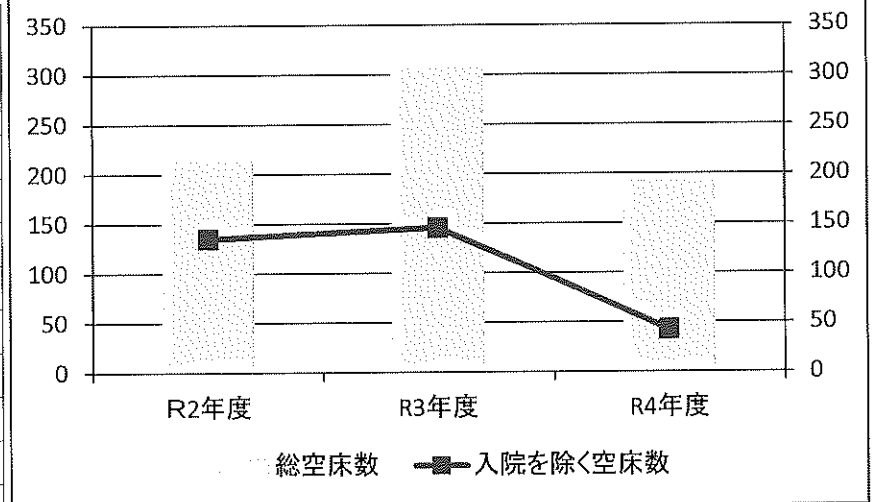
年齢	70歳～	85歳～	90歳～	95歳～	100歳～	合計
性別	84歳	89歳	94歳	99歳		
女	5	5	7	3	4	24
男	1	3	0	0	1	5
合計	6	8	7	3	5	29

最高年齢	103	平均年齢	90.2
------	-----	------	------

入居状況(R4.4.1～R5.3.31)

月	入居者数	入居者延人数	稼働率
4月	29	866	99.5%
5月	29	899	100.0%
6月	29	863	99.2%
7月	28	896	99.7%
8月	29	899	100.0%
9月	29	870	100.0%
10月	29	885	98.4%
11月	29	870	100.0%
12月	29	899	100.0%
1月	29	899	100.0%
2月	29	800	98.5%
3月	29	899	100.0%
合計		10,545	10585
平均稼働率			99.6%

空床状況(R2年度～R4年度)



	R2年度	R3年度	R4年度
総空床数	214	308	192
入院を除く空床数	135	146	43

入退居状況(R3.4.1～R4.3.31)

月	入居者	退居者	退居理由		
			帰宅	死亡	その他
4月	2	1	0	0	1
5月	0	0	0	0	0
6月	0	1	0	0	1
7月	1	0	0	0	0
8月	0	0	0	0	0
9月	0	0	0	0	0
10月	1	1	0	1	0
11月	0	0	0	0	0
12月	0	0	0	0	0
1月	0	1	0	1	0
2月	1	0	0	0	0
3月	0	0	0	0	0
合計	5	4	0	2	2

入居者平均在籍期間(3月31日時点)

令和3年度	令和4年度
31.7ヶ月	38.2ヶ月

特別養護老人ホーム 共生の里荒木（平均介護度）

令和3年度

介護度		人数	平均介護度
要介護	1	0	3.62
要介護	2	0	
要介護	3	15	
要介護	4	10	
要介護	5	4	
合 計		29	

令和4年度

介護度		人数	平均介護度
要介護	1	0	4.07
要介護	2	0	
要介護	3	7	
要介護	4	13	
要介護	5	9	
合 計		29	

令和4年度 実習生受け入れ状況

学校名等	期間	人数	受入れ部署
筑水高校	令和4年6月6日～7月8日 (24日間)	2名	特養
	令和4年9月5日～10月12日 (24日間)	2名	特養
	令和4年11月28日～12月9日 (10日間)	2名	特養
久留米大学医学部	令和4年9月13日～9月15日 (3日間)	3名	特養

令和4年度 ショートステイサービス共生の里荒木 事業報告

1 総括

令和4年度は感染症対策を継続しながら、可能な限り行事やレクリエーションを行う事で生き生きと過ごしてもらい、生活の質が向上できるように努めました。また長期ショートステイのご利用者においては、面会制限を徐々に緩和しながらご家族との信頼関係を構築し、ご利用者、ご家族の不安やストレスの軽減を図りました。

新型コロナウイルス感染症第8波によるご利用のキャンセル等があり、一時的な稼働率低下がありました。年間を通して比較的安定した稼働率を確保する事ができ、年間稼働率90%を達成することができました。また、令和4年度は前年度を上回る新規利用者19名を獲得することができました。

前年度対比表を見ても分かるように、今までのショートステイご利用者は要介護2、3の方が中心でしたが、現在は要介護4、5の方が増加し、重度化が進んでいます。令和5年度も引き続き、若年性認知症の方や中・重度の認知症の方を積極的に受け入れ、新規利用者の門戸を拡大しながら定期利用者や長期ショートステイの利用に繋げていけるように努めます。

2 活動実績

(1) ご利用者・ご家族の不安やストレスの軽減

感染症対策を継続していく中で、窓越し面会、ビデオ通話の他、長期ショートステイご利用者のご家族には写真付きのお手紙を毎月送付しました。また、可能な限りの外出や散歩等を実施することにより、ご利用者やご家族の不安やストレスの軽減を図ることができました。市内の感染状況が落ち着いた時期には面会制限の緩和を実施し、会えない事の不安を払拭する事ができ、ご家族と顔を合わせる事で信頼関係を構築することができました。

(2) 新規ご利用者の獲得

新規ご利用者の受け入れの際は、利用前の情報やご家族の意向を把握し、ご契約の際、ご家族にショートステイで可能な事、できない事を丁寧に説明し、苦情、クレーム等なく適切な利用契約を行う事ができました。また、ご利用者やご家族の不安や戸惑いを軽減する事もできました。また、病院から老人保健施設への入所までの繋ぎの為にショートステイご利用者を受け入れる等、柔軟な対応を行い、ご家族の介護負担軽減を図ることができました。令和4年度は中・重度の要介護者の方や若年性認知症の方を10名受け入れる事ができました。

令和4年度 はぜユニット行事報告

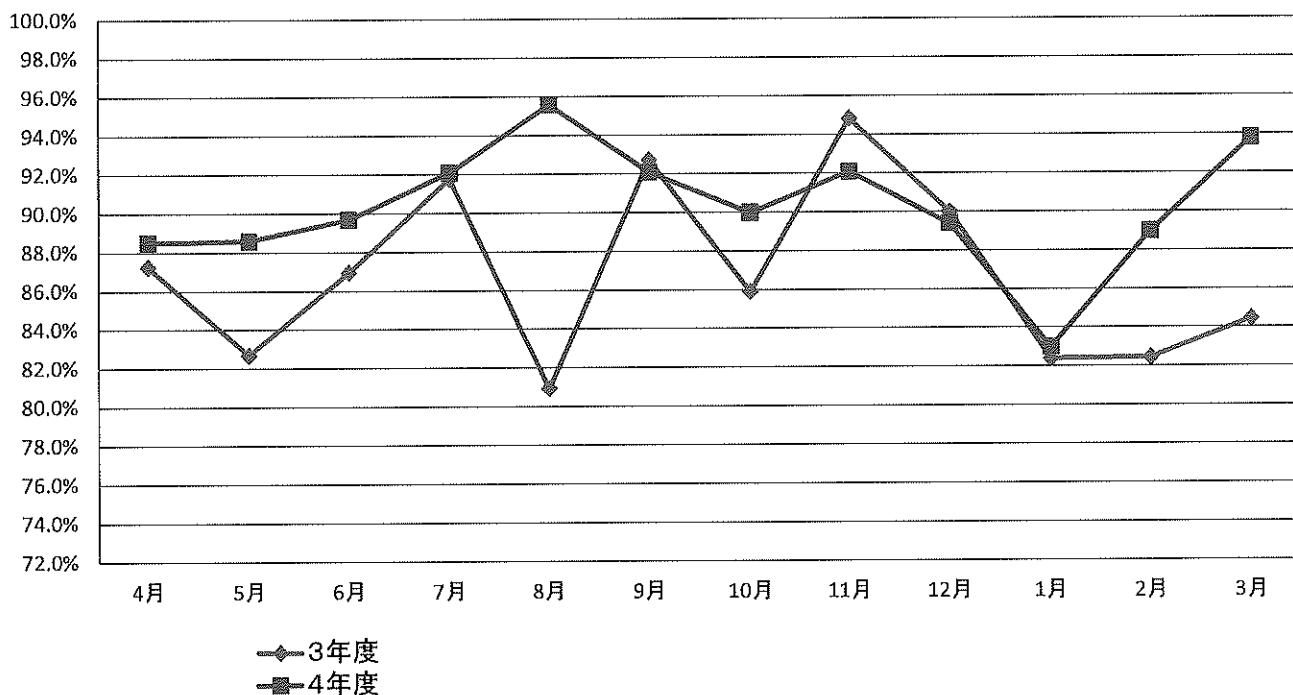
月 日	行事内容	場 所
4月6, 18日	花見ドライブ	鷺塚公園
5月29日	カード作り	施設内
6月23日	焼きそばレク	施設内
7月8日	ケアビクス	施設内
7月19日	流しそうめん・天ぷら	施設内
8月26日	アイスクリームレク	施設内
8月31日	ケアビクス	施設内
9月24日	ケーキレク	施設内
10月20日	秋ドライブ	高良山
11月10日	焼き芋	施設内
12月4日	茶和会	施設内
12月25日	クリスマス会	施設内
1月1日	お屠蘇	施設内
1月31日	お寿司レク	施設内
2月3日	節分	施設内
2月14日	バレンタインレク	施設内
3月19日	餃子レク	施設内
3月28日	花見ドライブ	鷺塚公園

※ご利用者の誕生日月はその都度、誕生日会を開催

月別利用者数一覧表

	男		女		実利用者数			延利用者数			月間稼働率(%)	
	3年度	4年度	3年度	4年度	3年度	4年度	増減	3年度	4年度	増減	3年度	4年度
4月	5	3	13	14	18	17	-1	288	292	4	87.3%	88.5%
5月	4	2	12	15	16	17	1	282	302	20	82.7%	88.6%
6月	4	2	11	15	15	17	2	287	296	9	87.0%	89.7%
7月	5	4	13	15	18	19	1	313	314	1	91.8%	92.1%
8月	4	3	14	15	18	18	0	276	326	50	80.9%	95.6%
9月	4	4	11	14	15	18	3	306	304	-2	92.7%	92.1%
10月	4	3	14	15	18	18	0	293	307	14	85.9%	90.0%
11月	3	4	14	12	17	16	-1	313	304	-9	94.9%	92.1%
12月	6	3	14	13	20	16	-4	307	305	-2	90.0%	89.4%
1月	3	3	14	14	17	17	0	281	283	2	82.4%	83.0%
2月	3	3	13	15	16	18	2	254	274	20	82.5%	89.0%
3月	2	4	14	15	16	19	3	288	320	32	84.5%	93.8%
合計	47	38	157	173	204	211	7	3,488	3,627	139		
年間平均稼働率											86.88%	90.3%

年度別利用率の推移



年間介護度別一覧表

介護度	介1		介2		介3		介4		介5		支1		支2	
	3年度	4年度	3年度	4年度	3年度	4年度	3年度	4年度	3年度	4年度	3年度	4年度	3年度	4年度
4月	2	1	4	4	8	6	2	3	1	1	0	1	1	1
5月	0	1	4	4	7	6	3	4	1	1	0	0	1	1
6月	0	1	3	5	8	4	2	5	1	1	0	0	1	1
7月	0	3	5	4	8	6	2	4	2	1	0	0	1	1
8月	2	1	4	4	9	7	2	4	1	1	0	0	0	1
9月	0	0	3	5	8	6	2	5	1	1	0	0	1	1
10月	1	1	3	4	10	4	2	6	1	2	0	0	1	1
11月	1	0	2	5	10	2	2	6	1	2	0	0	1	1
12月	0	2	4	2	9	3	3	7	2	2	1	0	1	0
1月	1	3	4	3	7	3	3	5	1	2	0	0	1	1
2月	2	1	3	4	6	3	3	6	1	3	0	0	1	1
3月	3	2	3	3	5	3	3	6	1	4	0	0	1	1

デイサービスセンター共生の里荒木 事業報告

1 総括

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症対策に取り組みながら、コロナ禍でも安心してデイを利用できる環境作りに努めました。ご利用中はもとより、ご家族様への感染対策の理解と協力が得られ、感染者が発生しても感染者数が増えることなくデイを続けられた結果、利用実績は利用者数が月平均27名と前年度より3.6名増加となりました。レクリエーションにおいても、コロナ禍でも安心して、楽しく参加してもらうため、施設内で楽しめる喫茶やデイの畑で採れた野菜を使った食事レク・おやつレクに取り組みました。

デイサービスの利用体験のご利用者には、「ここのデイサービスを利用したい」と選んでいただけるように、体験利用での個別的な対応や利用者同士の間関係に配慮したきめ細かなサービスを実施しました。

2 活動実績

(1) 日常業務の見直し

ご利用者との何気ない会話の中から希望を聞き、目標達成に向けて多職種連携して支援に取り組みました。具体例として、有料施設に入居されている方が自宅に帰りたくと相談が入りました。デイサービスでは、在宅酸素をつけての歩行練習やご本人の状態にあった福祉用具の提案を行い、自宅での生活にご利用者やご家族が自信に繋がる助言・指導を行いました。結果、無事に自宅に帰ることができ、現在も在宅生活が継続できています。明確な目標があることで、統一したサービスが実施できました。

また、ホワイトボードを活用し排泄・口腔ケア等の実施表を作りました。これによりケアの見落としが無くなり、職員の業務のすすめ方が明確になりました。

ご利用中に傷などを発見した時は、口頭や文書では伝わりづらかった症状をiPadを活用して写真を撮り、ご家族や他事業所に発信し情報を共有することで、症状の悪化を予防しました。

レクリエーションにおいては、持ち帰りレクを実施し、ご利用者が創作した物をプレゼントしました。

(2) 個別機能訓練の充実

月1回のリハビリ会議にて個々の計画書とリハビリの方向性を話し合い、個別機能訓練に活かすことができました。特に退院後のご利用者には廃用性の予防に努めるため、筋力・体力の向上を目標に力を入れてリハビリに取り組みました。

介護のデータベース（LIFE）は入力業務に時間を要しており、うまく活用できていない状況です。入力漏れや効率よく入力できる環境を作ることが今後の課題です。

コロナ感染の予防にて自宅訪問は実施できませんでした。代替策とし送迎時に、ご家族から問題点を聞き、必要に応じて助言・指導を行いました。

（３）稼働率の向上

空き状況や問い合わせの情報を共有することで、ご利用者の利用日の増加や新規利用者の希望日が重複しないように注意し、稼働率の向上に努めました。

ご利用者に状態の変化がある時にはその都度ケアマネに伝え、区分変更に繋げることで、介護度が上がったご利用者もいます。介護度が上がると利用回数の増加を希望されることが多く、令和４年度前半は介護３以上の方のご利用が８％前後でしたが、後半は１４％前後と倍増しました。

体験利用者の基本情報を読み取り、お話が合いそうなご利用者と同じテーブルに席を配置しました。午前中はリハビリを、午後からはレクリエーションを中心に体験して頂きました。今年度は２１名の体験利用中１３名が新規利用に繋がりました。

（４）健康な在宅生活維持への取り組み

日頃のご利用者の健康状況を観察し、普段と健康状態の変化があるご利用者には、看護師よりご家族へ受診の必要性を話しました。受診された結果、疾患が見つかり、治療へ繋がったケースがあります。早めの受診を促すことで長期入院や病気の悪化を防ぐ事ができました。

３ 年間活動報告

４月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 12日 おやつレク（たこ焼き） ・ 14日 食事レク（ハンバーグ） ・ 26日 風呂の日（道後温泉） 	当日利用者全員 当日利用者全員 入浴利用者
５月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 14日 おやつレク（クッキー） ・ 20日 食事レク（唐揚げ） ・ 26日 お風呂の日（秋保の湯） 	当日利用者全員 当日利用者全員 入浴利用者
６月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 11日 おやつレク（シャカシャカポテト） ・ 24日 食事レク（BBQ） ・ 25日 お風呂の日（ゆず湯） 	当日利用者全員 当日利用者全員 入浴利用者
７月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 20日 食事レク（そうめん&かき揚げ） ・ 21日 おやつレク（アイス） ・ 26日 風呂の日（お茶風呂） 	当日利用者全員 当日利用者全員 入浴利用者

8月	<ul style="list-style-type: none"> ・13日 おやつレク (ラムネ&駄菓子) ・19日 食事レク (瓦そば) ・26日 風呂の日 (南紀勝浦の湯) 	当日利用者全員 当日利用者全員 入浴利用者
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・13日 おやつレク (セレクトおやつ) ・20日 食事レク・敬老の日 ・26日 風呂の日 (黒川温泉) 	当日利用者全員 当日利用者全員 入浴利用者
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・13日 食事レク (さつまいも尽くし) ・18日 おやつレク (さつまいも三種盛り・カフェ) ・26日 風呂の日 (岐阜温泉) ・31日 ハロウィン仮装 	当日利用者全員 当日利用者全員 入浴利用者
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・10日 食事レク (秋刀魚の炭火焼き) ・22日 おやつレク (プリンカフェ) ・26日 風呂の日 (濁河) 	当日利用者全員 当日利用者全員 入浴利用者
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・15日 食事レク (居酒屋・忘年会) ・26日 風呂の日 (ゆず湯) ・28日 おやつレク (アップルパイ) 	当日利用者全員 入浴利用者 当日利用者全員
5年 1月	<ul style="list-style-type: none"> ・3日 お正月御膳 ・26日 風呂の日 (乳頭温泉) ・27日 おやつレク (いちご大福) 	当日利用者全員 入浴利用者 当日利用者全員
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・3日 豆まき ・9日 おやつレク (ぜんざい) ・18日 食事レク (唐揚げ) ・26日 お風呂の日 (鴨川温泉) 	当日利用者全員 当日利用者全員 当日利用者全員 入浴利用者
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・15日 おやつレク (桜餅) ・20日 食事レク (ちらし寿司) ・20日~25日 桜見物ドライブ ・27日 風呂の日 (三重湯の山温泉) 	当日利用者全員 当日利用者全員 曜日にて希望者振分 入浴利用者

令和4年度利用状況

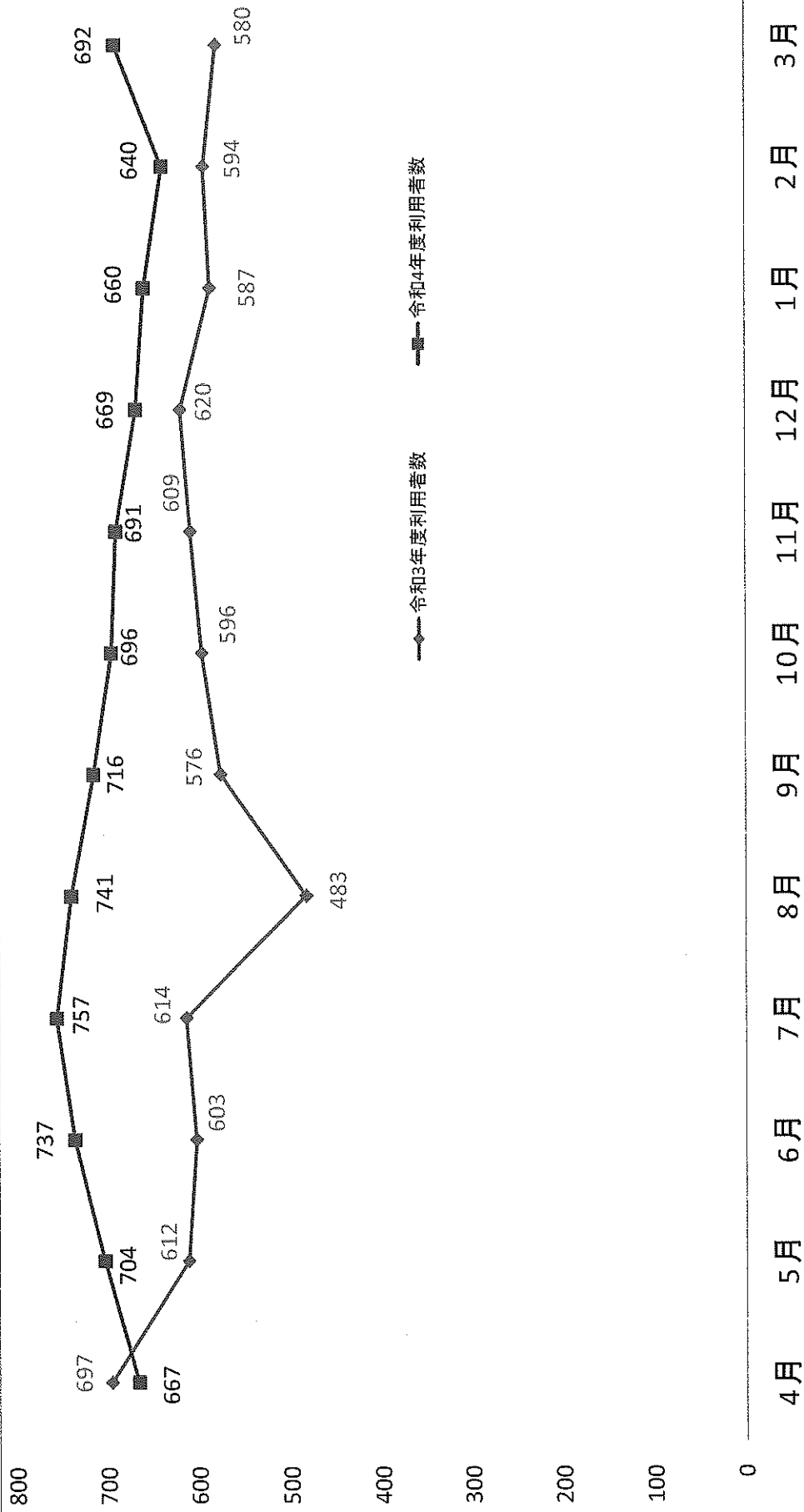
(表1) 令和4年4月1日～令和5年3月31日 定員35名

年月	営業日数	介護(人)	予防(人)	合計利用者数(人)	一日平均数(人)	稼働率100%の場合(人)	月間稼働率
令和4.4	26	547	120	667	25.7	910	73.3%
5	26	578	126	704	27.1	910	77.4%
6	26	619	118	737	28.3	910	81.0%
7	26	628	129	757	29.1	910	83.2%
8	27	624	117	741	27.4	945	78.4%
9	25	606	110	716	28.6	875	81.8%
10	26	587	109	696	26.8	910	76.5%
11	26	575	116	691	26.6	910	75.9%
12	26	570	99	669	25.7	910	73.5%
令和5.1	25	553	107	660	26.4	875	75.4%
2	24	530	110	640	26.7	840	76.2%
3	27	573	119	692	25.6	945	73.2%
合計	310	6990	1380	8370	324.0	10850	925.9%
平均	25.8	582.5	115.0	697.5	27.0	904.17	77.2%

(表2) 前年対比

年度	営業日数	介護(人)	予防・事業対象者(人)	年間合計	1日平均数	1ヵ月平均数	月間稼働率
令和3年	308	5441	1730	7171	23.4人	597.6人	66.90%
令和4年	306	6990	1380	8370	27.0人	697.5人	77.20%
前年比増減	0	1549増	350減	1199増	3.6人増	99.9人増	10.3増

令和4年4月1日～令和5年3月31日まで利用者数推移
 (令和3年度利用者数と比較し表示)



訪問看護ステーション共生の里 事業報告

1 総括

令和4年2月1日に訪問看護ステーション共生の里の指定を受け、看護小規模多機能型事業所の連携型として事業を再開しました。今年度前期は看護小規模の運営を整えながら、関係機関への広報活動を行い、新規獲得にむけた活動を行いました。看護小規模が認知されていくことで、医療的ケアが必要な介護度の高い利用者が増えていき、また精神訪問看護対象の方には自立支援制度を活用して、医療保険対象の訪問看護に丁寧に切り替えていく事で、訪問看護登録を増やす事につながりました。後期は広報活動による外部事業所からの新規相談も徐々に増え、昨年度は16名の登録がありました。看護小規模との兼任業務のため、より幅広い分野のニーズに応えるためには、今後看護師の増員、指導教育が課題となっています。

2 活動実績

- (1) 病状が安定して住み慣れた家で暮らせるよう、日常的なケアや医療行為、突発的なトラブルや体調変化、急性増悪に対する対応を行いました。普段の生活や日常生活動作を把握し、その方の日常を大きく変える事のないよう支援や方法について丁寧に説明していきました。また病状が回復した後も、主治医の指示や、本人家族の希望により訪問看護を継続し、服薬の管理や病状の観察、リハビリテーション、受診の確認や検査結果を踏まえた生活の助言や適切な福祉用具の準備ができるようアドバイスを行っていきました。
- (2) 訪問看護においては、ご利用者のみならずケアの多くをご家族が担う事になるため、ご家族への支援も重要な訪問看護師の役割です。ご家族が担う役割を把握し、その負担を軽減するために支援を行いました。また必要以上の導入で家族介入を阻害し効力感を得られなくなることや、必要量に足りずご家族が疲弊することがないように相談・対応し、家族間のコミュニケーションを図りました。今後起こりうる変化やトラブルを事前予測し、対応を本人・ご家族と共有し、意思の確認を行いました。意思表示困難な場合、治療方針や療養の場所の選択をご家族が代理で決定することは心理的負担が大きく、必要な選択肢の情報提供や一度決めた事でも変更できる事を伝え、意思決定に寄り添う姿勢を保ち、多職種含め話し合いの場を設けることで意思決定を支援していきました。
- (3) サービス内容に差が出る事のないよう、週1回ナースミーティングが行える時間を設け、事前情報や訪問時のケアに対し職員間で細かく情報を共有していきました。また医療ケアに対する新しい情報や訪問看護の制度について勉強会を行っていきました。
- (4) 訪問看護事業所が再開したことを周知していただくため、近隣の事業所や医療機関、地域包括支援センターや居宅介護支援事業所への営業活動や挨拶回りを

行い、居宅介護支援事業所の合同事例検討会の場でプレゼンテーションを行いました。また、リハビリスタッフや栄養士と情報共有しアドバイスを受け、必要であれば会議の場への参加や訪問の同行を依頼し、積極的に連携を取っていききました。共生の里事業所間でも、訪問看護を周知され訪問看護の必要性や可能性を見出し、各専門知識を持ちより互いを刺激し高めあうことに努めました。

- (5) 独居・高齢夫婦世帯、感染症発生時の支援に対し、体調確認の連絡や必要時訪問対応しました。買い物などができず食事や水分、内服の支援が必要なご利用者に対しては、各事業所間で情報共有し、また医療機関との連絡調整を行い、報告や指示受け等の対応を行いました。

訪問看護実績(令和4年4月～令和5年3月)													
介護保険給付	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	延べ合計
予防													
要介護	1	1	2	2	2	2	3	3	4	4	4	4	32
要介護(公費)													
合計	1	1	2	2	2	2	3	3	4	4	4	4	32

(件)

医療保険給付	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	延べ合計
後期高齢		1	1	1	2	1			1	2			9
後期高齢(公費)						1	2	4	5	5	7	9	33
社保											1	1	2
合計		1	1	1	2	2	2	4	6	7	8	10	44

(件)

主な活動	NDソフト研修
	来年度事業計画作成
	営業活動(医療機関・居宅介護支援事業所)
	料金表の見直し
	毎月1回ミーティング
	パンフレット作成、修正
	コロナ感染症研修
	BCP対策研修
	訪問看護管理者研修

看護小規模多機能型居宅介護事業所 共生の里荒木事業報告

1 総括

令和4年度は、看護小規模へ移行したばかりで不安も大きい状況でしたが、居宅介護支援事業所や訪問看護ステーションと連携を図り、利用者の確保に努めることが出来ました。

上半期は、コロナ禍の影響も継続していましたが、医療ニーズの高い利用者の受け入れや介護量に見合った介護度の見直しを行うことによって、月の収益600万円を超える月が(3ヶ月)ありました。

下半期は、新規利用者の受け入れは行いましたが、介護度の高い利用者2名の看取りや在宅支援から施設入所に移行される利用者もあったため収益を伸ばす事が出来ず、月の平均で登録者20名、月平均収益560万円となり、計画を若干下回りました。

しかし、利用者の看取り対応や予防的な看護や介護により、利用者と家族の生活に安心感や充実感をもたらしたと考えています。

2 活動実績

(1) 地域との共存・共生

コロナ禍により地域の行事に積極的な参加が出来ませんでした。長期宿泊者の一時帰宅や自宅の看取りと訪問を行うなかで、地域の方々とコミュニケーションをとるなど、限定的ではあったものの地域の方と積極的に関わりを持つことが出来ました。また、ご利用者のご家族から地域で支援が必要な方の紹介もありました。

(2) 登録の確保

広報活動では、居宅介護事業所、訪問看護と連携を図り、医療機関を中心に営業活動を行う事で、病院からの問い合わせも増えました。

訪問看護と連携を図ることで、医療機関との情報共有が以前よりも密になり、病状の早期発見、対応ができ利用継続に繋がりました。

登録者23名の目標を立てていましたが、月の平均で登録者20名でした。

(3) 訪問看護ステーションとの連携

ご利用者・ご家族の希望に沿って、看護小規模内での対応に留まらず、訪問看護と連携をとることで、医療行為はもちろん、在宅での看取り、看護小規模内での看取り2名に対応でき、ご家族との最後の時間を過ごすことが出来ました。

(4) 職員の働きやすい環境作り

全職員の働きやすい勤務体制の要望を踏まえ、面談を行っていくことで勤務帯を考察し、職員の働きやすい勤務表を作り、利用者に不利益をもたらすことなく支援を継続することが出来ました。

また、訪看とケアマネの事務作業時間を設けることで、円滑に業務が行えるように配慮しました。

3 年間行事実績

今年度もご利用者の意向を聞き取りながら、コロナ禍で可能な行事を開催しました。

月	行事内容	月	行事内容
4月	喫茶レク	10月	芋ほり
5月	誕生会レク	11月	運動会レク
6月	外出レク(石橋文化センター)	12月	クリスマス会
7月	食事(梅ジュース)レク	1月	初詣レク
8月	夏祭りレク	2月	節分レク たこ焼きレク
9月	敬老会レク	3月	花見レク(十連寺公園)

◇毎月の誕生会開催。

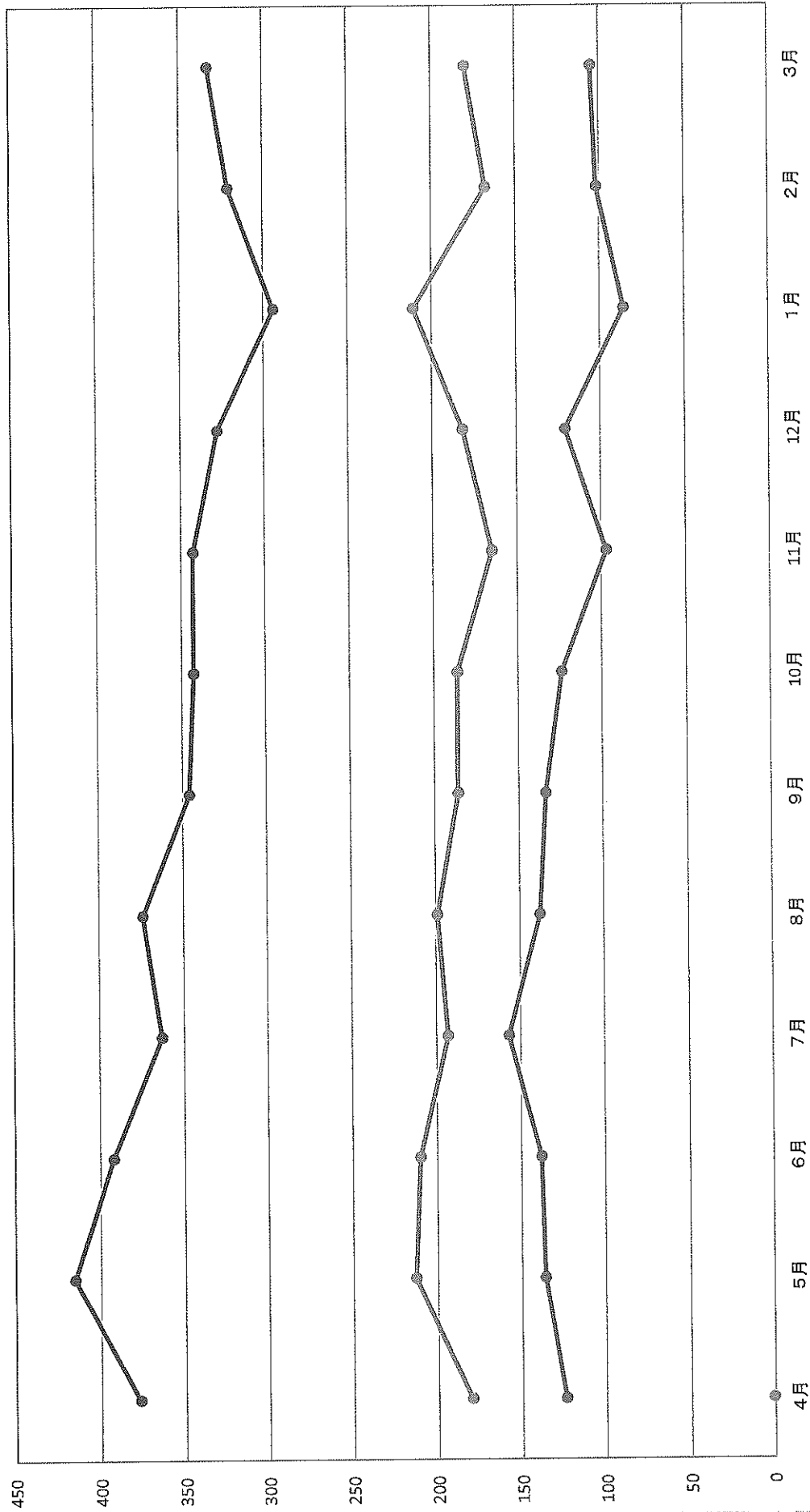
◇個別企画については上記以外でドライブやおやつ作り等実施。

◇運営推進会議開催。

利用状況一覧表

	登録者数	男性	女性	平均介護度	通い(延べ回数)	宿泊(延べ回数)	訪問(延べ回数)
年度	4年度	4年度	4年度	4年度	4年度	4年度	4年度
4月	21	4	17	2.7	377	180	124
5月	22	4	18	2.9	415	213	136
6月	23	4	19	2.9	392	210	138
7月	22	3	19	2.6	363	193	157
8月	20	3	17	2.5	374	199	138
9月	19	3	16	2.5	346	186	134
10月	18	3	15	2.4	343	186	124
11月	18	4	14	2.4	343	165	97
12月	19	5	14	2.9	328	182	121
1月	18	5	13	2.6	294	211	86
2月	20	5	15	2.6	321	168	102
3月	19	5	13	2.8	333	180	105
平均値	19.9	4.0	15.8	2.7	352.4	189.4	121.8

利用状況一覧表



通い(延べ回数)4年度 宿泊(延べ回数)4年度 訪問(延べ回数)4年度

栄養課事業報告

1 総括

今年度は、厨房職員の働きやすさ、モチベーションアップに繋げることを意識した個人面談を重ねました。厨房職員は、お互いに協力し合う事で働きやすい環境を作ることができ、退職者は0人でした。特に、今年度のご利用者からの評価としては、味や質が安定した食事と食器や食材の彩り等、高い評価を受けました。また、食事の行事を通し、厨房職員と他職種職員とのコミュニケーションも増えてきました。今後も充足している人員環境を活かし、新しい食事サービスにも取り組んでいきたいと思えます。

食材費においては、食品の高騰により昨年度より高くなりました。食品のロスや使用食材（業者）の見直しを更に行っていきませんが、削減には限界があるので、『高品質の共生の里荒木の食事』を売りにできるような情報の発信を行い、付加価値を付けていきたいと思えます。

2 活動実績

(1) 食材費の維持

- ①食品のロスを細かく減らし、使用食材の見直しを行いました。食品の高騰により昨年度より食材費は高くなりました。
- ②水分に強いトロミを付ける場合、トロミ剤だけではなく別のゲル化剤の使用も提案し、トロミ剤の使用量を減らしました。

(2) 食事の質の向上

- ①献立作成において、新メニューを積極的に取り入れ、ご利用者からも好評でした。
- ②津福の厨房職員との勉強会やケータリングなど、自施設以外と協力したサービスの提供を検討しましたが、今年度は実施できませんでした。新型コロナウイルスによる行動制限の緩和により、今後は実施できるよう企画していきます。

(3) 厨房職員の専門性

- ①厨房職員も、各委員会に参加することで、調理だけでなくリスク管理やご利用者・職員の食事に対する要望を学ぶ機会となりました。
- ②感染対策や災害時の実演講習を厨房内の勉強会で実施しました。
- ③厨房職員が考案したメニューを行事食に取り入れ、又、職員に向けた弁当販売においても厨房職員が中心となってメニューを作成し、好評な意見が数多く聞かれました。今後も、ご利用者の食事のみならず、職員が共生の里荒木で働く楽しみの一つとなるような企画を計画していきます。

(4) 食事介助の質の向上

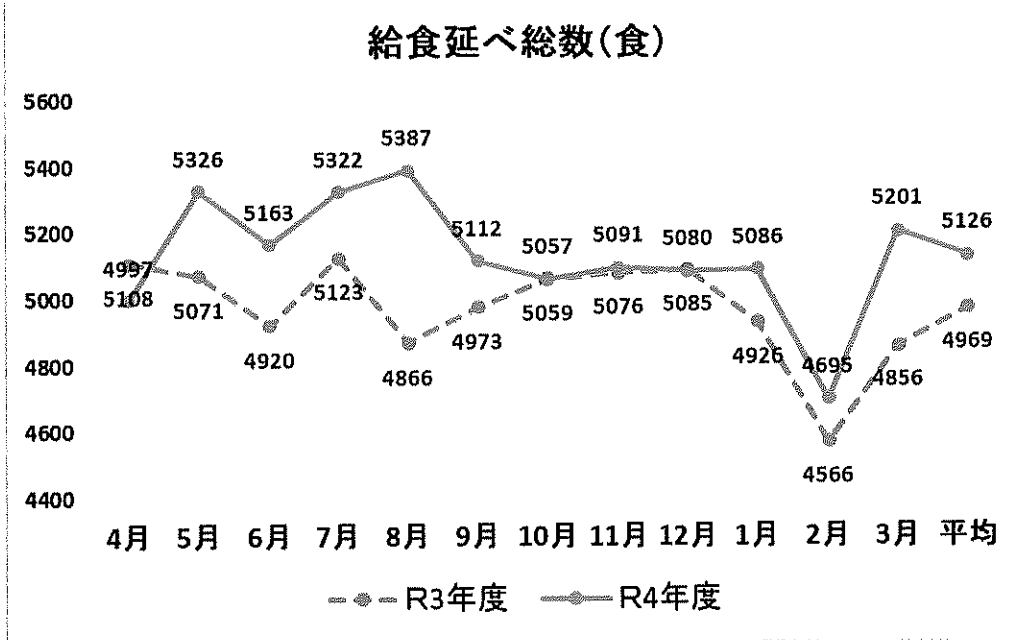
- ①昼食時にユニットに出向き、盛り付け方や皿選びの説明を行いました。しかし、管理栄養士が求める配膳の仕方や食事介助方法は、十分に伝えられていません。今後は、ユニット会議や研修会を通して、更に細やかに説明を行っていきます。

(5) 在宅・地域に向けたサービス

- ①在宅ご利用者宅への訪問に同行し、食事に関する課題解決に取り組みました。しかし、継続して実施できていないことが反省点であるので、今後は定期的に訪問するスケジュールを立て、管理栄養士が訪問する事をサービスの強みとして提示できようように確立していきます。

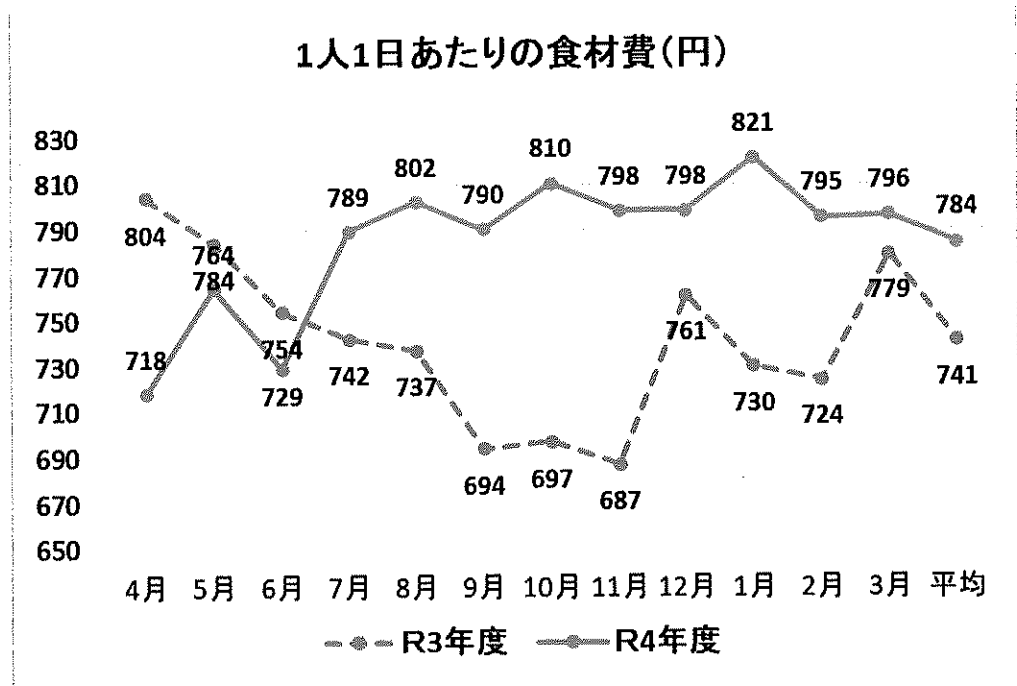
3. 給食延べ総数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
R3年度(食)	5108	5071	4920	5123	4866	4973	5059	5076	5085	4926	4566	4856	4969
R4年度(食)	4997	5326	5163	5322	5387	5112	5057	5091	5080	5086	4926	4695	5201



4. 1人当たりの食材料費

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
R3年度	804	784	754	742	737	694	697	687	761	730	724	779	741
R4年度	718	764	729	789	802	790	810	798	798	821	795	796	784



3. 実施行事

日付	行事	日付	行事	日付	行事
4月1日	松花堂弁当	9月1日	松花堂弁当	1月21日	郷土食(大分県)
4月6日	さくら散らし寿司	9月9日	重陽の節句(栗ご飯)	1月27日	デイおやつレク(イチゴ饅頭)
4月12日	デイおやつレク(たこ焼き)	9月10日	十五夜(団子)	2月1日	松花堂弁当
4月14日	デイ食事レク(ハンバーグ)	9月13日	デイおやつレク(喫茶)	2月3日	節分(巻き寿司)
4月23日	郷土食(佐賀県)	9月15日	ひじきの日	2月9日	デイ(餃子実演)
5月1日	松花堂弁当	9月20日	敬老の日 祝い膳	2月9日	デイおやつレク(ぜんざい)
5月5日	子どもの日(お子様ランチ)	9月24日	郷土食(神奈川県)	2月14日	バレンタイン
5月8日	母の日	10月1日	松花堂弁当	2月18日	デイ食事レク(唐揚げ実演)
5月14日	デイおやつレク(クッキー)	10月4日	いわしの日	2月20日	郷土食(北陸三県)
5月20日	デイ食事レク(唐揚げ)	10月13日	さつまいもの日	2月22日	おでんの日
5月20日	郷土食(沖縄)		デイ食事レク(天ぷら)	3月1日	松花堂弁当
5月26日	職員食堂(油淋鶏弁当)	10月17日	郷土食(愛媛県)	3月3日	ひなまつりご膳
6月1日	松花堂弁当	10月18日	デイおやつレク(さつま芋)	3月13日	サンドウィッチの日
6月9日	卵の日	10月25日	パスタの日	3月15日	デイおやつレク(さくらもち)
6月11日	デイおやつレク(フライドポテト)	10月28日	まつたけ	3月17日	郷土食(長野県)
6月18日	おにぎりの日	11月1日	松花堂弁当	3月18日	1Fレク(餃子)
6月19日	父の日(ビールゼリー)	11月10日	さんまの炭火焼	3月20日	デイ食事レク(散らし寿司ご膳)
6月23日	1F 食事レク(焼きそば)	11月11日	チーズの日	3月30日	味噌の日
6月24日	デイBBQ		デイ食事レク(天ぷら)		
7月1日	松花堂弁当	11月17日	郷土食		
7月7日	七夕そうめん	11月22日	キムチの日		
7月19日	1F 食事レク(天ぷらそうめん)	11月25日	職員食堂		
7月20日	デイ食事レク(かきあげ)	11月28日	デイおやつレク(モグラブリ)		
7月21日	デイおやつレク(アイス)	12月1日	松花堂弁当		
7月23日	土用の丑の日	12月12日	明太子の日		
7月27日	小規模食レク(中華)	12月20日	デイ食事レク(居酒屋メニュー)		
8月1日	松花堂弁当	12月24日	クリスマス		
8月9日	ハンバーグの日	12月27日	郷土食(青森県)		
8月13日	盆団子	1月1日	おせち		
8月15日	お盆料理	1月7日	七草		
8月19日	デイ食事(瓦そば)	1月20日	甘酒の日		

広報委員会活動報告

1 総括

- (1) コロナ禍での施設の広告塔として施設内の行事や変化に敏感になり、最新情報を発信できるよう心掛けましたが、十分にホームページを更新することができませんでした。
- (2) 施設玄関ホールに掲示している職員紹介写真は職員の異動や入退職に合わせて、随時更新しました。

2 活動実績

月	内 容
4 月	定例委員会
6 月	ホームページ更新 会議
9 月	ホームページ更新 会議
11 月	定例委員会 ホームページ更新 会議
2 月	定例委員会 ホームページ更新 会議

令和4年度 非常対策委員会活動報告

1 総括

- (1) 厚生労働省より策定・実施・訓練が義務付けされているBCPについては、会議を重ねた上で策定して、更新する必要があります。
- (2) 7月と2月に消火・通報・避難の一連について状況を確認するため、夜間火災想定と日中の地震・火災想定避難訓練を行いました。
また、火災報知器誤報時の対処方法を消防署から指導して頂き、火災報知器の操作方法を全職員で共有しました。
- (3) 消防設備・防災設備等の業者による点検は8月と2月に実施し、消防設備等の自主点検については、消火器の配置確認と共に毎月行いました。
- (4) 今後も継続して防災についての教育・訓練等の情報を発信し、職員が職場を守る意識を植え付けていきます。
BCPについては施設の全職員が策定に取り組むことで有事に対しての体制を整えておきます。

2 活動実績

月	内容
4月	・委員会会議 ・年間スケジュール策定
6月	・臨時委員会会議（誤報対策について） ・委員会会議（避難訓練の打合せ）
7月	・夜間想定（火災）の避難訓練実施【消防署立会い指導】 ・火災報知器操作と誤報時対応の情報共有
8月	・消防設備等の点検
2月	・日中想定（地震・火災）の避難訓練実施【消火器使用訓練】 ・消防設備等の点検

食事委員会活動報告

1 総括

厨房職員が委員会に参加する事で、多職種の意見を直接聞ける良い機会になりました。議題として、各部署からの意見を聴衆する内容が多かったので、今後は情報発信の場として、更に有効的に委員会の時間を活用していきたいと思えます。

○委員会で協議・報告内容

- ・行事の提案、反省
- ・各部署からの意見、提案
- ・厨房からの提案
- ・衛生管理指導

2 活動実績

(1) 委員会活動

開催日	内 容	
	参加人数	主な議題
5月	5名	・委員会メンバーの確認 ・委員会事業計画の確認 ・各部署からの意見・検討事項 ・冷蔵庫の掃除
7月	6名	・各部署からの意見・検討事項
9月	4名	・各部署からの意見・検討事項
11月	5名	・各部署からの意見・検討事項 ・職員向けの弁当について
2月	5名	・各部署からの意見・検討事項

研修委員会活動報告

1 総括

介護保険サービス事業運営に必要な施設内研修について、年間計画を立て全職員対象に実施しました。

- (1) 令和4年度は新型コロナウイルス感染対策にて WEB 研修を中心に各事業所での研修を実施しました。前年度の反省として挙がっていた、視聴時間を作れないという職員へ WEB 視聴時は資料も同時に配布し、空き時間を利用して研修に参加しました。
- (2) コロナ感染が増えたこともあり、合同研究発表会は開催を延期しました。津福と合同の救命救急は中止し、WEB 研修に変更して研修を実施しました。
- (3) 令和5年度も施設内の各委員会と連携を図り、新型コロナウイルス感染症の状況に応じた内部研修を行い、マナー及び接遇等スキルアップ、人材育成に向けた研修を行っていきたいと思います。

2 活動実績

月	内 容	参加人数
4月	褥瘡予防について	伝達講習
5月	口腔ケアについて	WEB 視聴
6月	食中毒・手洗いについて	伝達講習
7月	避難訓練（夜間想定）	20名
8月	身体拘束・高齢者虐待	WEB 視聴
9月	リスクマネジメントについて	WEB 視聴
10月	救命救急について（津福合同は中止）	WEB 視聴
11月	インフルエンザ・ノロウイルス対策	伝達講習
12月	看取りについて	実施講習
1月	非常対策について	WEB 視聴
2月	ストレス・ハラスメントについて 避難訓練（地震・火災）	伝達講習 20名
3月	リスクマネジメントについて	伝達視聴

接遇、業務改善委員会活動報告

1. 総括

- (1) 接遇についてアンケートを3カ月毎に実施し、各部署の会議で問題点を話し合ってもらい言葉遣いと身だしなみに関する注意喚起を行いました。
- (2) 業務改善ではオムツやリネン等の置き場所や取り扱いについて再度周知徹底し、ごみペールを購入しゴミ捨て場の改善を図りました。
- (3) 排泄パターンにより、オムツやパットの使用状況を把握し、発注量を調整してコスト削減に努めました。また、パットの見直を同時に実施しました。
- (4) 光熱費削減については、運営会議で使用状況を確認しながら、職員へ周知徹底を行いました。

2. 活動実績

月	内 容
4月	今年度の目標、年間計画の確認、夏布団の手配
7月	接遇アンケートの実施、
10月	接遇アンケートの実施、冬布団の手配、オムツやシーツについて
1月	接遇アンケートの実施、
3月	1年の振り返り、来年度の活動計画作成

リスクマネジメント委員会活動報告

1 総括

- (1) 毎月委員会を開催し、提出されている報告書の確認とその対策が継続されているか、他に対策方法はないか等の話し合いを行い、事故発生の予防と再発防止に努めました。
- (2) 半年毎に施設内で発生した事故・ヒヤリハットの件数を集計し、動向の確認を行っておりますが、報告件数が各事業所によって差が見られました。内部研修（動画）等を通じてリスクについて施設全体で知識の共有や取り組み姿勢の統一を図りました。
- (3) 外部研修へ積極的に参加しました。
- (4) 今後も事故の発生を未然に防ぐ為、ヒヤリハット・事故報告書を活用し、ご利用者が安心して過ごす事の出来る環境作りとケアの充実に取り組んでいきます。

2 活動実績

月	内 容
4 月	1年間の活動について話し合い
5 月	委員会開催・事例検討会
6 月	委員会開催・事例検討会
7 月	委員会開催・事例検討会
8 月	委員会開催・事例検討会
9 月	委員会開催・事例検討会・内部研修（Web研修）
10 月	委員会開催・事例検討会・上半期ヒヤリハット件数集計
11 月	委員会開催・事例検討会
12 月	委員会開催・事例検討会
1 月	委員会開催・事例検討会
2 月	委員会開催・事例検討会
3 月	委員会開催・事例検討会・下半期ヒヤリハット件数集計・年間反省・内部研修（書面研修）

感染症対策委員会活動報告

1 総括

令和4年度も新型コロナウイルス感染拡大による感染防止に努めました。施設内のフェーズに応じた取り組みを決め状況により強化しました。職員の標準予防策の意識向上を図るため、ポスター掲示、ガウンテクニックの演習、手洗いの実践をおこないました。職員は2回/月のPCR検査、また有症状者には出勤前に抗原定性検査を実施し、感染拡大防止に努めました。「感染症予防対策と新型コロナウイルス感染症について」の動画配信を受講し、年間を通じての感染対策を学びました。夏季前には熱中症対策の伝達講習、食中毒防止策には管理栄養士を講師に内部研修を実施しました。

2 活動実績

月	内 容
4月	会議・令和3年度活動報告・令和4年度年間活動計画 ・内部研修について検討、依頼 ・利用者、職員の発熱時対応、対策について
5月	会議・職員がインフルエンザウイルス罹患につき臨時委員会開催 ・感染予防策について話し合い ・ガウンテクニック実演
6月	・内部研修 平島栄養士より(食中毒について) ・小規模 新型コロナ感染 ご利用者、職員
7月	・7/22～第4回新型コロナワクチン接種 ・熱中症予防対策 伝達講習
8月	会議・各部署コロナ感染状況について 同日各部署で罹患が発生した場合の看護体制について ・(続)第4回新型コロナワクチン接種(オミクロン対応)
9月	・職員向けにガウンテクニックの再確認研修を実施
10月	会議・インフルエンザワクチン接種について インフルエンザウイルス感染症について伝達講習
11月	会議・内部研修 ノロウイルスについて ・インフルエンザ予防接種実施(ご利用者、職員) ・2Fユニット新型コロナ感染 ご利用者、職員
12月	・インフルエンザワクチン接種実施(ご利用者、職員)

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第5回新型コロナワクチン接種(オミクロン対応 ご利用者) ・ 12/17 県社協主催動画配信「冬季に流行する感染症予防対策と新型コロナ感染症について」受講
1月	会議・新型コロナウイルス感染拡大による荒木の感染対策
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナウイルス感染症施設内の対応について臨時委員会開催
3月	会議・令和4年度年間反省 ・ 令和5年度年間計画

褥瘡委員会活動報告

1 総括

- (1) 毎月の褥瘡委員会で、各部署で確認された褥瘡発生者及び高リスクな利用者について話し合い、事例を通じて各部署で褥瘡発生者を減らす為の取り組みに生かせるよう、情報共有に努めました。
- (2) 褥瘡委員がまずは学びを深め、各部署の会議などで詳細を伝達しました。
- (3) 褥瘡評価については、「ほのぼの」にある厚生労働省危険因子を用いて3か月毎の評価を実施しました。ご利用者の状態把握とその内容の情報共有に繋がり、各個人にあった褥瘡予防計画を実践することができました。

2 活動実績

月	内 容
4月	委員会実施
5月	委員会実施
6月	委員会実施・厚生労働省危険因子評価実施 内部研修(伝達講習) 褥瘡の基礎知識、スキンケアポジショニングについて
7月	委員会実施
8月	委員会実施
9月	委員会実施・厚生労働省危険因子評価実施
10月	委員会実施
11月	委員会実施
12月	委員会実施・厚生労働省危険因子評価実施
1月	委員会実施
2月	委員会実施
3月	委員会実施・厚生労働省危険因子評価実施 今年度活動報告書作成

入所判定委員会活動報告

1 総括

(1) 今年度、入所申込は総数23件(男5名 女性18名)あり、退居されたご利用者は4名でした。事前に入所判定会議を開催し、退居された後スムーズに特養入居へと調整を行って、入院以外の特養空床数が前年度よりかなり減少しました。

(入院外の空床数：令和3年度 146日→令和4年度 43日)

(2) 来年度も引き続き事前準備の徹底、積極的な申込者の調査、事前会議(ベッドコントロール会議)、入所判定会議を迅速に開催し、1日でも早く入居につながるように努めます。また、医療機関や居宅事業所等との連携を密に行い、情報共有に努めます。

2 活動実績

月	内容	選出 人数	入所 確定者	待機者	その他	会議 参加人数
9月	入所検討委員会	1名	1名	37名	0名	6名
3月	入所判定会議	3名	3名	0名	0名	6名
3月	入所検討委員会	1名	1名	42名	0名	6名

身体拘束廃止及び人権・虐待防止委員会活動報告

1 総括

- (1) 3カ月に1回、委員会を実施しました。
- (2) 身体拘束及び人権虐待についてのアンケートを実施し、職員の意識向上と知識の習得を行いました。集計結果については、全事業所に配布し、周知徹底に努めました。
- (3) 人権及び虐待防止委員会に関しては、上記アンケートの実施と合わせて、適切な言葉遣いの使用と不適切なケアに繋がらないよう働きかけを行いました。
- (4) 起き上がり等のセンサー使用のご利用者の使用見直しを定期的に行いました。

2 活動内容

月	内 容		
4月	委員会開催	今年度の活動内容説明	
7月	委員会開催	見守り機器の確認	
10月	委員会開催	見守り機器の確認	アンケート実施
1月	委員会開催	見守り機器の確認	
3月	委員会開催	見守り機器の確認	今年度の振り返り

衛生（総務）委員会活動報告書

1 総括

- (1) 毎月の施設内パトロールでは、各部署の整理整頓の他に危険箇所や改善箇所を把握し、改善に努めました。
- (2) ストレスチェックは、今年度は7月に1回実施しました。高ストレス者で産業医との面談勧奨者は3名いましたが、面談を受けた職員はいませんでした。
- (3) 施設の草取りや大掃除の計画を立て、全部署で取り組みました。

2 活動実績

月	内 容
4 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 雇い入れ時健診（随時） ・ 年間計画の周知 ・ 春の交通安全運動
5 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 職員健診 ・ 草取り
6 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 食中毒、熱中症対策 ・ 災害対策（豪雨）
7 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ ストレスチェック ・ 地震想定訓練
8 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業所内安全対策 ・ 熱中症予防
9 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 敬老会
10 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 職員健診（夜勤者） ・ 草取り
11 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 暖房機器の点検 ・ インフルエンザ予防接種、感染対策
12 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大掃除
1 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 安全衛生アンケート
2 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 安全衛生アンケート集計、報告 ・ 職場環境改善対策 ・ 避難訓練
3 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今年度のまとめ、来年度の計画

※ 毎月、職場安全パトロールを実施

令和4年度 研修会・会議(特養)

研修・会議名	日時	場所	参加者
初めてでもできるBCPの作り方 ～自然災害編～	4/1～5/8の内1日	オンライン研修	1名
令和4年度(第1回)福岡県認知症介護指導者打合せ	4月9日	オンライン研修	1名
令和4年度在宅医療介護従事者研修会	4月25日	久留米医師会館	1名
令和4年度(第2回)福岡県認知症介護指導者打合せ	5月9日	クローバープラザ	1名
令和4年変わる指導監査対応 指導・監査マニュアル徹底解説	5月16日	オンライン研修	1名
大塚製薬×ナースの星WEBセミナー 地域包括ケア時代の脱水対策と摂食嚥下支援	5月18日	オンライン研修	2名
令和4年度第1回施設長会	5月19日	ホテルマリターレ創世	1名
令和4年度他職種連携研修会	5月23日	久留米医師会館	1名
令和4年度社会福祉施設役職員研修 新任職員研修(1日目/全2日間)	5月25日	オンライン研修	1名
自然な笑顔の職場づくり術 3つのポイント	5月25日	オンライン研修	2名
令和4年度新規学卒求人者説明会	5月26日	久留米シティプラザ	1名
令和4年度オンラインセミナー(LIFE) 改めて考える科学的介護情報システム(LIFE)活用	5月28日	オンライン研修	1名
コロナ禍で本格化!実地指導改め運営指導対策	5月31日	オンライン研修	1名
令和4年度認知症介護実践者研修講師・ファシリテーター	6/2・9・10・14・24・30	クローバープラザ	1名
令和4年度社会福祉施設役職員研修 新任職員研修(2日目/全2日間)	6月2日	オンライン研修	1名
社会福祉法人役員研修会	6月7日	オンライン研修	4名
第1回J圏域(荒木・安武・大善寺校区)高齢者を支える支援地域 づくり会議	6月13日	オンライン研修	1名
令和4年度キャリアアップ研修「第1回福祉・介護における利用者の 尊厳とは」～自立支援の意義とその実践を理解する～	6月15日	オンライン研修	1名
高齢者施設のパワーハラスメント対策 ～パワハラ撲滅は重要な経営戦略～	6月17日	オンライン研修	1名
令和4年度第1回特定給食施設等研修会	6月21日	オンライン研修	1名
みまもりマネジメント入門セミナー	6月21日	オンライン研修	1名
令和4年度キャリアアップ研修「第2回福祉・介護職員に必要な対 人援助の知識と技術」～傾聴・受容・共感とは～	6月30日	オンライン研修	3名
令和4年度感染症予防研修(前期)	7月6日	オンライン研修	1名
令和4年度第3回福岡県認知症介護指導者打合せ	7月11日	クローバープラザ	1名
RICOH Value Presentation 2022 "介護スペシャリスト"育成のポイント	7月19日	オンライン研修	1名
「介護の仕事」理解促進事業における「高齢者触れ合い体験」事 前説明会	7月19日	オンライン研修	1名
BCP研修会	7月22日	オンライン研修	1名
令和4年度認知症介護実践者研修ファシリテーター	7月30日	クローバープラザ	1名
令和4年度集団指導(特養)	7月31日	資料研修	1名

令和4年度 研修会・会議(特養)

令和4年度集団指導(ショート)	8月2日	資料研修	1名
～傾き・ずり落ち～食事の”不良姿勢”に有効なシーティング 第一部	8月2日	オンライン研修	2名
令和4年度キャリアアップ研修「第4回コミュニケーション力を高める①」～信頼関係形成のためのコミュニケーションとは～	8月3日	オンライン研修	5名
～傾き・ずり落ち～食事の”不良姿勢”に有効なシーティング 第二部	8月6日	オンライン研修	2名
令和4年度第4回福岡県認知症介護指導者打合せ	8月7日	クローバープラザ	1名
「食べてもらいたい…」口を開けない”認知症の方の食支援アプローチ 第一部	8月12日	オンライン研修	2名
「食べてもらいたい…」口を開けない”認知症の方の食支援アプローチ 第二部	8月16日	オンライン研修	2名
令和4年度認知症介護実践者研修ファシリテーター	8/8・16	クローバープラザ	1名
認知症介護指導者ネットワーク全国研修会～令和の認知症ケア福島から全国へ～	8月10日	オンライン研修	1名
令和4年度第2回ライフレスキュー久留米連絡会実行部会定例会	8月16日	久留米市総合福祉センター	1名
第48期ほのぼの塾	8月19日	オンライン研修	1名
令和4年度労務管理研修	8月23日	オンライン研修	1名
令和4年度キャリアアップ研修「第5回コミュニケーション力を高める②」～働きやすい職場づくりのためのコミュニケーションとは～	8月24日	オンライン研修	5名
第38回企業法務実務セミナー ハラスメント対応	8月26日	弁護士法人かばしま法律事務所	1名
社会保険労務士によるオンライン研修会	8月31日	オンライン研修	1名
令和4年度九州老人福祉施設職員研修Web大会(沖縄)	8月31日	オンライン研修	1名
令和4年度認知症介護実践リーダー研修 ファシリテーター	9/8・28	クローバープラザ	1名
第37回介護分野合同面談会	9月8日	久留米高等技術専門学校	1名
食機能をダメにする、引き出すアプローチ”実技”セミナー 第一部	9月8日	オンライン研修	1名
食機能をダメにする、引き出すアプローチ”実技”セミナー 第二部	9月12日	オンライン研修	1名
令和4年度認知症介護実践者研修ファシリテーター	9/13・27	クローバープラザ	1名
令和4年度認知症介護実践者研修 (1、2、3日目/全5日)	9/13・27	クローバープラザ	1名
令和4年度合同部会研修	9月15日	オンライン研修	1名
令和4年度コーチング研修(1、2日目)	9/27・28	オンライン研修	1名
令和4年度認知症介護実践リーダー研修 講義・ファシリテーター	10月5日	クローバープラザ	1名
令和4年度認知症介護実践者研修 (4日目/全5日)	10/6・20	クローバープラザ	1名
令和4年度認知症介護実践者研修講師ファシリテーター	10/6・20	クローバープラザ	1名
J圏域高齢者を支える支援地域づくり会議	10月13日	オンライン研修	1名
令和4年度西圏域介護支援専門員向け 「権利擁護研修会」	10月14日	オンライン研修	1名
在宅医療介護市民公開講座	10月21日	オンライン研修	1名

令和4年度 研修会・会議(特養)

シンポジウム「ソーシャルワーカーとして求められる相談員の機能とは」～今、あらためて相談員の役割を問う～	10月20日	オンライン研修	1名
BCP(業務継続計画)勉強会	10月20日	オンライン研修	1名
令和4年度キャリアアップ研修 第8回 キャリアアップ研修リーダー・主任の役割①	11月1日	オンライン研修	1名
令和4年度福祉のしごと就職フェア in FUKUOKA(Web面談会)	11月5日	オンライン研修	1名
令和4年度居宅介護部会・次世代部会主催研修会「LIFEにより求められる事業所の変化」	11月11日	オンライン研修	1名
小規模多機能部会	11月11日	桜花台園	1名
令和4年度キャリアアップ研修 第9回 キャリアアップ研修リーダー・主任の役割②	11月15日	オンライン研修	1名
令和4年度第2回施設長会	11月17日	ホテルマリターレ創世	1名
「ノーリフティングケアに取り組んで得られた大切なもの！」	11月17日	オンライン研修	1名
安全運転管理者講習	11月18日	石橋文化センター	1名
ユニットケアワンポイントセミナー	11月22日	オンライン研修	1名
明日から実践！見て分かるモーションエイド～ずれ力を軽減するケア技術の理論と実践～	11月28日	オンライン研修	1名
令和4年度リスクマネジメント研修 指導者・管理職員コース(1日目/全2日間)	11月30日	クローバープラザ	1名
令和4年度リスクマネジメント研修 指導者・管理職員コース(2日目/全2日間)	12月1日	クローバープラザ	1名
聖マリアヘルスセンター地域医療介護交流会 「コロナウイルス感染対策について」	12月2日	オンライン研修	1名
大人の発達障害について学ぼう	12月7日	オンライン研修	2名
令和4年度 利用者・家族とのコミュニケーション力向上	12月8日	クローバープラザ	1名
認知症・フレイル予防と日本型CCRC～地域包括ケアシステムを機能させるために	12月9日	オンライン研修	1名
災害対策セミナーBCP発動とアップデート～の開催	12月13日	オンライン研修	1名
令和4年度感染症予防研修(後期)WEB研修	12/10～23の内1日	オンライン研修	1名
令和4年度認知症介護実践者研修ファシリテーター	12月14日	クローバープラザ	1名
令和4年度 記録技術研修(高齢者分野)	12月16日	クローバープラザ	1名
職場における認めあう風土作り	12月16日	オンライン研修	1名
定期巡回・随時対応サービス等起業&運営セミナー	12月22日	オンライン研修	1名
組織が育ち！人が育つ！ ～生き残るための介護現場づくり～	1月17日	オンライン研修	1名
令和4年度接遇マナー向上研修	1月18日	クローバープラザ	1名
第38回 介護分野合同面台会	2月7日	久留米高等技術専門学校	1名
社会福祉法人が取り組む権利擁護支援研修会	2月7日	オンライン研修	1名
令和4年度合同研修 リスクマネジメント研修	2月10日	オンライン研修	1名
久留米市擁護介護施設従事者等向け高齢者虐待防止研修	2月10日	オンライン研修	1名

令和4年度 研修会・会議(特養)

令和4年度福祉サービス苦情解決従事者研修会	2月13日	オンライン研修	1名
今、動き出すためのBCP対策WEBセミナー	2月16日	オンライン研修	1名
「栄養士・調理員職員研修」～我が家の料理自慢～	2月21日	オンライン研修	1名
令和4年度(第5回)福岡県認知症介護指導者打合せ	3月2日	クローバープラザ	1名
給食施設関係者等研修会	3月9日	オンライン研修	1名
令和4年度 第3回 施設長会	3月9日	新カリタレ創世	1名
介護保険施設等の上級者向けケアマネジメント実践向上研修会	3月10日	久留米リサーチパーク	1名
「適切なケアマネジメント手法」普及推進セミナー	3月16日	オンライン研修	1名
being15周年記念大会	3月18日	オンライン研修	1名
認知症利用者の家族の支援	3月23日	オンライン研修	1名

令和4年度 研修会・会議(看多機能)

研修・会議名	日時	場所	参加者
令和4年度キャリアアップ研修「第4回コミュニケーション力を高める①」～信頼関係形成のためのコミュニケーションとは～	8月3日	オンライン研修	1名
令和4年度集団指導(看多機)	8月5日	資料研修	1名
第48期ほのぼの塾	8月19日	オンライン研修	1名
令和4年度キャリアアップ研修「第5回コミュニケーション力を高める②」～働きやすい職場づくりのためのコミュニケーションとは～	8月24日	オンライン研修	1名
令和4年度高齢者虐待防止・権利擁護研修	9月21日	クローバープラザ	1名
令和4年度西圏域介護支援専門員向け「権利擁護研修会」	10月14日	オンライン研修	1名
小規模多機能部会	11月11日	桜花台園	1名
養護者による虐待予防研修オンライン	11月25日	オンライン研修	1名

令和4年度 研修会・会議(通所)

研修・会議名	日時	場所	参加者
令和4年変わる指導監査対応 指導・監査マニュアル徹底解説	5月16日	オンライン研修	1名
令和4年度キャリアアップ研修「第2回福祉・介護職員に必要な対人援助の知識と技術」～傾聴・受容・共感とは～	6月30日	オンライン研修	1名
令和4年度集団指導(デイ)	7月14日	資料研修	1名
令和4年度キャリアアップ研修「第4回コミュニケーション力を高める①」～信頼関係形成のためのコミュニケーションとは～	8月3日	オンライン研修	1名
令和4年度キャリアアップ研修「第5回コミュニケーション力を高める②」～働きやすい職場づくりのためのコミュニケーションとは～	8月24日	オンライン研修	1名
令和4年度九社連老協通所介護部会Webセミナー	9月13日	オンライン研修	1名
令和4年度キャリアアップ研修「第6回気づきの大切さ」～アセスメント力を高める～	9月14日	オンライン研修	1名
令和4年度第1回通所サービス部会研修会 久留米市新・総合事業 口腔ケア加算算定対応定期研修 『口腔ケア基礎と実際』	9月30日	オンライン研修	2名
口腔ケア 基礎と実際	3/1～3/25の内1日	オンライン研修	1名

令和4年度 研修会・会議(訪看)

研修・会議名	日時	場所	参加者
2022年診療報酬改定対応オンライン訪問看護ステーション向け 医療事務研修	6月28日	オンライン研修	1名
令和4年度集団指導(訪看)	7月13日	資料研修	1名
訪問看護師養成講習会「管理期」 (1日目/全5日)	9月27日	ナースプラザ福岡	1名
訪問看護師養成講習会「管理期」 (2日目/全5日)	10月27日	ナースプラザ福岡	1名
訪問看護師養成講習会「管理期」 (3、4日目/全5日)	11月22日	ナースプラザ福岡	1名
災害発生時にどう対応するか?	1月14日	オンライン研修	2名
訪問看護師養成講習会「管理期」 (5日目/全5日)	2月16日	ナースプラザ福岡	1名

令和4年度 研修会・会議(居宅)

研修・会議名	日時	場所	参加者
令和4年度西圏域けあまね「よらん会」運営に関する検討会	4月12日	三潁総合支所	1名
2022年度福岡県主任介護支援専門員更新研修(1日目/全8日看)	5月9日	久留米シティプラザ	1名
2022年度福岡県主任介護支援専門員更新研修(2・3・4日目/全8日)	6/6・13・27	久留米シティプラザ	1名
令和4年度介護支援専門員専門研修(課程Ⅰ)・更新研修(前期)(1・2・3・4日目/全8日)	6/9・16・23・30	オンライン研修	1名
2022(令和4)年度専門Ⅰ・更新前期研修(1・2日目/全8日)	6/14・24	オンライン研修	1名
2022年度福岡県主任介護支援専門員更新研修(5・6日目/全8日看)	7/4・26	久留米シティプラザ	1名
令和4年度介護支援専門員専門研修(課程Ⅰ)・更新研修(前期)(5・6・7・8日目/全8日)	7/7・14・21・28	オンライン研修	1名
2022(令和4)年度専門Ⅰ・更新前期研修(3・4・5・6日目/全8日)	7/8・9・18・28	オンライン研修	1名
令和4年度集団指導(居宅)	7月12日	資料研修	1名
2022年度福岡県主任介護支援専門員更新研修(7・8日目/全8日看)	8/9・23	久留米シティプラザ	1名
2022(令和4)年度専門Ⅰ・更新前期研修(7・8日目/全8日)	8/12・23	オンライン研修	1名
第48期ほのぼの塾	8月19日	オンライン研修	1名
2022年度福岡県介護支援専門員専門研修Ⅱ・更新研修後期(1、2日目/全5日)	10/5・24	クローバープラザ	1名
令和4年度第1回けあまね「よらん会」研修会	10月7日	三潁総合支所	2名
2022年度福岡県介護支援専門員専門研修Ⅱ・更新研修後期(3、4、5日目/全5日)	11/8・17・28	クローバープラザ	1名
令和4年度 複数事業所事例検討会のご案内	11月15日	三潁保健センター	2名
第3回ライフレスキュー久留米連絡会実行部会定例会	11月16日	久留米市総合福祉会館	1名
2022年度福岡県介護支援専門員専門研修Ⅱ・更新研修後期(1日目/全5日)	11月17日	博多市民センター	1名
2022年度福岡県介護支援専門員専門研修Ⅱ・更新研修後期(1日目/全5日)	11月17日	博多市民センター	1名
2022年度福岡県介護支援専門員専門研修Ⅱ・更新研修後期(2,3日目/全5日)	12/7・20	オンライン研修	1名
2022年度福岡県介護支援専門員専門研修Ⅱ・更新研修後期(2,3日目/全5日)	12/7・20	オンライン研修	1名
居宅介護支援事業所等初任者向け研修	12月8日	久留米リサーチパーク	1名
2022年度福岡県介護支援専門員専門研修Ⅱ・更新研修後期(4,5日目/全5日)	1/13・25	オンライン研修	1名
2022年度福岡県介護支援専門員専門研修Ⅱ・更新研修後期(4日目/全5日)	1/13・25	オンライン研修	1名
介護支援専門員に求められる虐待の対応について	1月20日	オンライン研修	1名
2022年度福岡県介護支援専門員専門研修Ⅱ・更新研修後期(5日目/全5日)	2月2日	オンライン研修	1名
令和4年度 第2回けあまね「よらん会」研修会	2月10日	三潁保健センター2階	1名